TOSHIBA

東芝HDDオーディオプレーヤー

gigabeat x シリーズ

取扱説明書

はじめに

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 添付（付属の CD-ROM）のソフトウェアおよびこの取扱説明書の一部または全部を許可無く転載したり複製したりすることはできません。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書は、お客様のパソコン等で使用できます。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書にそって機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 意匠、仕様、ソフトウェアおよびこの取扱説明書の内容は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- この取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

商標について

- gigabeatは株式会社東芝の登録商標です。プラスタッチ、gigabeat roomおよびRipRecは株式会社東芝の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Mediaは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium はアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標および商標です。
- WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® から提供されます。
  Gracenoteは音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com
  Gracenote ®からのCDおよび音楽関連データ：Copyright ©2000-2005 Gracenote.
  Gracenote Client Software：Copyright ©2000-2005 Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許のひとつまたは複数を実践している可能性があります：
  #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の特許は取得済みかまたは申請中です。
  GracenoteはGracenoteの登録商標です。
  Gracenote のロゴとロゴタイプ、およびPowered by Gracenote ® ロゴはGracenoteの商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 取扱説明書に記載の商品の名称は、それぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

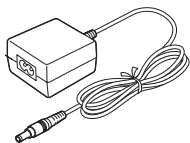
著作権について

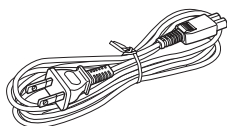
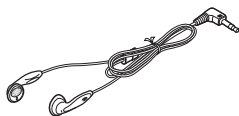
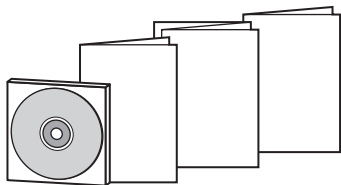
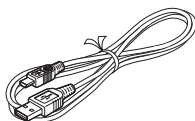
- お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法によって、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

オーディオデータについて

- 本製品やパソコンの不具合で、オーディオデータやその他のデータが破損または消去された場合、そのデータ内容の補償はできません。
- 転送したオーディオデータは、暗号化されているため、別のgigabeatや他のメディアにコピーしても再生できません。

付属品を確認する

- ACアダプター

- 電源コード（国内専用）

- ヘッドホン
- USBケーブル

- ソフトウェアCD-ROM
- 安心してお使いいただくために
- さあ始めよう
- 保証書／お客様登録のお願い

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

もくじ

安全上のご注意

商品（または製品）本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示、図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用、または使用不能から生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。
- 記憶装置（ハードディスクなど）に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。
- 修理や点検のとき、お客様が記録したオーディオデータなどが消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

⚠警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときは電源を切り、ACアダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

異物や水などが機器の内部にはいったときは電源を切り、ACアダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

機器を落としたり、キャビネットを破損したりしたときは電源を切り、ACアダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。

航空機内や病院内など、使用を禁止された場所では電源を切り、使用しないこと

使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。
離着陸時に本機を使用することは航空法で禁止されています。

水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら電源配線や機器に触れないこと

感電の原因となります。

歩行中、自動車・オートバイなどを運転中に操作しないこと

転倒・交通事故の原因となります。
周囲の音に気付かずに、思わぬ事故にあう原因となります。

梱包に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように、注意すること

かぶったり飲み込んだりして窒息するおそれがあります。

機器から液がもれたり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけること

指　示

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。
もれた液に引火し、破裂する原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

内蔵電池は、指定された充電方法以外で充電しないこと

火災・破裂・発熱の原因となります。

火のそばや炎天下などで充電したり、放電しないこと

内蔵電池から液もれし、引火・破裂の原因となります。

⚠注意

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

指示

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れするときは、ACアダプターをはずすこと

指示

取りつけたまま行うと、感電の原因となることがあります。

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーなどで再生しないこと

禁止

ヘッドホンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。

持ち運ぶときに振り回さないこと

禁止

人やものにぶつけたりしてけがの原因となることがあります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないこと

禁止

破損して火災・感電の原因となることがあります。

機器から液がもれたときは、液には触れないこと

禁止

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。

液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目にはいったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師に相談すること

指　示

この商品に使用している材料、表面処理によって、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

温度の高い場所に置かないこと

禁　止

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、発熱・火災の原因となることがあります。また、破損してけがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないこと

禁　止

耳を刺激するような大きな音量で聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

表示画面に衝撃を与えないこと

禁　止

破損したり、ガラスが割れたり、内部の液がもれたりすることがあります。内部の液が目にはいったり、体や衣服についたりしたときはきれいな水で洗い流してください。目にはいった場合は、その後医師の診察を受けてください。

乳幼児の手の届かないところに保管すること

指　示

けが・事故の原因となります。

布やふとんの上に置いたり、覆ったりしないこと

禁　止

熱がこもってキャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

⚠警告

電源コードの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

時々電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいにすること

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしないこと

火災の原因となることがあります。

ACアダプターの電源コードは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。**

火災・感電の原因となります。

⚠注意

付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること

指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災の原因となります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。破損や記録済みの内容が破壊される原因となります。また、その他の故障や動作不良を招くおそれがあります。
- 表示画面に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものといっしょにかばんなどに入れると、押されたときなどに壊れるおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色や、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。
- プラスタッチを強く押し込まないでください。内部の部品に大きな力が加わり、壊れたり動作不良になったり故障したりするおそれがあります。

使用する場所について

- gigabeatをラジオ、テレビ、携帯電話などの近くでご使用になると、受信障害の原因となることがあります。その場合は、gigabeatを離してご使用ください。
- 混雑した電車内などで、大きな音量で聴くと周囲の迷惑になることがあります。

結露（露付き）について

- gigabeatを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときや、寒い室内で急に暖房したようなときには、本体の表面に水滴が付くことがあります。このような場合には、内部にも水滴が付いていることがありますので、電源を入れないで、1時間ほどたってからご使用ください。

お手入れに関すること

本体のよごれは柔らかい布で軽くふき取ってください。

- ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色や、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

音楽CDについて

- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのはいったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質などの保証はいたしかねます。

ユーザー登録のお願い

- ユーザー登録をしていただいたお客様には、gigabeatに関するサービスや製品情報の案内ができますので、ユーザー登録をお勧めいたします。下記webサイトでも、ユーザー登録できます。
  http://room1048.jp/

バージョンアップについて

- 出荷以降、より良くお使いいただくために、搭載ソフトウェアのバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
  gigabeatホームページ　http://www.gigabeat.net/

内蔵ハードディスクについて

gigabeatにはハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化を受けやすく、記録されているデータが損なわれたり、動作不良や故障の原因となることがありますので、gigabeatをお使いの際には以下のことにお気をつけください。

- 直射日光が当たる場所、閉め切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 極端に低温になるところに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 急激な温度変化を与えないでください。
  結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 雷が鳴っているときは使用しないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 磁石やスピーカーなど磁気を発するものの近くに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 振動が強いところに置かないでください。
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- ものを載せたり、ものを落としたりしないでください。
  破損、故障、記憶内容の消失の原因となります。

- 水のかかるところや、湿気の多いところに置かないでください。
ぬれると使用できなくなる、または故障の原因となります。
- 近くにコップなど、液体のはいった容器を置かないでください。
液体がこぼれると、使用できなくなる、または故障の原因となります。
- 動作中、または非動作時に振動、衝撃を与えたり、振りまわしたり、落としたりしないでください。
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 強い力で押したり、ひねったりしないでください。
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 内蔵ハードディスクへの書込み、読出し中は電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたり、USBクレードルから抜いたりしないでください。
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
- 内蔵ハードディスクに保存しているデータは、万一故障したり、変化／消失したりした場合に備えて、定期的にパソコンにバックアップを取って保存してください。
内蔵ハードディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

内蔵ハードディスクに関するご注意

- 内蔵ハードディスク内にはgigabeat用のファームウェア（gigabeatが動作するためのソフトウェア）データやデモ用ファイルなどが置かれています。実際に使用できる領域はこれらのファイルを除いた領域となります。
- 内蔵ハードディスクは、新たに各種のフォーマットをしないでください。もし実施するとgigabeatが動作しなくなります。やむをえずフォーマットする場合は、必ず添付のgigabeat formatをご使用ください。
参照：「（gigabeat formatを使ってフォーマットする）」（➔169ページ）
- フォーマットしてしまった場合は、ファームウェアの修復が必要になります。
参照：「（ファームウェアデータの修復方法）」（➔169ページ）
- gigabeat のハードディスクは FAT32 形式でフォーマットされている必要があります。
なお、Windows標準のフォーマットコマンドでは32GByteより大きい領域をFAT32形式でフォーマットすることができません。

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

- gigabeatには、ハードディスクが内蔵されています。ハードディスクを使用していた状態のまま廃棄・譲渡すると、ハードディスク上の情報を第三者に見られてしまうおそれがあります。廃棄・譲渡するときは、ハードディスク上のすべてのデータを消去してください。
  ただし、データの消去、ハードディスクのフォーマットをしただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元されるおそれがあります。見られたくない情報を保存していた場合には、市販のデータ消去ソフトなどを使用してデータを消去し、復元されないようにすることをおすすめします。

内蔵電池について

- 内蔵電池は、gigabeatを使用しなくても少しずつ自然放電していきます。gigabeatを長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきる場合があります。その場合は、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約500回充電できます。（参考値であり、保証する値ではありません）
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。充分に充電しても使える時間が極端に短くなったときは内蔵電池が劣化していると思われます。新しい電池と交換してください。
- 内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

内蔵電池のリサイクルについて

gigabeatの内蔵電池は、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。gigabeatを廃棄する際には電池を取り出し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

有限責任中間法人JBRC

TEL：03-6403-5673

ホームページ：http://www.jbrc.com

また、廃棄するとき以外は、gigabeatを絶対に分解しないでください。

電池の取り出しかたについては、「内蔵電池の取り出しかた」（➔176ページ）をご覧ください。

AC アダプターについて

必ず付属のAC アダプターをご使用ください。それ以外のAC アダプターを使用すると、故障や発熱、発火の原因となることがあります。付属のACアダプターの形名は、仕様のページをご覧ください。

ご使用の際は、「安全上のご注意」の「AC アダプターについて」（➔13ページ）および以下の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- 接続コードのプラグに、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは､接続コードのプラグをgigabeatのAC アダプタージャックにしっかり差し込んでください。それ以外の端子に差し込むと故障の原因となることがあります。
- 接続コードを抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- AC アダプターは室内専用です。
- AC アダプターはgigabeat以外には使用しないでください。
- 通電中、AC アダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。持ち運びは電源コードを抜き、温度が下がってから行ってください。
- 温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。AC アダプターのあとが残ることがあります。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオ、テレビ、携帯電話の近くで使用すると、受信障害の原因となる場合がありますので、離してお使いください。

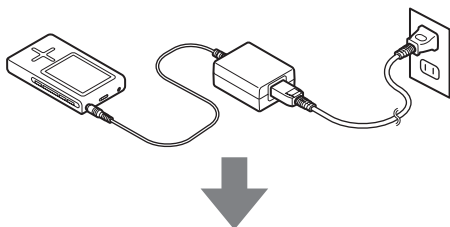
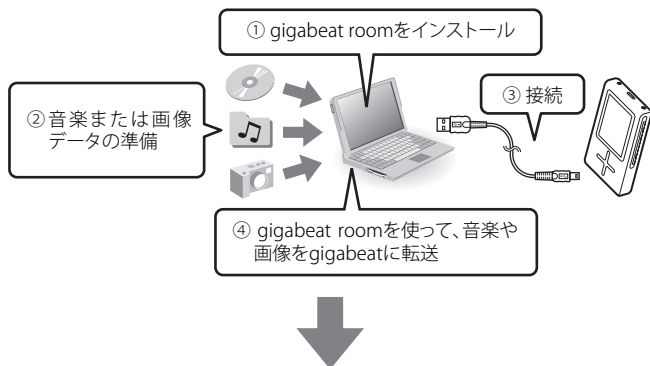
お願い

- 付属の電源コードは日本国内向け（AC100V～125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードをご使用ください。

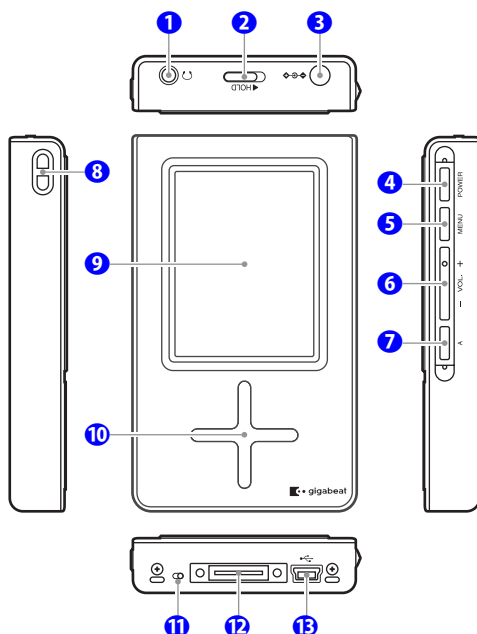
gigabeatの楽しみかた

付属のソフトウェア「gigabeat room」を使って、パソコンからgigabeatに音楽を転送し、gigabeatで音楽再生を楽しめます。

gigabeatで聴く・見る手順

1 gigabeatを充電

2 gigabeatにデータを転送

3 音楽を聴く／画像を見る

各部のなまえとはたらき

本体

❶ ヘッドホンジャック

❷ HOLDスイッチ
矢印の方向にスライドさせておくと本体の操作を受け付けなくなり、意図しない操作を防げます。

❸ ACアダプタージャック

❹ POWERボタン
トップ画面に戻る
（2秒以上押した場合：電源を入れる／切る）

❺ MENUボタン
MENU画面を表示する

❻ VOL.(＋)/VOL.(－)ボタン
音量を上げる/下げる

❼ Aボタン
よく使う機能をAボタンに割り当てることができます。
「Aボタン割当て」（➔152ページ）

❽ ストラップホルダー

❾ 表示画面（カラー液晶）

❿ プラスタッチ
いろいろな操作に使います。
（➔23ページ）

⓫ BATTERYスイッチ
ON：使用するとき
OFF：長い間使用しないとき

⓬ USBクレードルコネクター

⓭ USB2.0コネクター（Bポート）
USBケーブルを差し、パソコンと接続します。

お願い

- 本体底面のUSBクレードルコネクターに、付属品、純正オプション以外のものを接続しないでください。付属品、純正オプション以外のものを接続して生じた故障や損害については、保証いたしかねます。

プラスタッチの操作

プラスタッチには3種類の操作があります。

- タッチ

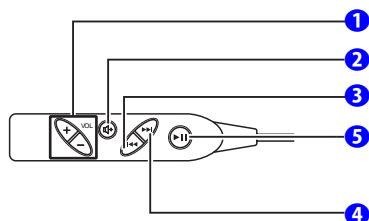
触れてすぐにはなす

- ホールド

触れたままにしておく

- ジェスチャー

触れながら、縦方向または横方向になぞる

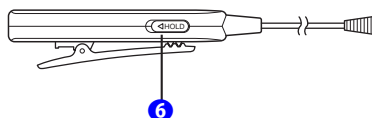
ワイヤードリモコン（別売）

❶ **VOL.(+)/VOL.(−)ボタン**
音量を上げる／下げる

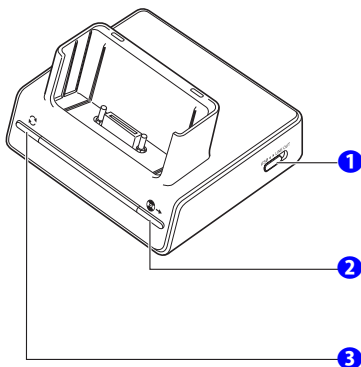
❷ **イコライザボタン**
イコライザを変更する
（2秒以上押した場合：アルバムをスキップする）

❸ **⏮ボタン**
前へスキップする（押し続けた場合は早戻しする）

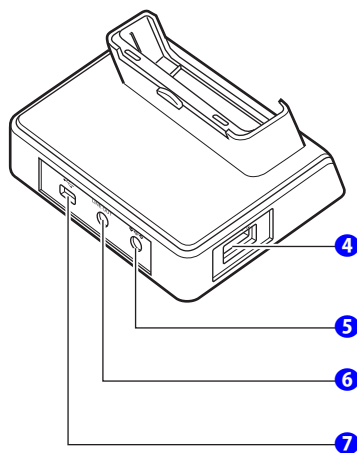
❹ **⏭ボタン**
次へスキップする（押し続けた場合は早送りする）

❺ **▶⏸ボタン**
再生する／一時停止する
（2秒以上押した場合：電源を入れる／切る）

❻ **HOLDスイッチ**
矢印の方向にスライドさせておくとワイヤードリモコンのボタン操作を受けつけなくなり意図しない操作を防げます。
ただし、本体がHOLDの状態になっていないときは、本体の操作を受け付けます。

お知らせ

- ワンタッチRipRec 機能、デジタルカメラの画像データ吸い上げ、ネットワーク機能をお使いになる場合は、別売の USB クレードルをお買い求めください。

❶ **USB/LINE OUT切換スイッチ**
LINE OUTジャックから音声を出力したいとき、「LINE OUT」に切り換えます。（➔90ページ）

❷ **→ボタン**
音楽CDの曲をgigabeatに転送します。

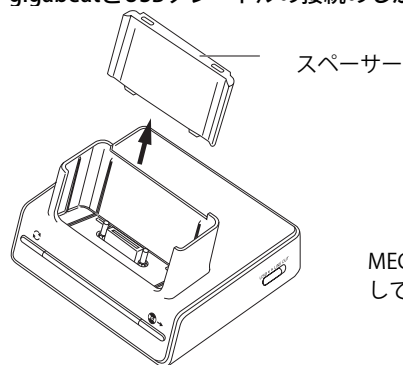
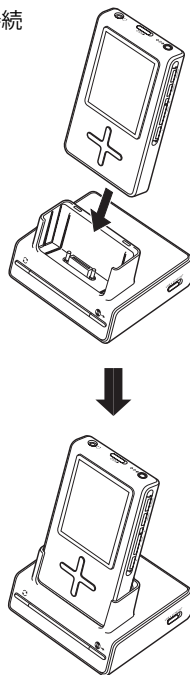
❸ **ボタン**
同期フォルダの音楽データまたは画像データを転送します。

❹ **USB1.1コネクター（Aポート）**
デジタルカメラからのUSBケーブル（➔143ページ）またはLANアダプター（➔160ページ）を接続します。

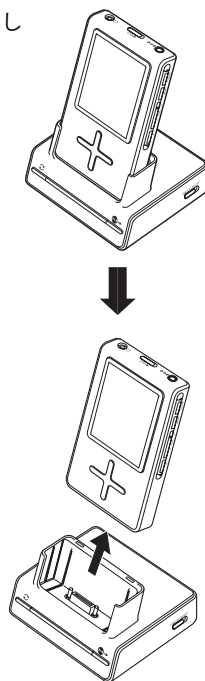
❺ **ACアダプタージャック**

❻ **LINE OUTジャック**
オーディオケーブルでPCスピーカーなどと接続します。（➔90ページ）

❼ **USB2.0コネクター（Bポート）**
USBケーブルを差し、パソコンと接続します。

gigabeatとUSBクレードルの接続のしかた

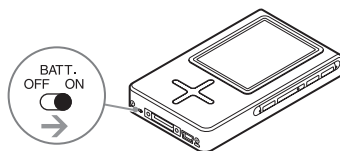
MEGX60は、スペーサーをはずしてお使いください。

・接続

奥までしっかり差し込んでください。

・取り外し

USB クレードルから gigabeat をはずす場合は、図のように矢印の方向にまっすぐ抜いてください。

内蔵電池を充電する

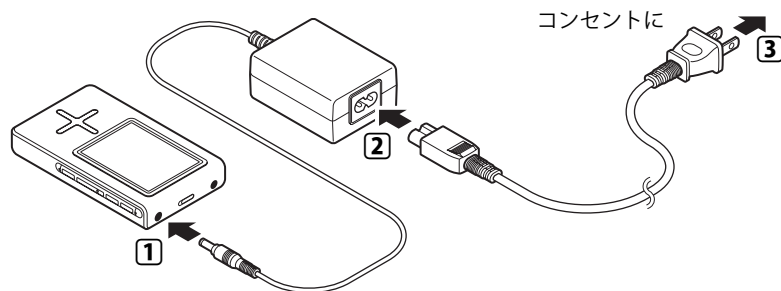
gigabeatにACアダプターを接続すると、内蔵電池の充電が自動的に始まります。
購入後初めて使うとき、または長い間使わなかったあとは、十分に充電してください。
充電はACアダプターを直接gigabeatに接続する方法と、USBクレードル（別売）を使用する方法があります。また、パソコンとUSB接続しても充電できます。

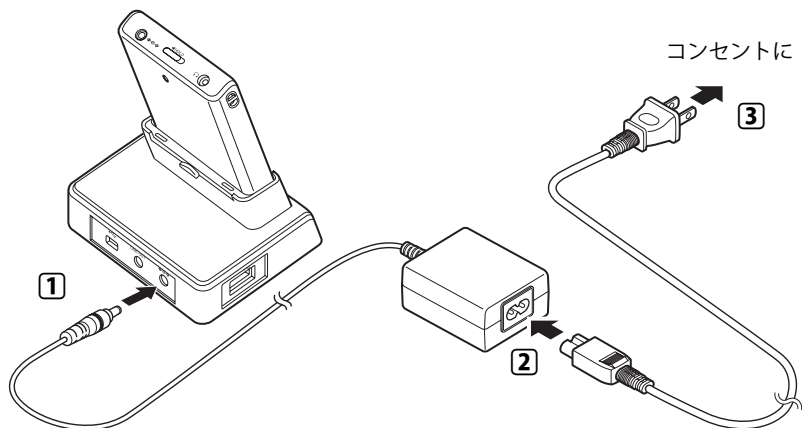
準備

本体底面のBATTERY（バッテリー）スイッチを「ON」にしてください。
初めて使うときは過放電を防ぐため、BATTERYスイッチがOFFになっています。

お知らせ

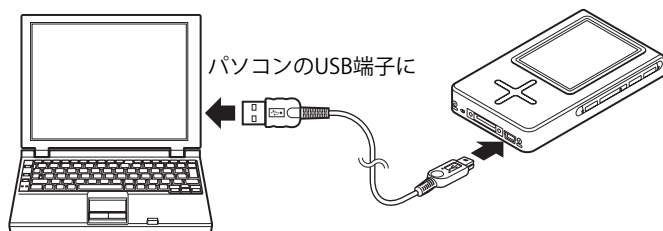
- 長い間使わない場合は、BATTERYスイッチをOFFにしてください。内蔵電池の過放電を防ぐことができます。
- BATTERYスイッチを「OFF」にすると、日付と時刻の設定がリセットされます。

ACアダプターから直接充電する

図の1～3の順番に接続してください。
約3時間でフル充電になります。

USBクレードルを使って充電する

gigabeatをUSBクレードル（別売）に接続してから、図の1～3の順番に接続してください。

gigabeatとUSBクレードルの接続のしかたは、「gigabeatとUSBクレードルの接続のしかた」（➔25ページ）をご覧ください。

パソコンとUSB接続して充電する

パソコンとgigabeatを付属のUSBケーブルで接続してください。

USB接続して充電していても、オーディオデータの転送など、gigabeatが動作している状態では、バッテリー残量が減ることがあります。

USB接続の充電は、パソコン本体のUSBバス電源供給機能の性能によるため、パソコンの機種によってはできない場合があります。

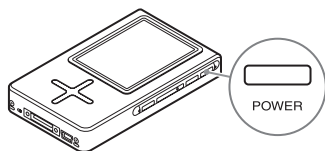
充電できないパソコンとUSB接続したとき、接続がすぐ切れ、パソコン本体のUSB機能が一時的に使えなくなる場合があります。その場合はパソコンを再起動し、gigabeatに、ACアダプターを接続してから、再度パソコンとUSB接続してください。

お知らせ

- gigabeatの充電が始まると、表示画面に充電中アイコン（オレンジ）が表示されます。充電が終了すると、表示画面に充電完了アイコン（緑）が表示されます。
  このとおりに画面が表示されない場合は「故障かな…？と思ったときは」（➔165ページ）をご覧ください。
- 長い間使わなかったときや、電池が消耗して電源が切れたときは、USB充電中に電源ボタンを押しても電源がはいりません。USB接続を取り外し、ACアダプターを接続してから電源を入れてください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲温度などによって変わります。
- gigabeat本体の温度上昇を制限するために一時的に充電を停止することがあります。
- 内蔵電池の充電は、使用条件（➔172ページ）の温度範囲内で行ってください。範囲をはずれていると充電できないことがあります。
- 内蔵電池の残量が少なくなるごとに、表示（➔41ページ）が→→→→と変わります。電池の残量が少なくなってきたら、充電してください。
- ACアダプターを接続しているときは、（オレンジ）が表示されます。

電源を入れる／切る

1 電源を入れるにはPOWERボタンを2秒以上長く押す

電源を切るにはPOWERボタンを2秒以上長く押す

初めて使うときは日付と時刻の設定画面が表示されますので、日付と時刻を設定してください。

お知らせ

- HOLD状態のときは電源の入/切ができません。HOLDを解除してからボタンを押してください。
- リセット（➔166ページ）後に初めて電源を入れた場合、または内蔵電池の残量がなくなり、充電後に初めて電源を入れた場合も、「日付と時刻」を設定する画面が表示されますので、「日付と時刻」を設定してください。
- 使用して電源を切り電源を入れたときは、再生画面（➔43ページ）が表示され、電源を切る直前に再生していたオーディオデータの再生を続けます。何も再生するオーディオデータを選んでいなかった場合は、トップ画面（➔41ページ）が表示されます。
- オーディオデータの再生中、フォトデータのスライドショー中（➔129ページ）、またはUSB接続中を除き、一定時間何も操作しないと、画面はバックライトオフになり、そのあと自動電源オフになります。
  参照：「バックライトオフ時間」（➔154ページ）
  参照：「自動電源オフ」（➔152ページ）
- 画面がバックライトオフのときに本体の側面のボタンを押すと、画面が点灯し、その入力を受け付けます。
  画面がバックライトオフのときにプラスタッチを操作すると、画面は点灯しますがその入力は受け付けません。

日付と時刻の設定

1

プラスタッチの左または右をタッチして設定する年月日または時刻を選択する

- 右：年→月→日→時→分
- 左：右と逆方向

プラスタッチの上または下をタッチして年月日と時刻を設定する

- 上：数値がふえる
- 下：数値が減る

例：日付を10月15日8時に設定する場合

1　右をタッチし、「月」を選択する
2　上または下をタッチし、「10」にする
3　右をタッチし、「日」を選択する
4　上または下をタッチし、「15」にする
5　右をタッチし、時刻を選択する
6　上または下をタッチし、「8」にする

2

すべて設定したらプラスタッチの中央をタッチして決定する

お知らせ

- 日付と時刻は、「設定」－「時計」の「日付と時刻」で修正できます。
- プラスタッチの操作については、「プラスタッチの操作」（➔23ページ）をご覧ください。

gigabeat roomをインストールする

お願い

- すでにgigabeat roomをインストールされている場合は、その古いバージョンのgigabeat roomをアンインストールしてください。
- インストールするときにはコンピュータの管理者（Administrator権限）のユーザーとしてログインしてください。
- インストールの前に他のアプリケーションを終了してください。
- Windows Media Player 9シリーズまたはWindows Media Player 10（以降、Windows Media Player 9/10と記載します）がインストールされていないと、gigabeat roomをインストールできません。その場合は、Windows Media Player 9/10をマイクロソフト社のホームページからダウンロードして、先にインストールしてください。

gigabeat roomに必要なシステム（*1）

● 適応パソコン（*2）	IBM PC/AT互換機
● OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition/XP Professional/2000 Professional (いずれも標準インストール、日本語版のみ)
● CPU（*3）	Pentium® II 300MHz以上（Pentium® III 1GHz以上を推奨）
● メモリ	128MB以上
● ハードディスク容量	オーディオデータを除き100MB
● 接続インタフェース	USBポート（USB2.0/USB1.1）
● CD-ROMドライブ	インストールに必要
● ディスプレイ	SuperVGA（800×600）以上の高解像度ディスプレイアダプタ
● インターネット接続環境	CDの情報（曲名、アルバム名、アーティスト名など）を自動で取り込みたい場合

- **Internet Explorer 5.01以降（*4）**
- **Windows Media® Player 9シリーズ以降（*4）**

*1：推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
*2：自作パソコンは動作保証いたしません。
*3：Dual CPU構成のWindows 2000 Professional, Windows XP Professionalシステムおよびハイパー・スレッディング・テクノロジ インテルPentium4プロセッサを搭載したWindows XP Home Edition／Professionalでは、動作を保証しておりません。
*4：将来のバージョンでは動作保証できないことがあります。

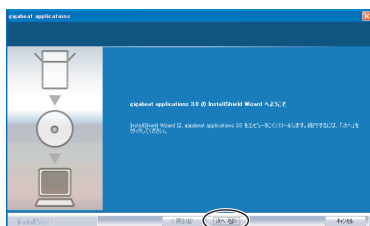
1 gigabeatに付属のソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

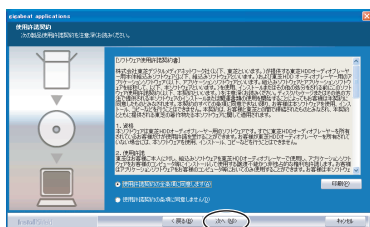
CD-ROM　が自動認識され、アプリケーションソフトウェアのインストールメニューが表示されます。

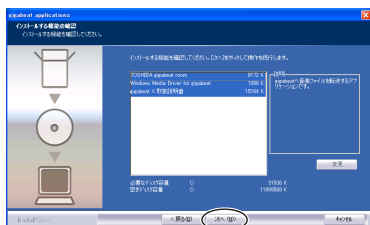
表示されない場合は、エクスプローラなどからCD-ROMの中の「Launcher.exe」をダブルクリックしてください。

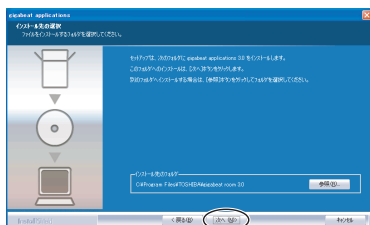
2 「アプリケーションソフトウェアのインストール」ボタンをクリックする

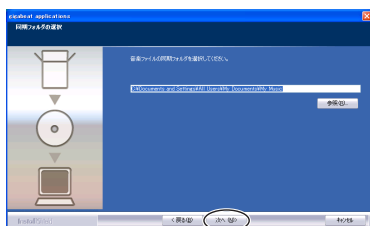
セットアップの準備画面を表示後、インストールのウィザード画面が表示されます。

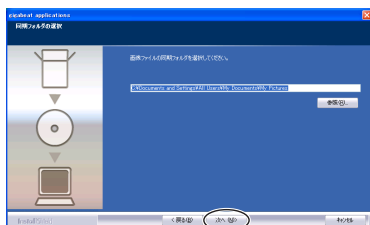
3 「次へ」ボタンをクリックする

「ソフトウェアの使用許諾契約書」画面が表示されます。

4 内容をよく読み、同意の上で「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「インストールする機能の確認」画面が表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックする

「インストール先の選択」画面が表示されます。
お使いのパソコンの環境によって表示される内容が異なる場合があります。
左の画面内の数値（容量）は、実際に表示される画面内の数値と異なる場合があります。

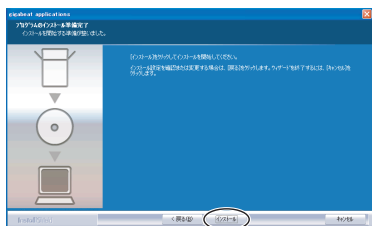
6 インストール先を指定し、「次へ」ボタンをクリックする

インストール先を変更するには、参照ボタンをクリックして変更してください。

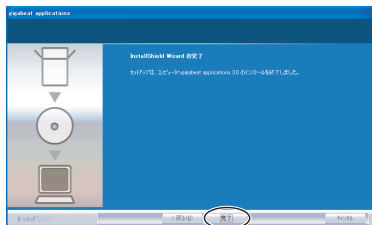
7 音楽ファイルの同期フォルダを指定し、「次へ」ボタンをクリックする

音楽ファイルの同期フォルダを指定すると、その中の音楽ファイルは、簡単にgigabeatに転送できます。

8 画像ファイルの同期フォルダを指定し、「次へ」ボタンをクリックする

「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。
画像ファイルの同期フォルダを指定すると、その中の画像ファイルは簡単にgigabeatに転送できます。

9 「次へ」ボタンをクリックする

「プログラムのインストール準備完了」画面が表示されます。

10 「インストール」ボタンをクリックする

インストールが開始されます。インストールが完了すると、gigabeat applicationのインストールウィザードの完了画面が表示されます。

11 「完了」ボタンをクリックする

インストールウィザード画面が消えます。

12 ランチャー画面の「閉じる」ボタンをクリックする

アプリケーションソフトウェアのインストールメニューが閉じます。

インストールが完了すると、パソコンの画面（デスクトップ）にアイコン （gigabeat room3.0）が表示されます。

お知らせ

- PDF 版取扱説明書（本書）は、アプリケーションソフトウェアのインストール時、一緒にパソコンにインストールされます。
- PDFファイルを見るには、Adobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アプリケーションソフトウェアのインストールメニューの「Adobe Readerのインストール」ボタンをクリックしてインストールしてください。
- セキュリティシステムの処理上、他のセキュリティシステムを採用しているアプリケーションと同時に使用した場合は、アプリケーションのロック、システムの再起動などの問題が発生する場合があります。
- gigabeat roomとTOSHIBA Audio ApplicationまたはTOSHIBA Audio Managerは、同時に起動することができません。
- gigabeat room、TOSHIBA Audio Application、TOSHIBA Audio Managerのうち、ふたつ以上がインストールされている場合、どれかひとつをアンインストールすると、ほかのソフトウェアが起動しなくなる場合があります。その場合は、各ソフトウェアのCD-ROMをパソコンに挿入し、再インストールしてください。
- OSをアップグレードする場合は、事前にgigabeat roomを一旦アンインストールし、OSをアップグレードしたあとに再度インストールしてください。

パソコンとgigabeatを接続する

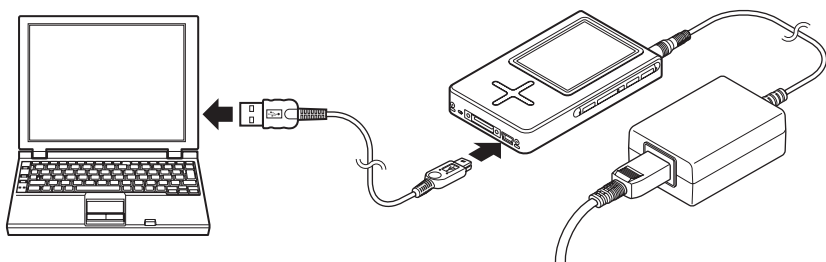
gigabeatにオーディオデータを転送するため、パソコンとgigabeatをUSB接続します。

ネットワークを使って接続する方法は「ネットワークに接続する」の章（➔156ページ）をご覧ください。

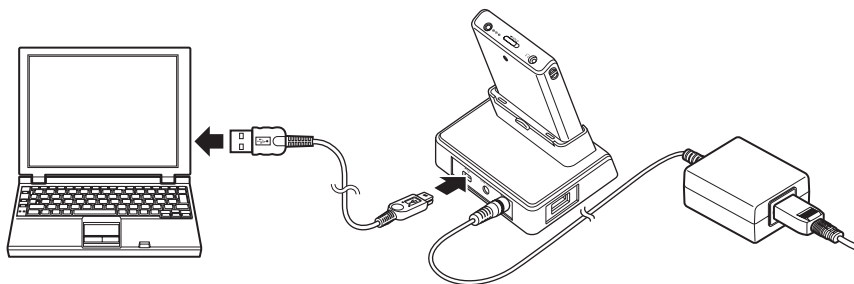
1 パソコンを起動する

2 gigabeatにACアダプターを接続し、gigabeatの電源を入れる

3 USBケーブルを使って、パソコンとgigabeatを接続する

パソコンとgigabeatを直接接続

パソコンにgigabeatを初めて接続すると、gigabeatが自動的に検出され、ドライバが自動的にインストールされます。

パソコンとgigabeatをUSBクレードル（別売）を使って接続

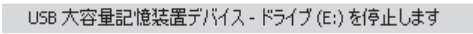
USBクレードル（別売）のUSB/LINE OUT切換スイッチを「USB」にしてください。

パソコンに初めて接続した場合、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。このときは付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れてください。必要なドライバが自動的にインストールされます。

お願い

- 充電残量が少ないとき、パソコンとgigabeatをUSB接続してデータ転送などをするときは、ACアダプターを接続してください。
  ACアダプターを接続していないと、電池の消耗によってgigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- パソコンからデータの転送をしているときは、ACアダプターやUSBケーブルを抜いたり、USBクレードルからgigabeatを抜いたりしないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- gigabeatをパソコンに接続したままで起動、再起動、レジュームをした場合に、まれにパソコンによっては起動途中で停止することがあります。この現象が起きた場合は、gigabeatをパソコンから取りはずしてから、パソコンを再起動してください。

お知らせ

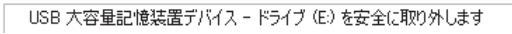
- gigabeat本体の「設定」－「接続」の「PC接続方法」を「接続時に選択」に設定した場合は、パソコンとの接続時、「gigabeat room」を使うか「Windows Media Player 10」を使うかのメッセージが表示されます。通常は「gigabeat room」を選択してください。Windows Media Player 10のサブスクリプションに対応させる場合は、USBクレードル（別売）経由で接続して「Windows Media Player 10」を選択してください。本体のUSBコネクターに直接接続した場合は「gigabeat room」を選択した場合と同じ動作になり、サブスクリプションに対応しません。
  参照：「PC接続方法」（➔155ページ）
- パソコンとgigabeatを接続したときは、gigabeatの表示画面に「USB接続中」と表示されます。
  「USB接続中」のときは、gigabeatの操作はできません。また、再生中に接続すると、再生は止まります。
- USBハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。

パソコンからgigabeatを取りはずす

パソコンからgigabeatを取りはずすには、以下の手順で行ってください。

gigabeat roomを起動しているとき

1 【gigabeat取り外しボタン】（→48ページ）をクリックする

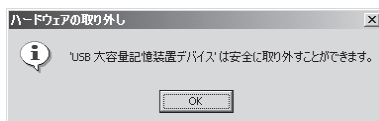
2 「gigabeatを安全に取り外すことができます」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

3 gigabeatからUSBケーブルを抜く

gigabeat roomを起動していないとき

Windows 2000 Professionalの場合

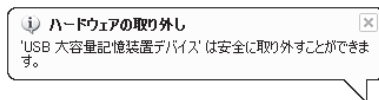
1 タスクバーの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をクリックする

2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalの場合

1 タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする

2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します をクリックする

3 右のメッセージが表示されたら、メッセージをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く

お知らせ

- 手順2の画面はドライブ(E)を取りはずす例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、ドライブは変わります。
- パソコンからの取りはずしについて、詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

gigabeat roomを起動する

1 スタートメニューの「すべてのプログラム」（*1）から「TOSHIBA gigabeat room 3.0」（*2）の「gigabeat room 3.0」（*2）をクリックする

gigabeat roomのメイン画面が表示されます。

［初めてgigabeat roomを起動するとき］

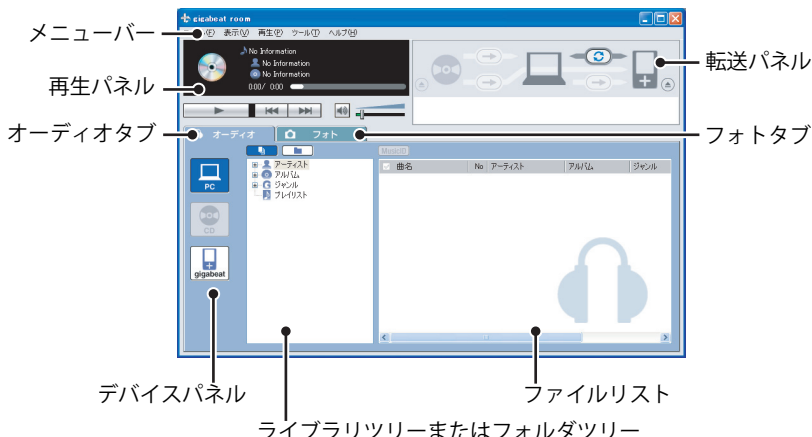
1　Gracenoteの登録の画面が表示されるので、画面に従って登録する

Gracenoteに登録すると、インターネットで音楽CDの情報を取得できます。あとからでも登録できます。インターネットに接続していないと登録できません。登録済みの場合は、表示されません。

参照：「Gracenoteに登録する」（➔102ページ）

2　データベースの作成の画面が表示されるので、画面に従って作成する

データベースを作成すると、パソコンの同期フォルダの中にあるオーディオデータがライブラリに登録されます。ここで作成しない場合は、あとから「ツール」メニューの「ライブラリ更新」をして作成してください。

参照：「オーディオライブラリを更新する」（➔98ページ）
参照：「フォトライブラリを更新する」（➔145ページ）

● gigabeat roomでオーディオライブラリを見るには

参照：「gigabeat roomでオーディオライブラリを見る」（➔96ページ）

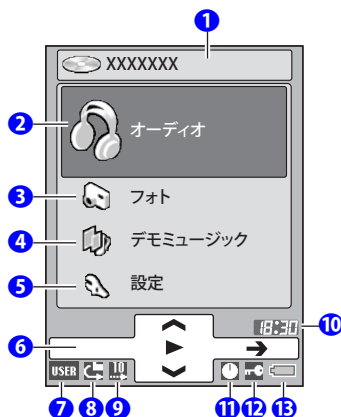
● gigabeat roomの画面とメニュー操作については

参照：「gigabeat room 画面とメニュー一覧」（➔47ページ）

*1：Windows 2000のOSの場合は「プログラム」と表示されます。
*2：インストールしたgigabeat roomのバージョンによって、変わる場合があります。

表示画面について

トップ画面

電源を入れたときに表示される画面です。他の画面表示中にPOWERボタンを短く押しても、トップ画面が表示されます。

❶ **再生状態／再生中のオーディオデータ名**

❷ **オーディオ**
オーディオデータが選べます。

❸ **フォト**
フォトデータが選べます。

❹ **デモミュージック**
デモデータが選べます。

❺ **設定**
各種の設定項目が選べます。

❻ **ガイド画面表示** （➔46ページ）

❼ **イコライザ** （➔82ページ）

❽ **再生モード** （➔80ページ）

❾ **イントロ** （➔86ページ）

❿ **時刻表示** （➔30ページ）

⓫ **スリープタイマー** （➔152ページ）

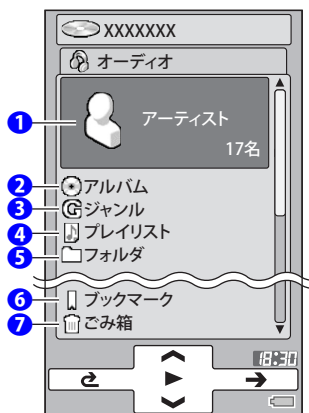
⓬ **HOLD状態**
HOLD状態のとき表示します。（➔22ページ）

⓭ **電池残量** （➔28ページ）
ACアダプターと接続中は、 になります。

お知らせ

- 各表示画面は、デザイン、画面表示の向き、文字の大きさ、ジャケット写真表示エリアの大きさを変更することができます。
  参照：「画面デザインを変える」（➔146ページ）

オーディオのトップ画面

トップ画面で「オーディオ」を選んでプラスタッチの右をタッチした画面です。

❶ **アーティスト**
アーティスト別のフォルダです。

❷ **アルバム**
アルバム別のフォルダです。

❸ **ジャンル**
ジャンル別のフォルダです。

❹ **プレイリスト**
gigabeat roomで作成したプレイリストがはいっているフォルダです。

❺ **フォルダ**
パソコンから転送したオーディオデータがはいっているフォルダです。

❻ **ブックマーク**
ブックマークに登録したオーディオデータが選べます。

❼ **ごみ箱**

オーディオのナビ画面

オーディオのトップ画面でアーティスト、アルバム、ジャンルなどの項目を選び、プラスタッチの右をタッチすると、オーディオのナビ画面（選んだ項目の内容の一覧画面）が表示されます。さらに項目を選び右をタッチして選んだ項目の内容を一覧表示できます。

❶ **再生状態**

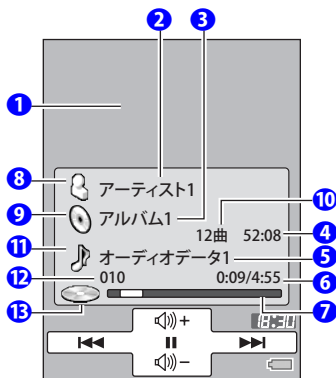
❷ **再生中のオーディオデータ名**

❸ **現在表示しているフォルダ名**

❹ **選んだアーティスト、アルバム、ジャンルまたはオーディオデータなど**

❺ **オーディオデータアイコン**
ジャケット写真の情報があると、オーディオデータアイコンではなく、ジャケット写真が表示されます。

再生画面

再生中のオーディオデータに関する情報が表示されます。

❶ **ジャケット写真表示エリア**
ジャケット写真の情報があると、ジャケット写真が表示されます。

❷ **アーティスト名**

❸ **アルバム名**

❹ **アルバムの再生時間**

❺ **タイトル名**

❻ **経過時間／再生時間**

❼ **経過時間表示バー**

❽ **アーティストアイコン**

❾ **アルバムアイコン**

❿ **アルバムの曲数**

⓫ **オーディオデータアイコン**

⓬ **トラック番号**

⓭ **再生状態**

お知らせ

- タグ情報が無い場合は、アーティスト名とアルバム名は「No Information」、タイトル名はオーディオデータ名が表示されます。
- フォルダ名、オーディオデータ名、プレイリスト名、アルバム名、アーティスト名、タイトル名で使用されている全角英数字は半角で表示されます。
- トップ画面、ナビ画面、設定画面で、約60秒間何も操作しないと再生画面に戻ります。
- 「設定」－「画面」－「画面デザイン」の「レイアウト」で「」を選んだ場合、「再生時間」は表示されません。

フォトのトップ画面

トップ画面で「フォト」を選んでプラスタッチの右をタッチした画面です。

❶ **アルバム**
日付別のフォルダです。

❷ **プレイリスト**
gigabeat roomで作成したフォトのプレイリストがはいっているフォルダです。

❸ **フォルダ**
パソコンから転送したフォトデータがはいっているフォルダです。

❹ **ブックマーク**
ブックマークに登録した画像データが選べます。

❺ **ごみ箱**

フォトのナビ画面

フォトのトップ画面でアルバム、プレイリスト、フォルダなどの項目を選び、プラスタッチの右をタッチすると、フォトのナビ画面が表示されます。さらに項目を選び右をタッチして選んだ項目の内容を一覧表示できます。

❶ **再生状態**

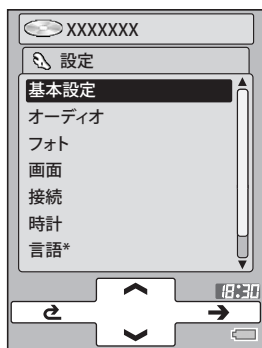
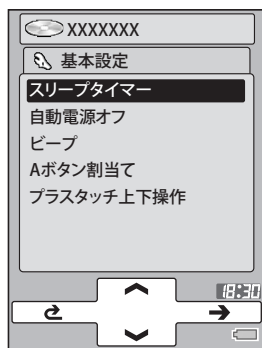
❷ **再生中のオーディオデータ名**

❸ **現在表示しているフォルダ名**

❹ **選んだアルバム、プレイリスト、フォルダまたは画像データなど**

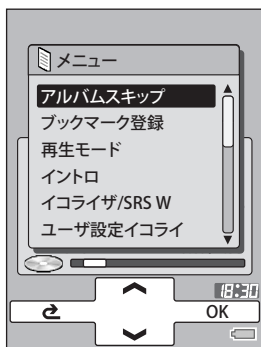
❺ 小さく画像が表示されます。

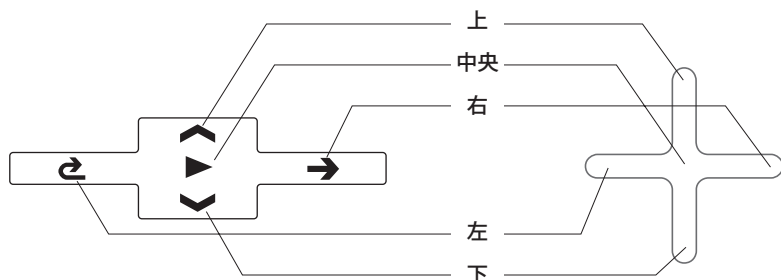
設定画面

トップ画面で「設定」を選び、プラスタッチの右をタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。設定メニューを選び、プラスタッチの右をタッチすると、設定項目の画面が表示されます。設定の変更や確認ができます。

設定メニュー画面　　設定項目の画面

MENU画面

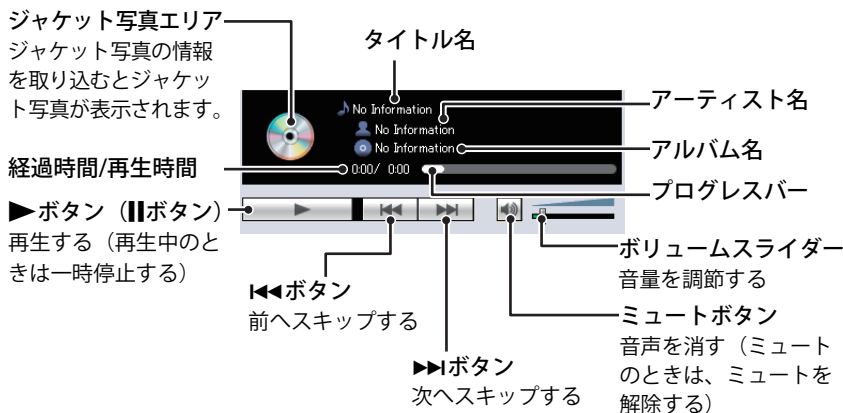
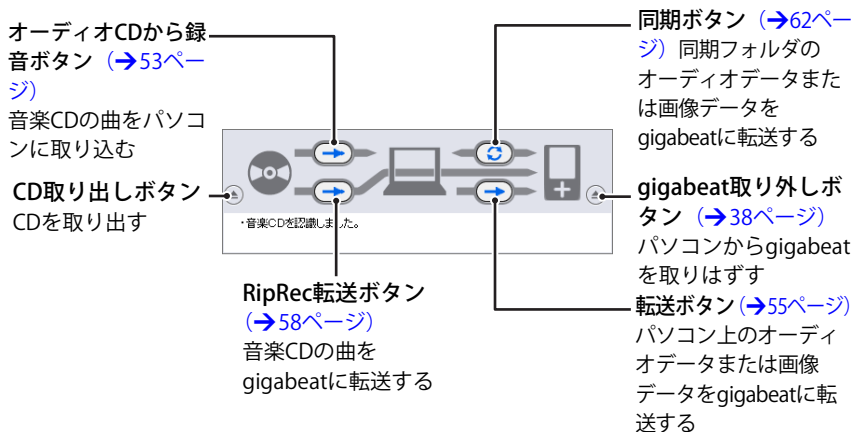
MENUボタンを押すと、表示されている画面に関連したメニューが表示されます。

- もう一度MENUボタンを押すと、MENU画面は消えます。または何も操作しないと約10秒でMENU画面は消えます。
- MENU画面の最上位階層の画面でプラスタッチの左をタッチしてもMENU画面は消えます。

ガイド画面について

ガイド画面は、プラスタッチをタッチしたときの動作を表示しています。

- MENU画面で「ガイド画面」の設定を「オフ」にする、または「設定」－「画面」の「ガイド画面」の設定を「オフ」にすると、ガイド画面を非表示にできます。
- 画面表示の向きを横向きに設定しているときやフォトの全画面表示、サムネイル表示のときは、ガイド画面が表示されません。MENU画面から「ガイド表示」を選んで、プラスタッチの右をタッチすると、ガイドが表示されます。

gigabeat room 画面とメニュー一覧

gigabeat roomのメイン画面

再生パネル

転送パネル

オーディオモード表示

フォトモード表示

メニューバー

ファイル(F)　表示(V)　再生(P)　ツール(T)　ヘルプ(H)
❶　❷　❸　❹　❺

オーディオモード

❶「ファイル」メニュー

新規プレイリスト	新しくプレイリストを作成します。
ブックマークをプレイリストに変換	gigabeatのブックマークをプレイリストに変換します。
プレイリスト編集	選んだプレイリストを編集します。
削除	選んだフォルダやファイルを削除します。
フォルダ作成	新しくフォルダを作成します。
名前の変更	選んだフォルダやファイルの名前を変更します。
プロパティ	選んだフォルダやファイルのプロパティを表示します。
終了	gigabeat roomを終了します。

❷「表示」メニュー

フォトモード	フォトモードの表示に切り換えます。
表示モード	ライブラリビュー（*1）とフォルダビュー（*2）を切り換えます。
ドライブの選択	表示するドライブを選択します。
1つ上の階層へ	現在表示しているフォルダの一つ上のフォルダを表示します。
最新の状態に更新	フォルダやファイルを最新の状態で再表示します。

*1：ライブラリビュー：　ライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）をツリー構造で表示します。
*2：フォルダビュー　：　フォルダをツリー構造で表示します。

❸「再生」メニュー

再生／一時停止	選んだオーディオデータを再生します。再生中は一時停止します。
前へ	前のオーディオデータへスキップします。
次へ	次のオーディオデータへスキップします。
1曲再生	チェックすると、一つのオーディオデータを再生します。
連続再生	チェックすると、オーディオデータを繰り返し再生します。
音量	音量を上げる／下げる／ミュートします。

❹「ツール」メニュー

ライブラリ更新	ライブラリを最新の状態に更新します。	
ライブラリに登録された曲数	ライブラリに登録されたオーディオデータの数を表示します。	
同期	同期フォルダをフォルダごとgigabeatに転送します。	
リッピング	音楽CDからオーディオデータを取り込みます。	
RipRecの実行	音楽CDからオーディオデータを取り込んでgigabeatに転送します。	
PCからgigabeatへの転送	gigabeatへオーディオデータを転送します。	
CDの取り出し	CDを取り出します。	
ネットワークドライブの割り当て／切断	gigabeatを指定したドライブに割当て／切断します。	
曲情報編集	曲情報を編集するための画面を表示します。	
Gracenote	Gracenoteへの登録	Gracenote への登録画面を表示します。
	プロキシの変更	Gracenote に接続する場合のプロキシサーバーの設定をします。
	Gracenoteへ送信	変更した内容を Gracenote に送信します。
	CD詳細情報	CDの詳細情報を表示します。
	Gracenote MusicID -トラック検索	Gracenote に接続し、トラックの情報を検索し、取得します。
	Gracenote MusicID -アルバム検索	Gracenote に接続し、アルバムの情報を検索し、取得します。
	Gracenote Playlist	Gracenote Playlist機能でプレイリストを自動で作成する画面を表示します。
オプション	同期フォルダの設定、通信の設定、オーディオデータ転送の設定をします。	

❺「ヘルプ」メニュー

バージョン情報	バージョン情報を表示します。

フォトモード

以下はフォトモードだけにあるメニューです。
他のメニューについては、オーディオモードのメニューをご覧ください。
リッピング、RipRecの実行、曲情報編集、Gracenoteなどはオーディオモードだけのメニューです。

●「表示」メニュー

オーディオモード	オーディオモードの表示に切り換えます。
詳細	フォルダやファイルを詳細表示します。
サムネイル	画像ファイルだけをサムネイル表示します。

●「ツール」メニュー

ライブラリに登録された枚数	ライブラリに登録されたフォトデータの数を表示します。

ショートカットメニュー

フォルダやファイルを選んで右クリックすると、以下のような項目がショートカットメニューで表示されます。

◆フォルダを選んだ場合

- 削除
- フォルダ作成
- 名前の変更
- gigabeatへ転送
- プロパティ

◆画像ファイルを選んだ場合

- ライブラリへ追加
- 削除
- 名前の変更
- プレイリストへ追加
- gigabeatへ転送
- プロパティ

◆音楽ファイルを選んだ場合

- 曲情報編集
- ライブラリへ追加
- 削除
- 名前の変更
- プレイリストへ追加
- gigabeatへ転送
- Gracenote MusicID
- プロパティ

◆プレイリストを選んだ場合

- 削除
- 名前の変更
- プレイリスト編集

以下を除き、メニューバーから選んだメニューと同じ操作です。

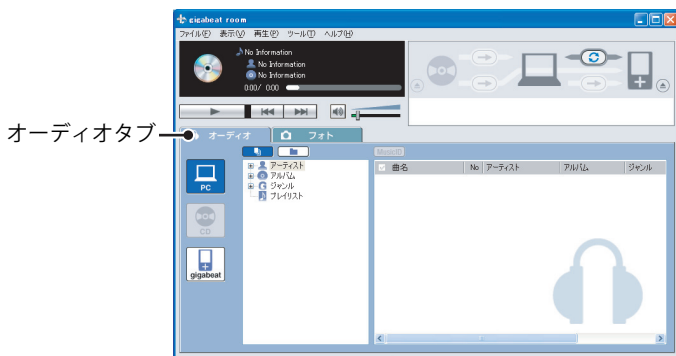
プレイリストへ追加	選んだオーディオデータまたはフォトデータをプレイリストに追加します。
ライブラリへ追加	選んだオーディオデータまたはフォトデータをライブラリに追加します。（選べるのはフォルダビューの同期フォルダ内のデータのみ）

gigabeatに音楽を転送するには

gigabeatに音楽（オーディオデータ）を転送するには、以下の方法があります。それぞれの方法は、それぞれの説明のページをご覧ください。

- 音楽CDの曲をパソコンに取り込み、あとでgigabeatに転送する
  参照：「音楽CDの曲をパソコンに取り込む」（➔53ページ）
  参照：「パソコン上のオーディオデータをgigabeatに転送する」（➔55ページ）
- 「パソコン上のオーディオデータをgigabeatに転送する」（➔55ページ）
- 「音楽CDの曲をgigabeatに転送する」（➔58ページ）
- 「ワンタッチで音楽CDの曲を転送する」（➔60ページ）
- 「同期機能を使ってオーディオデータを転送する」（➔61ページ）
- 「ワンタッチで同期フォルダのオーディオデータを転送する」（➔63ページ）
- 「Windows Media Playerを使ってオーディオデータを転送する」（➔65ページ）

お願い

- オーディオデータを転送する場合は、必ず「オーディオタブ」をクリックして、オーディオモードにしてください。

- フォトを転送する（➔119ページ）場合は、必ず「フォトタブ」をクリックして、フォトモードにしてください。

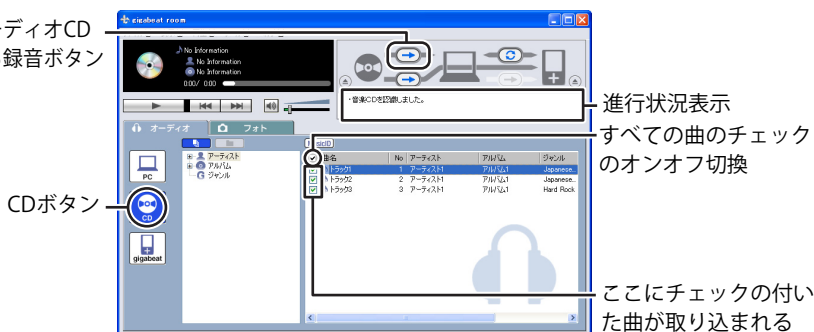
音楽CDの曲をパソコンに取り込む

gigabeat roomを使って、音楽CDの曲をパソコンにWMAファイルとして取り込めます。

1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 gigabeat roomの画面の【CDボタン】をクリックする

音楽CD内の曲の情報が表示されます。

3 取り込みたい曲にチェックを付けて、【オーディオCDから録音ボタン】をクリックする

選択した曲（オーディオデータ）の取り込みが始まります。

取り込みが終了すると、進行状況表示内に「完了しました」のメッセージが表示されます。

取り込んだオーディオデータをgigabeatに転送するには、「パソコン上のオーディオデータをgigabeatに転送する」（➔55ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「リッピング」をクリックしても取り込みができます。
- 取り込んだオーディオデータは、音楽の同期フォルダ（➔61ページ）にフォルダを作りコンテンツ保護（Windows Mediaデジタル著作権管理（DRM）対応）し、保存されます。
- 取り込むオーディオデータの音質（WMAのビットレート）、ファイル名の付けかた、コンテンツ保護を無効にするかどうかの設定を変更できます。

参照：「RipRecの設定を変える」（➔115ページ）

- コンテンツ保護したオーディオデータをgigabeatに転送するには、「オプション設定」画面の「保護されたコンテンツも転送する」（➔114ページ）にチェックを付けておく必要があります。
- gigabeat roomはGracenote認識技術に対応しています。インターネットに接続している場合は、【CDボタン】をクリックすると、自動的にGracenoteにアクセスしてCDの情報を検索・ダウンロードし、曲名・アーティスト名などといった情報を取り込みます。ただし、そのCDの情報がGracenoteに登録されていないと取り込めません。

パソコン上のオーディオデータをgigabeatに転送する

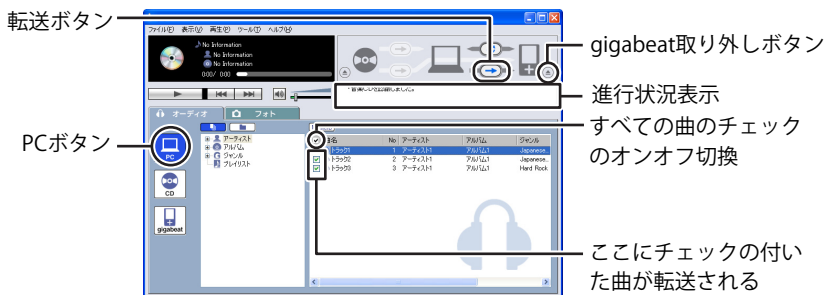
gigabeat roomを使って、パソコン内にはいっているMP3、WMA (Windows Media Audio)、WAV (Wave)のオーディオデータをgigabeatに転送できます。

1 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

参照：「パソコンとgigabeatを接続する」(➔36ページ)
参照：「gigabeat roomを起動する」(➔39ページ)

2 gigabeat roomの画面の【PCボタン】をクリックする

パソコン内のライブラリが表示されます。

3 転送したいオーディオデータにチェックを付けて、【転送ボタン】をクリックする

選択したオーディオデータの転送が始まります。
転送が終了すると、進行状況表示内に「完了しました」のメッセージが表示されます。
以下の三つの方法でもオーディオデータの転送ができます。

- 「ツール」メニューの「PCからgigabeatへの転送」をクリックする。
- 選んだオーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「gigabeatへの転送」をクリックする。
- 選んだオーディオデータをデバイスパネルの【gigabeat ボタン】にドラッグ＆ドロップする。ただし、「ドラッグアンドドロップ設定」(➔114ページ)によっては転送できない場合があります。

4 転送が終わったら、【gigabeat取り外しボタン】をクリックし、gigabeatを取りはずす

お知らせ

- gigabeatに転送しても、パソコン内の元のオーディオデータは残ります。
- 「同期」機能を使って、パソコン上の同期フォルダに入れたオーディオデータを転送することもできます。
  参照：「同期機能を使ってオーディオデータを転送する」（→61ページ）
- 同期フォルダ（→61ページ）で設定したフォルダと同じ名前のフォルダをgigabeat内に作成し、そのフォルダに転送されます。
- 暗号化され転送されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。
- gigabeat に転送されたオーディオデータをパソコンにコピーしても（戻しても）、暗号化されたままで、元のMP3、WMA、WAVファイルには戻りません。
- エクスプローラからオーディオデータを【gigabeatボタン】にドラッグ&ドロップしても転送できます。ただし、「ドラッグアンドドロップ設定」（→114ページ）によっては転送できない場合があります。
- 保護された音楽（コンテンツ）のWMAファイルも転送できます。（「ツール」メニューの「オプション」をクリックして表示した「オプション設定」画面の「一般」タブの「保護されたコンテンツも転送する」にチェックが付いている必要があります。（→114ページ）チェックをはずすと高速転送になります。）ただしDRM10以降のWindows Mediaデジタル著作権管理（DRM）が使われたWMAファイルの場合は、gigabeat本体の設定画面の「PC接続方法」を「Windows Media Player 10」に設定して必ず、USBクレードル経由でWindows Media Player 10を使って転送してください。
  参照：「PC接続方法」（→155ページ）
- gigabeat roomでWMA Professional/WMA Lossless/WMA Voiceフォーマットのオーディオデータは転送できません。
- gigabeatに転送できるファイルの種類と拡張子は以下のとおりです。
  WMAファイル：　「.wma」
  MP3ファイル：　「.mp3」
  WAVファイル：　「.wav」
- gigabeatに転送されたオーディオデータは、文字列長に制限があります。以下の項目はそれぞれ指定の長さを超える場合、切り詰められます。なお、gigabeat room、Windows Media Playerどちらを使って転送しても同じ結果になります。
  フォルダ名　85文字（*1）
  ファイル名（*1）　85文字（*2）

タイトル名	63文字
ジャンル名	63文字
アーティスト名	63文字
アルバム名	63文字
プレイリスト名	80文字

*1：拡張子を含むファイル名。gigabeat 用オーディオフォーマットに付けられる「.SAT」を含みます。

*2：ファイル名またはフォルダ名の長さが86文字以上の場合や、ファイル名またはフォルダ名を含むフルパス長が256文字以上の場合は、ファイル名は「(8文字).(拡張子).SAT」に、フォルダ名は8文字に短縮され転送されます。8文字の部分は重複を防ぐための特殊な文字列に変換されます。gigabeat roomで、プレイリストは転送できません。(本体の設定画面の「PC接続設定」を「gigabeat room」に設定して転送した場合。)
本体の設定画面の「PC接続設定」を「Windows Media Player 10」に設定して転送した場合は、切り詰めたあと最後の10文字は重複を防ぐために特殊な文字列に変換されます。

Windows Media Player 9／10で曲を取り込む場合のお願い

保護された音楽(コンテンツ)はgigabeat roomでの転送に制限があります。Windows Media Player 9/10で音楽CDの曲をパソコンに取り込む場合は、以下の設定を行ってください。

Windows Media Player 9の場合

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。

2 「音楽の録音」タブを選びます。

3 「保護された音楽を録音する」のチェックをはずします。

Windows Media Player 10の場合

1 「ツール」メニューの「オプション」を選びます。

2 「音楽の取り込み」タブを選びます。

3 「取り込んだ音楽を保護する」のチェックをはずします。

音楽CDの曲をgigabeatに転送する

gigabeat roomを使って、音楽CDの曲をWMAファイルに変換し、直接gigabeatに転送できます。

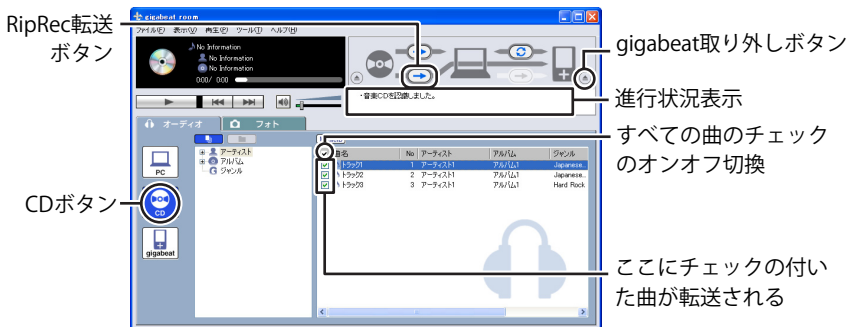
1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

参照：「パソコンとgigabeatを接続する」（➔36ページ）
参照：「gigabeat roomを起動する」（➔39ページ）

3 gigabeat roomの画面の【CDボタン】をクリックする

音楽CD内の曲の情報が表示されます。

4 転送したい曲にチェックを付けて、【RipRec転送ボタン】をクリックする

選択した曲（オーディオデータ）の変換と転送が始まります。
転送が終了すると、進行状況表示内に「完了しました」のメッセージが表示されます。

5 転送が終わったら、【gigabeat取り外しボタン】をクリックし、gigabeatを取りはずす

お知らせ

- 「ツール」メニューの「RipRecの実行」をクリックしても転送できます。
- 取り込んで転送するオーディオデータは、パソコン内の音楽の同期フォルダにも、コンテンツ保護されて残ります。
- 取り込んで転送するオーディオデータの音質（WMAのビットレート）、ファイル名の付けかた、パソコンに残すかどうか、コンテンツ保護を無効にするかどうかの設定を変更できます。

  参照：「RipRecの設定を変える」（➔115ページ）
- 暗号化され転送されたオーディオデータは、「（元のオーディオデータ名）.SAT」という名前になります。
- gigabeat roomはGracenote認識技術に対応しています。インターネットに接続している場合は、【CDボタン】をクリックすると、自動的にGracenoteにアクセスしてCDの情報を検索・ダウンロードし、曲名・アーティスト名などといった情報を取り込みます。ただし、そのCDの情報がGracenoteに登録されていないと取り込めません。
- 曲情報を取り込まずgigabeatに転送しても、Gracenote Music ID機能を使って、gigabeat内の曲の曲情報をインターネットで取得できます。

  参照：「インターネットで曲情報を取得する」（➔104ページ）

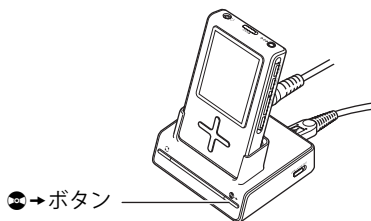
ワンタッチで音楽CDの曲を転送する

USBクレードル（別売）の→ボタンを使って、音楽CDの曲をワンタッチでgigabeatに転送できます。

1 USBクレードルを使って、パソコンとgigabeatを接続する

参照：「パソコンとgigabeatを接続する」（→36ページ）

2 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBクレードルの→ボタンを押す

gigabeat roomが自動的に起動し、音楽CDのオーディオデータ転送が始まります。

お知らせ

- 暗号化され転送されたオーディオデータは、「(元のオーディオデータ名).SAT」という名前になります。
- →ボタンを使ってオーディオデータの転送を行うには、パソコン上でgigabeat watcherが起動している必要があります。
  タスクバーにgigabeat watcherのアイコンがカラーで表示されていることを確認してください。起動していない場合は、スタートメニューの「すべてのプログラム」から「TOSHIBA gigabeat room 3.0」の「gigabeat watcher 3.0」をクリックし、起動させてください。
- USBクレードルのUSB/LINE OUT切換スイッチが「USB」になっていなくても→ボタンは働きます。

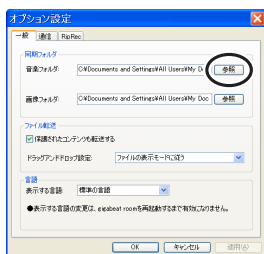
同期機能を使ってオーディオデータを転送する

パソコンに同期フォルダを設定しておくと、同期フォルダ内にあるオーディオデータをフォルダごとgigabeatに転送できます。

同期フォルダを設定する

1 gigabeat roomの「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」画面が表示されます。

2 「一般」タブの「同期フォルダ」の「音楽フォルダ」の横の「参照」ボタンをクリックする

「フォルダの参照」画面が表示されます。

3 音楽ファイルの同期フォルダに設定したいフォルダを選び「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面に戻ります。

4 「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面が閉じ、同期フォルダが設定されます。

同期フォルダのオーディオデータを転送する

1 パソコンとgigabeatを接続する

2 【オーディオタブ】をクリックする

オーディオモードの表示になります。

3 「ツール」メニューの「同期」をクリックする

音楽の同期フォルダに設定したフォルダ内のオーディオデータがフォルダごとgigabeatに転送されます。

転送パネルの【同期ボタン】をクリックしても転送できます。

お知らせ

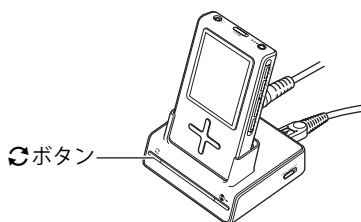
- 音楽の同期フォルダの下にあるすべての音楽ファイル（MP3、WMA、WAV）が、そのフォルダ階層のまま転送されます。
- すでに転送されているファイルで、転送元のファイルの方が新しい場合は上書き転送されます。
- 転送元からファイルが削除されていても、gigabeatの方のファイルは削除されません。
- 同期フォルダに、（例：C:¥）のようにドライブを直接設定することはできません。相対パスやネットワークパスも設定することはできません。
- フォトモードの表示のとき、同期を行うと画像の同期フォルダの画像ファイルが転送されます。

ワンタッチで同期フォルダのオーディオデータを転送する

USBクレードル（別売）のボタンを使って、同期フォルダのオーディオデータをワンタッチでgigabeatに転送できます。

1 USBクレードルを使って、パソコンとgigabeatを接続する

参照：「パソコンとgigabeatを接続する」（➔36ページ）

2 USBクレードルのボタンを押す

gigabeat room が自動的に起動し、音楽の同期フォルダに設定したフォルダ内のオーディオデータがフォルダごとgigabeatに転送されます。

ただし、最後にフォトモード表示にしてgigabeat roomを終了したときは、起動したときフォトモード表示になるので、画像の同期フォルダの画像ファイルが転送されます。

お知らせ

- 音楽の同期フォルダの下にあるすべての音楽ファイル（MP3、WMA、WAV）が、そのフォルダ階層のまま転送されます。
- すでに転送されているファイルで、転送元のファイルの方が新しい場合は上書き転送されます。
- 転送元からファイルが削除されていても、gigabeatの方のファイルは削除されません。
- 同期フォルダに、（例：C:￥）のようにドライブを直接設定することはできません。
- ボタンを使ってオーディオデータの転送を行うには、パソコン上でgigabeat watcherが起動している必要があります。
  タスクバーにgigabeat watcherのアイコンがカラーで表示されていることを確認してください。起動していない場合は、スタートメニューの「すべてのプログラム」から「TOSHIBA gigabeat room 3.0」の「gigabeat watcher 3.0」をクリックし、起動させてください。
- USBクレードルのUSB/LINE OUT 切換スイッチが「USB」になっていなくてもボタンは働きます。

Windows Media Playerを使ってオーディオデータを転送する

Windows Media Player 9／10を使ってもgigabeatにオーディオデータを転送できます。Windows Media Player 9／10は、Windows Mediaデジタル著作権管理(DRM)をサポートしており、ライセンス付きWMAファイルにも対応します。

使用上の注意事項

Windows Media driver for gigabeatをインストールしたWindows Media Player 9／10とgigabeat roomでは同時に転送できません。

パソコン上のオーディオデータをgigabeatに転送する

Windows Media Player 9／10を使って、MP3、WMA、WAVのオーディオデータをgigabeatに転送します。

準備

- Windows Media Player 10のサブスクリプションに対応させる場合は、gigabeat本体の「設定」－「接続」の「PC接続方法」を「Windows Media Player 10」に設定してください。ただし、その場合はUSBクレードル（別売）経由で接続してください。本体のUSBコネクターに直接接続した場合は「PC接続方法」を「gigabeat room」に設定した場合と同じ動作になり、サブスクリプションに対応しません。
  参照：「PC接続方法」（➔155ページ）
- 転送したいオーディオデータを準備し、パソコンとgigabeatを接続したら、Windows Media Player 9／10を起動してください。

Windows Media Player 9の場合

1 「デバイスへ転送」をクリックする

2 転送したいオーディオデータを選ぶ

3 転送先のデバイスとしてgigabeatを選び、オーディオデータを転送するフォルダを指定する

4 「転送」ボタンをクリックする

詳しくは、Windows Media Player 9のヘルプをご覧ください。

Windows Media Player 10の場合

1 ライブラリ表示のタイトル名を右クリックして表示されたショートカットメニューの「追加」から「同期リスト」を選ぶ

2 転送先のデバイスとしてgigabeat を選ぶ

3 「同期の開始」ボタンをクリックする

詳しくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

お知らせ

- 「PC接続方法」を「Windows Media Player 10」に設定し、USBクレードル（別売）経由でパソコンに初めて接続した場合、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。このときは付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROM ドライブに入れてください。必要なドライバが自動的にインストールされます。
- 転送したオーディオデータは、gigabeat room で転送した場合と同様に、gigabeat用のオーディオフォーマット（SATファイル）に変換されます。
- 転送したオーディオデータは、gigabeat内の指定したフォルダにすべて保存されます。ただし、転送の際指定したフォルダ内に新しいフォルダは作成されません。
- 転送したオーディオデータのタグにタイトル名がはいっている場合は、そのタイトル名がgigabeat内のファイル名として保存されます。タグにタイトル名がはいっていない場合は、転送したファイル名がgigabeat内のファイル名として保存されます。
- 転送するファイル名と同じ名称のファイル名が転送先にある場合は、強制上書きされます。
- ライセンス付きWMAファイルは、そのライセンス条件によってgigabeatに転送できない場合があります。

● WMA/WAVファイルはgigabeatに転送する際に以下のように変換されます。

転送前	gigabeatに転送後
WMA Professional	WMA CBR (32kbps～160kbps)に変換
WMA Lossless	WMA CBR (32kbps～160kbps)に変換
WMA Voice	WMA CBR (32kbps)に変換
WMA VBR	平均ビットレートが32kbps～160kbpsの場合： →そのまま転送 平均ビットレートが32kbps～160kbpsの範囲外の場合： →WMA CBR (32kbps～160kbps)に変換
WAV (PCM)	WMA CBR (32kbps～160kbps)に変換

● gigabeat に転送されたオーディオデータは、文字列長に制限があります。
参照：「パソコン上のオーディオデータをgigabeatに転送する」のお知らせ (➔56ページ)

●「PC接続方法」を「Windows Media Player 10」としてパソコンに接続し、エクスプローラのマイコンピュータからTOSHIBA gigabeatを選択してgigabeatにファイルをコピーできますが、フォルダ名が85文字を超えるフォルダを同じ場所に2度転送した場合、
1) フォルダの上書きを警告するダイアログが表示されません。
2) 同じフォルダがフォルダリストに二つ表示されることがあります。
ただしこの場合、実際には一つのフォルダしかコピーされてないため、二つのうちどちらかを削除すると、gigabeatからはそのフォルダが完全に削除されます。

ライセンス付きWMAファイルをgigabeatに転送する場合の注意

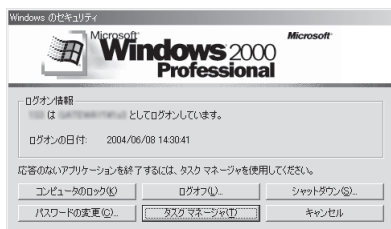
Windows Media Player 9からgigabeatにライセンス付きWMAファイルを転送したときに、お使いになるパソコンの環境によっては次の現象が発生する場合があることが判明しています。現象が発生した場合は、以下の方法で対処してください。

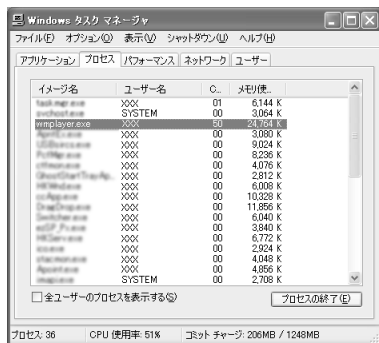
現象：　「検査しています」を表示したままになり、「転送の停止」ボタンをクリックしても転送を停止することができなくなる。

対処：　以下の手順でWindows Media Player 9のプロセスを終了してください。

1　**Windows Media Player 9を終了する**

2　**「Windowsタスクマネージャ」を起動する**

- Microsoft Windows XP Home Edition/XP Professionalの場合
  Ctl-Alt-Delキーを同時に押す
- Microsoft Windows 2000 Professionalの場合
  Ctl-Alt-Delキーを同時に押して、「Windowsのセキュリティ」から「タスクマネージャ」をクリックし「Windowsタスクマネージャ」を起動する

3 「プロセスタブ」を選ぶ

4 プロセスの一覧が表示されるので、「イメージ名」から「wmplayer.exe」を選択し、ウィンドウ右下の「プロセスの終了」ボタンをクリックして終了する

購入情報サイトにアクセスする

Windows Media Player 10を使って、オーディオデータの購入情報サイトにアクセスできます。

1 購入したいオーディオデータの再生中にMENUボタンを押す

2 表示されたMENU画面で「購入情報サイト」を選び、「アクセスする」に設定する

3 「PC接続方法」（➔155ページ）を「Windows Media Player 10」に設定する

4 USBクレードルを使ってパソコンと接続する

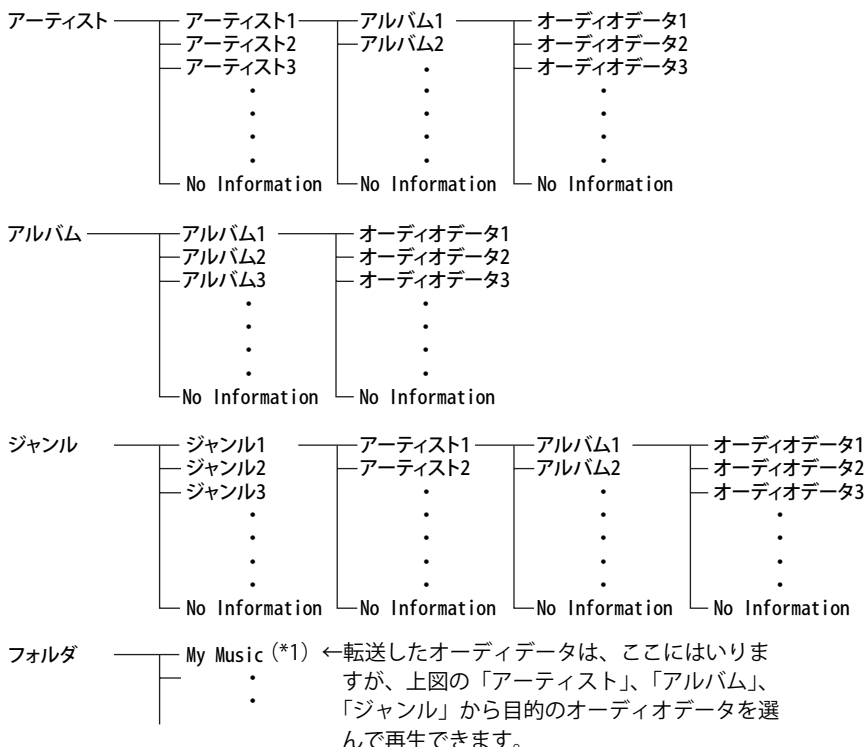
5 Windows Media Player 10と同期する

ただし、オーディオデータによっては、アクセスされない場合があります。Windows Media Player 10のバージョンは10.00.00.3802以降が必要です。

音楽を選んで聴く

gigabeat に転送したオーディオデータは、gigabeat 内の「オーディオ」の中の「フォルダ」の中の「My Music」（*1）にはいりますが、オーディオデータが持っている曲情報によって「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」のそれぞれから目的のオーディオデータを選ぶことができます。

オーディオのトップ画面の「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」の構成

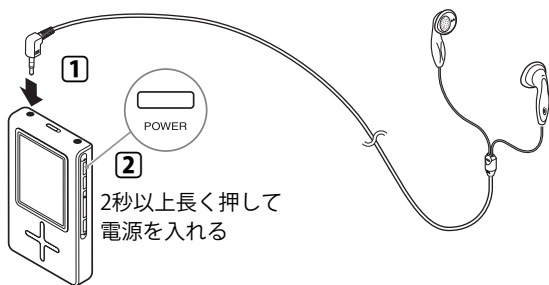
フォルダ　My Music（*1）←転送したオーディデータは、ここにはいりますが、上図の「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」から目的のオーディオデータを選んで再生できます。

*1：同期フォルダに設定したパソコンのフォルダの名前によって変わります。

「No Information」がある場合、上図では最下部にありますが、実際はそれぞれの項目の最上部に表示されます。

お知らせ

- アーティスト名、アルバム名、ジャンル名、オーディオデータ名の情報が無いオーディオデータのアーティスト名、アルバム名、ジャンル名、オーディオデータ名は、それぞれNo Informationという名前になります。
- 実際には同じアーティスト名／アルバム名／ジャンル名のオーディオデータでも、曲情報に異なる部分があると、別のオーディオデータとして扱われます。
- 「トップ画面」、「オーディオのトップ画面」、「オーディオのナビ画面」、「再生画面」などについて、詳しくは「表示画面について」(➔41ページ)をご覧ください。
- プラスタッチの操作については「プラスタッチの操作」(➔23 ページ)をご覧ください。

例：「アーティスト」からオーディオデータを選ぶ場合

1 ヘッドホンを接続して、電源を入れる

ワイヤードリモコン（別売）を使うときは、ワイヤードリモコンを本体のヘッドホンジャックに接続し、ヘッドホンをワイヤードリモコンに接続してください。

2 トップ画面を表示させる

トップ画面が表示されていない場合は、POWERボタンを短く押します。

3

プラスタッチの上または下をタッチして「オーディオ」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

オーディオのトップ画面が表示されます。

4

プラスタッチの上または下をタッチして「アーティスト」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

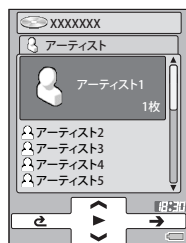
アーティストのナビ画面（選んだ項目の内容一覧の画面）が表示されます。

5

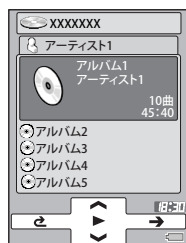
プラスタッチの上または下をタッチして再生したいアーティストを選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだアーティストのアルバムのナビ画面が表示されます。

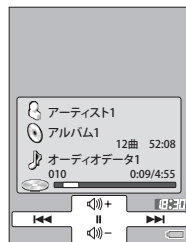
6

プラスタッチの上または下をタッチして再生したいアルバムを選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだアルバム内のオーディオデータのナビ画面が表示されます。

7

プラスタッチの上または下をタッチして再生したいオーディオデータを選ぶ

8
プラスタッチの中央をタッチする

選んだオーディオデータを再生します。

お願い

- 本体の電源が切れている状態で、ヘッドホンやワイヤードリモコン（別売）を抜き差ししてください。
- プラグは奥まで確実に差し込んでください。完全に差し込まれていないと、正しく動作しないことがあります。
- ヘッドホンやワイヤードリモコン以外の機器を本体のヘッドホンジャックに接続しないでください。誤動作することがあります。

お知らせ

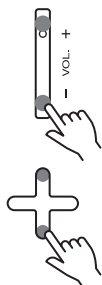
- 「アルバム」、「ジャンル」、「フォルダ」からも同様にオーディオデータを選んで再生できます。
- 手順3～6のときプラスタッチの中央をタッチすると、それぞれその中のオーディオデータを再生します。
- Windows Media DRM10で著作権保護されたWMAデータは下記のエラーを表示して再生できない場合があります。
  1)「再生期限が切れています」（再生可能な有効期限が過ぎているので再生できません。そのWMAデータを購読（Subscription）しているパソコンで契約を更新し、gigabeatをそのパソコンと接続して同期を取る必要があります。）
  2)「PC と同期を取ってください」（しばらくの間パソコンと接続しなかったり、本体をリセットしたときなどに表示されます。この場合は、パソコンとUSB接続してWindows Media Player10と同期すると再生できます。また、再生期限が切れているときも、このエラーが表示されることがあります。この場合は1）と同じ対処をしてください。）

表示を変更する

ナビ画面や再生画面で、MENUボタンを押して表示されたMENU画面で、次の項目を選び、表示を変更できます。

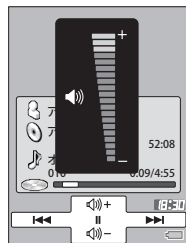
ジャケット参照	選んだオーディオデータのジャケット写真を拡大表示します。
オーディオソート	オーディオデータの並び順を変更します。
ガイド画面	ガイド画面の表示をオン/オフします。
サムネイルで表示	アルバムを選んだとき、アルバムのジャケット写真をサムネイルで表示します。戻すには、MENUボタンを押し、「リストで表示」を選びます。
壁紙のみ表示	再生画面を壁紙のみの表示にします。

再生中にできること

音量を調整する

VOL.(+)/VOL.(−)ボタンを押す

または

再生画面表示中に、プラスタッチの上（🔊+）または下（🔊−）をタッチする

音量調整バーが表示され、約2秒後に自動的に消えます。

お知らせ

- 「設定」−「基本設定」の「プラスタッチ上下操作」で、「ボリューム」と「アルバムスキップ」を切り換えることができます。
- 本体のAボタンに「ミュート」を割り当て（➔152ページ）、Aボタンを押すと、音声をミュートできます。ミュート状態でもう一度Aボタンを押すか、音量を調節すると、ミュートは解除されます。
- 「設定」−「オーディオ」の「プリセット音量」を「オン」にすると、gigabeat roomの曲情報編集で設定した音量で再生することができます。
  参照：「曲情報を編集する」（➔107ページ）
- ACアダプターを接続したUSBクレードルと本体を接続した場合、「プリセット音量」は、その設定にかかわらず無効になります。

再生を一時停止する

再生中で再生画面表示中に、プラスタッチの中央をタッチする

もう一度中央をタッチすると、続きを再生します。

お知らせ

- 再生するフォルダに多数のファイルがはいっているときや、一度再生を停止したあとでは、プラスタッチの中央をタッチしてから再生が始まるまで数秒かかることがあります。

● オーディオデータによっては、ごくまれにノイズが聴こえることがあります。

早戻し／早送りする

再生画面表示中に、プラスタッチの左または右をホールドする

● 左をホールドすると、早戻しになります。
● 右をホールドすると、早送りになります。

プラスタッチから指を離すと、通常の再生または一時停止状態に戻ります。

再生中の曲の頭出し／前後の曲にスキップする

再生画面表示中に、プラスタッチの左または右をタッチする

● 左をタッチすると、現在再生中の曲の先頭にスキップします。すばやく2回タッチすると、ひとつ前の曲にスキップします。
● 右をタッチすると、次の曲にスキップします。

次のアルバムにスキップする

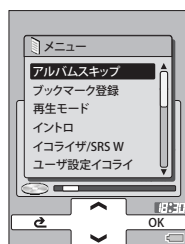
1

再生画面表示中に、MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして、「アルバムスキップ」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

お知らせ

- ワイヤードリモコン（別売）のイコライザボタンを 2 秒以上押した場合も、次のアルバムにスキップできます。
- 「設定」－「基本設定」の「プラスタッチ上下操作」を、「アルバムスキップ」にすると、プラスタッチの上または下をタッチして、前後のアルバムにスキップすることができます。
- 「アルバムスキップ」の機能は、「Aボタン」に割り当てることができます。
  参照：「Aボタン割当て」（➔152ページ）
- アルバムスキップは、ランダム再生ではできません。

トップ画面を表示させる

POWERボタンを短く押す

または

プラスタッチの下から上にジェスチャーする

再生画面に戻る

プラスタッチの左から右にジェスチャーする

ナビ画面などから現在再生中の曲の再生画面に戻ります。
フォトの全画面表示中、またはスライドショー中は無効です。

再生曲のナビ画面に戻る

プラスタッチの右から左にジェスチャーする

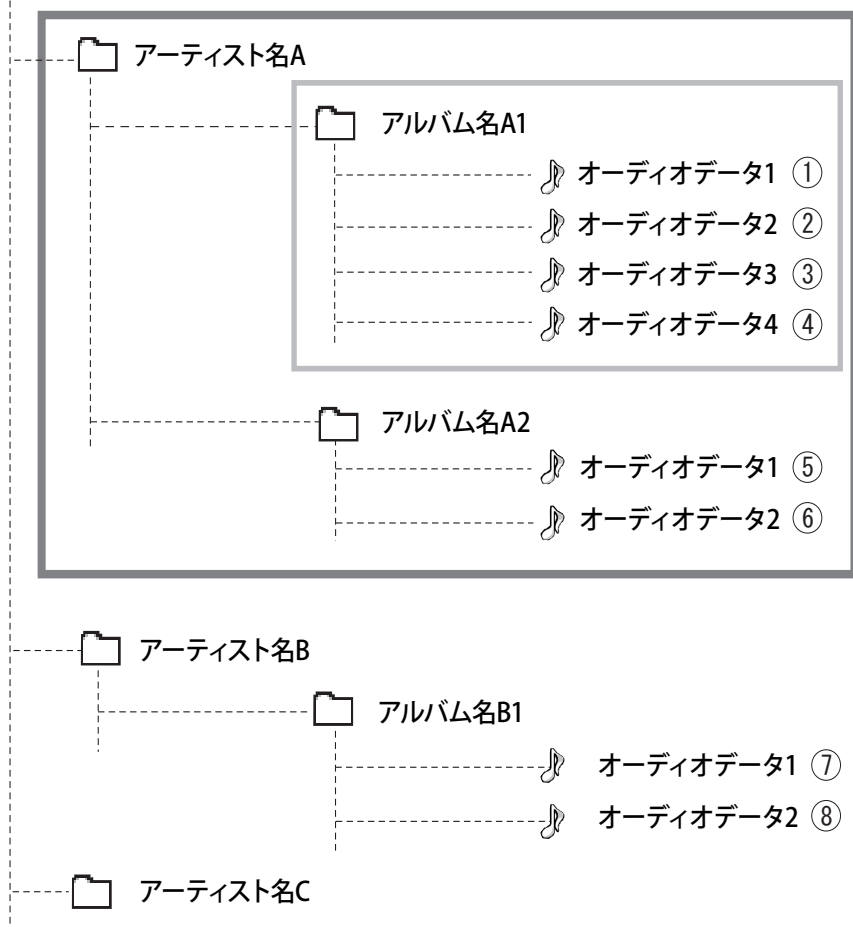
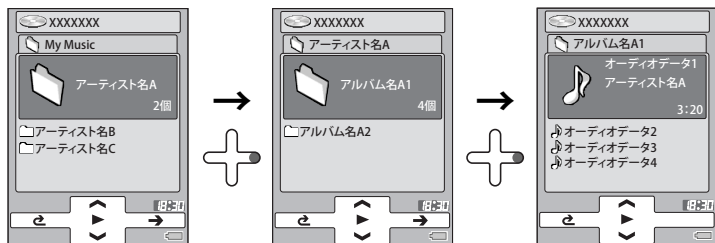
ナビ画面が表示されます。
現在再生中の曲が選択されています。
フォトの全画面表示中、またはスライドショー中は無効です。

設定画面を表示させる

プラスタッチの上から下にジェスチャーする

オーディオデータの選択と再生順について

gigabeat内のフォルダの階層が以下のような場合、再生順は次のようになります。

アーティスト名A
アルバム名A1
オーディオデータ1 ①
オーディオデータ2 ②
オーディオデータ3 ③
オーディオデータ4 ④
アルバム名A2
オーディオデータ1 ⑤
オーディオデータ2 ⑥
アーティスト名B
アルバム名B1
オーディオデータ1 ⑦
オーディオデータ2 ⑧
アーティスト名C

:フォルダ
:オーディオデータ

中央をタッチ：
アーティスト名Aのオーディオデータを再生する。
78ページの部

中央をタッチ：
アルバム名A1のオーディオデータを再生する。
78ページの部

中央をタッチ：
オーディオデータ1を再生する。

● 再生モードが通常再生の場合、再生順は以下のとおりです。

以下でプラスタッチの中央をタッチした場合	再生順
アーティスト名A	①～⑥、⑦、⑧の順に繰り返す
アルバム名A2	⑤、⑥、⑦、⑧、①～④の順に繰り返す

● 再生モードがアルバム再生の場合、再生順は以下のとおりです。

以下でプラスタッチの中央をタッチした場合	再生順
アーティスト名A	①～⑥の順
アルバム名A2	⑤、⑥の順
アーティスト名B	⑦、⑧の順

お知らせ

- gigabeatで再生または表示できるのは、gigabeat roomまたはWindows Media Player 9／10で転送したオーディオデータです。
- 一つのフォルダ内の再生の対象となるオーディオデータの数は最大で999です。

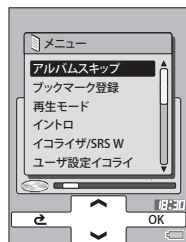
繰り返し聴く／ランダムに聴く

リピート再生やランダム再生など、お好みに合わせて選べます。

1

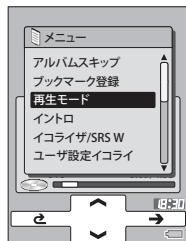
再生画面でMENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

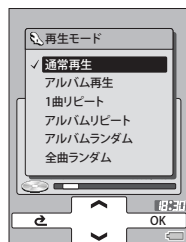
2

プラスタッチの上または下をタッチして「再生モード」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

再生モードの一覧が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして設定したい再生モードを選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

モードが設定され、再生画面に戻ります。
再生中の場合はすぐに、一時停止中の場合は、プラスタッチの中央をタッチすると、設定した再生モードで再生が始まります。

再生画面での表示	再生モード	動作内容
なし	通常再生	gigabeat 内のすべてのオーディオデータを繰り返し再生します。
	アルバム再生	選んだフォルダ（アルバムなど）／プレイリスト内のオーディオデータを再生します。
	1曲リピート	一つのオーディオデータを繰り返し再生します。
	アルバムリピート	選んだフォルダ（アルバムなど）／プレイリスト内のオーディオデータを繰り返し再生します。
	アルバムランダム	選んだフォルダ（アルバムなど）／プレイリスト内のオーディオデータを順不同に再生します。
ALL	全曲ランダム	gigabeat 内のすべてのオーディオデータを順不同に再生します。

お知らせ

- 再生モードは、「設定」－「オーディオ」からも設定できます。
- 再生中にアルバムランダム、または全曲ランダムを選んだときは、再生中のオーディオデータが終わってから順不同にオーディオデータを選んで再生します。
- 「再生モード」の機能は、「Aボタン」に割り当てることができます。
  参照：「Aボタン割当て」（➔152ページ）

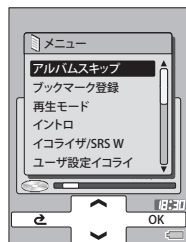
好みの音質にする（イコライザの変更）

「イコライザ」（➔162ページ）の種類を、お好みに合わせて選べます。

1

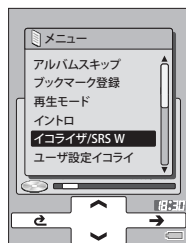
再生画面でMENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「イコライザ/SRS WOW」を選ぶ

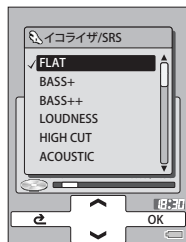
プラスタッチの右をタッチする

イコライザ/SRS WOWの一覧が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして設定したいイコライザの種類を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

イコライザの種類が設定され、再生画面に戻ります。

「USER」を選ぶと、「ユーザ設定イコライザ」で設定した音質で再生します。

参照：「「ユーザ設定イコライザ」の調整」（➔84ページ）

再生画面での表示	イコライザの種類
なし	FLAT
BASS +	BASS +
BASS ++	BASS + +
LOUD NESS	LOUDNESS
HIGH CUT	HIGH CUT
ACSTC	ACOUSTIC
BLUES	BLUES
CLSSC	CLASSIC
CNTRY	COUNTRY
DANCE	DANCE
FOLK	FOLK
GRNGE	GRUNGE
HARD	HARD
HIP HOP	HIP HOP
JAZZ	JAZZ
LATIN	LATIN
METAL	METAL

再生画面での表示	イコライザの種類
NEW AGE	NEW AGE
OLDIE	OLDIES
OPERA	OPERA
PIANO	PIANO
POPS	POPS
R&B	R&B
RAP	RAP
REGAE	REGGAE
ROCK	ROCK
SWING	SWING
TECNO	TECHNO
VOCAL	VOCAL
USER	USER
(●) ++	SRS WOW++ (*)
(●) +	SRS WOW + (*)
(●)	SRS WOW (*)

* SRS WOW機能（自然な立体音場感、豊かな低音、輪郭のはっきりしたクリアーなサウンドになる）が働きます。機能モードは3種類あります。

お知らせ

- プラスタッチの上または下をタッチすると、一時的に選んだイコライザの音質設定になります。ただし、プラスタッチの右をタッチしなければその設定は確定されません。
- イコライザの種類は、ワイヤードリモコン（別売）のイコライザボタン（+）を押しても選べます。

- イコライザの種類は、「設定」－「オーディオ」からも設定できます。
- 「設定」－「オーディオ」の「プリセットイコライザ」を「オン」にすると、gigabeat roomの曲情報編集で設定したイコライザで再生します。

参照：「曲情報を編集する」（➔107ページ）

- gigabeat roomの曲情報編集で設定したイコライザは、画面のイコライザアイコンには反映されません。MENUボタンを押して表示されたMENU画面の「プロパティ」で、設定したイコライザを確認できます。
- ACアダプターを接続したUSBクレードルと本体を接続した場合、イコライザはその設定や表示にかかわらず「FLAT」になり、「プリセットイコライザ」は無効になります。
- 「イコライザ/SRS WOW」の機能は、「Aボタン」に割り当てることができます。

参照：「Aボタン割当て」（➔152ページ）

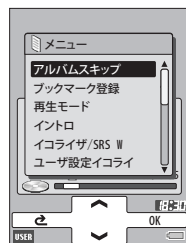
「ユーザ設定イコライザ」の調整

ユーザ設定イコライザ（イコライザ/SRS WOWで「USER」を選んだときのイコライザ）を調整します。

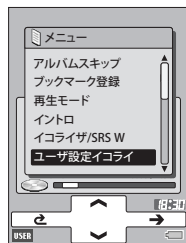
1

再生画面でMENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

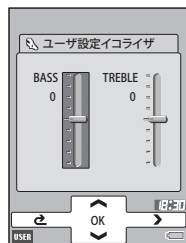
2

プラスタッチの上または下をタッチして「ユーザ設定イコライザ」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

ユーザ設定イコライザの調整画面が表示されます。

3

プラスタッチの右または左をタッチして「TREBLE」または「BASS」を選ぶ

- TREBLE：高音
- BASS　：低音

4

プラスタッチの上または下をタッチして調整する

- 上：強くなる
- 下：弱くなる

5

調整が終わったら、プラスタッチの中央をタッチする

調整内容が確定し、再生画面に戻ります。

お知らせ

- ユーザ設定イコライザは、「設定」－「オーディオ」からも調整できます。

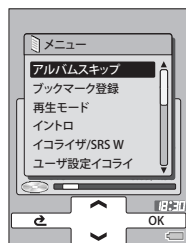
イントロを聴く

各オーディオデータの頭の部分を10秒または60秒間再生することができます。

1

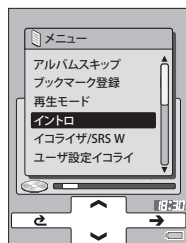
再生画面でMENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「イントロ」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

イントロの種類が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして再生したいイントロの種類を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

イントロの種類が設定され、再生画面に戻ります。

再生中の場合はすぐに、一時停止中の場合は、プラスタッチの中央をタッチするとすぐにイントロ再生が始まります。

再生画面での表示	イントロの種類	動作内容
なし	なし	イントロ再生しないで、すべてを再生する
10	10秒イントロ	オーディオデータを設定した再生モードにしたがって頭から10秒ずつ再生します。
60	60秒イントロ	オーディオデータを設定した再生モードにしたがって頭から60秒ずつ再生します。

お知らせ

- イントロの種類は、「設定」－「オーディオ」からも設定できます。

お気に入りにする（ブックマーク）

お気に入りのオーディオデータをブックマークに登録すると、登録したオーディオデータだけの再生ができます。

1

オーディオのナビ画面でプラスタッチの上または下をタッチして、ブックマークに登録したいオーディオデータを選ぶ

2

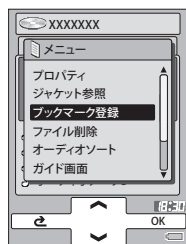
MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク登録」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだオーディオデータがブックマークに登録され、ブックマークアイコンに変わります。

お知らせ

- 「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」、「プレイリスト」、「フォルダ」のどれかひとつからオーディオデータをブックマークに登録すると、ほかのフォルダから選べる同じオーディオデータもブックマークアイコンが付きます。
- 再生画面でMENUボタンを押しても、「ブックマーク登録」を選べます。
- ブックマークに登録済みのオーディオデータを選び、手順**3**で「ブックマーク解除」を選ぶと、ブックマークから消えます。
- ブックマークには、50件まで登録できます。
- プレイリストやフォルダなどはブックマークに登録できません。
- 「ブックマーク登録」の機能は、「Aボタン」に割り当てることができます。
  参照：「Aボタン割当て」（➔152ページ）

ブックマークに登録したオーディオデータを見るには

1

オーディオのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

登録したオーディオデータが表示されます。
プラスタッチの中央をタッチすると、選んでいるオーディオデータを再生できます。

お知らせ

- ブックマークの画面で、MENU ボタンを押し MENU 画面を表示させ、「ブックマーク解除」を選ぶと、選んでいるオーディオデータはブックマークから消えます。
- リセット（➔166ページ）したり電池の残量がなくなって電源が切れたときは、最後にパソコンとUSB接続したときのブックマークの状態に戻ります。

ブックマークに登録したすべてのオーディオデータを再生するには

1

オーディオのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク」を選ぶ

プラスタッチの中央をタッチする

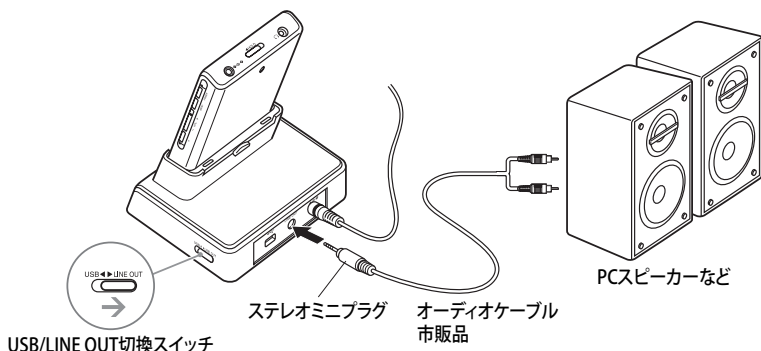
登録したすべてのオーディオデータが再生されます。

PCスピーカーで聴く

USBクレードル（別売）のLINE OUTジャックを使うと、PCスピーカーなどで再生できます。

1 gigabeatをUSBクレードルに接続する

2 USBクレードルのLINE OUTジャックとPCスピーカーなどを接続する

3 USBクレードルのUSB/LINE OUT切換スイッチを「LINE OUT」にする

4 再生する

お知らせ

- USB/LINE OUT切換スイッチを「USB」から「LINE OUT」に変更する場合は以下のようにしてください。
  - ・USB接続中のとき
    gigabeat roomを終了、または何も処理していない状態にし、gigabeatを切り離した状態で、変更してください。
  - ・ネットワークに接続中のとき
    gigabeat roomを終了、または何も処理していない状態にし、gigabeatのネットワークドライブを切断した状態で、変更してください。
- LINE OUT 出力では、イコライザはその設定や表示にかかわらず「FLAT」になり、「プリセット音量」（➔153ページ）と「プリセットイコライザ」（➔153ページ）は無効になります。

オーディオデータをごみ箱に入れる／削除する

削除したいオーディオデータまたはプレイリストは、ごみ箱に入れることができます。ごみ箱に入れると、そのファイルは、再生候補からはずれます。ごみ箱に入れたデータは、あとでまとめて完全に削除することができます。

1

オーディオのナビ画面でプラスタッチの上または下をタッチして、削除したいオーディオデータなどを選ぶ

2

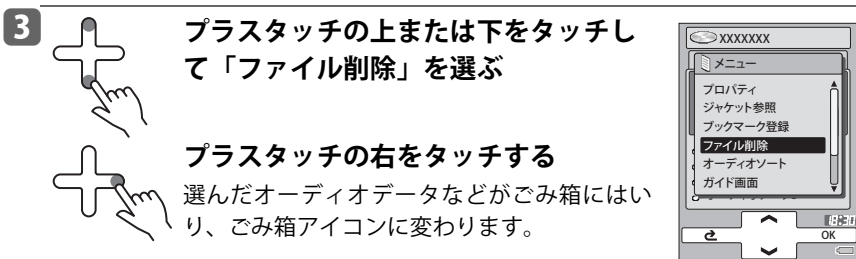
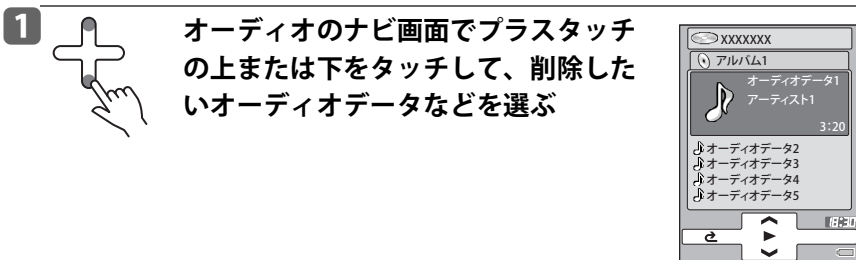
MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして「ファイル削除」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだオーディオデータなどがごみ箱にはいり、ごみ箱アイコンに変わります。

お知らせ

- 「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」、「プレイリスト」、「フォルダ」のどれかひとつからオーディオデータをごみ箱に入れると、ほかのフォルダから選べる同じオーディオデータもごみ箱アイコンが付きます。
- 再生画面でMENUボタンを押しても、「ファイル削除」を選べます。
- ごみ箱に入れたオーディオデータなどを選び、手順 3 で「ファイル削除取消」を選ぶと、ごみ箱から元に戻せます。
- ごみ箱には、50件まで入れられます。

- ごみ箱に入れてもgigabeatの空き容量はふえません。gigabeatの空き容量をふやすには、ごみ箱に入れたデータを削除してください。

ごみ箱に入れたオーディオデータを見るには

1

オーディオのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ごみ箱」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

ごみ箱に入れたオーディオデータなどが表示されます。
ごみ箱に入れたオーディオデータは再生できません。

お知らせ

- ごみ箱の画面でオーディオデータなどを選び、MENUボタンを押しMENU画面を表示させ、「ファイル削除取消」を選ぶと、ごみ箱から元に戻せます。
- リセット（➔166ページ）したり電池の残量がなくなって電源が切れたときは、最後にパソコンとUSB接続したときのごみ箱の状態に戻ります。

ごみ箱に入れたオーディオデータを削除する

ごみ箱に入れたオーディオデータまたはプレイリストは、gigabeatから完全に削除できます。削除する場合は、gigabeatにACアダプターを接続しておいてください。

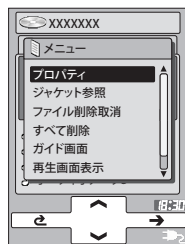
1

オーディオのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ごみ箱」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

ごみ箱に入れたオーディオデータなどが表示されます。

2

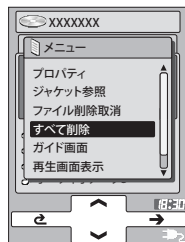
MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

3

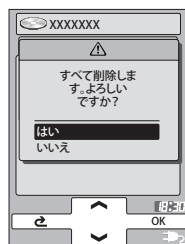
プラスタッチの上または下をタッチして「すべて削除」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

削除の確認画面が表示されます。

4

プラスタッチの上または下をタッチして「はい」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

ごみ箱に入れたデータがごみ箱フォルダから削除され、元のフォルダからも削除されます。

お知らせ

- gigabeatでオーディオデータを削除しても、そのオーディオデータのアーティスト名やアルバム名は、アーティスト、アルバム、ジャンルから削除されません。それも削除するにはgigabeat roomで、gigabeatのライブラリ更新を行ってください。（➔98ページ）
- gigabeat roomでgigabeat内のオーディオデータを削除することもできます。
  参照：「gigabeat roomでオーディオデータを削除する」（➔101ページ）

オーディオデータの情報を見る

オーディオデータ、アルバム、プレイリストなどの情報を見ることができます。

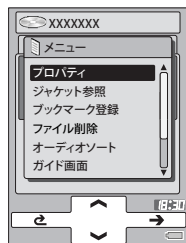
1

オーディオのナビ画面でプラスタッチの上または下をタッチして、情報を見たいオーディオデータなどを選ぶ

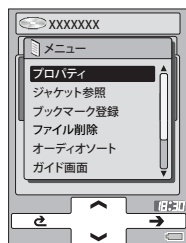
2

MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして「プロパティ」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだオーディオデータなどの情報が表示されます。

◆オーディオデータを選んだ場合

- ファイル名
- タイトル名
- ファイルフォーマット
- ビットレート
- サンプリング周波数
- 再生時間
- アーティスト名
- アルバム名
- ジャンル
- プリセット音量
- プリセットイコライザ

◆アルバムを選んだ場合

- アルバム名
- アーティスト名
- 曲数
- 全曲分の再生時間

◆アーティストを選んだ場合

- アーティスト名
- アルバム数

◆ジャンルを選んだ場合

- ジャンル名
- アーティスト数

◆プレイリストを選んだ場合

- プレイリストに登録されているファイル数
- 再生時間

◆フォルダを選んだ場合

- 直下のフォルダとオーディオファイル数

お知らせ

- 再生画面でMENUボタンを押しても、「プロパティ」を選べます。

gigabeat roomでオーディオライブラリを見る

gigabeat roomで、パソコン内またはgigabeat内のオーディオデータのライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）を見ることができます。

1 gigabeat roomを起動する

参照：「gigabeat roomを起動する」（➔39ページ）

2 オーディオタブをクリックする

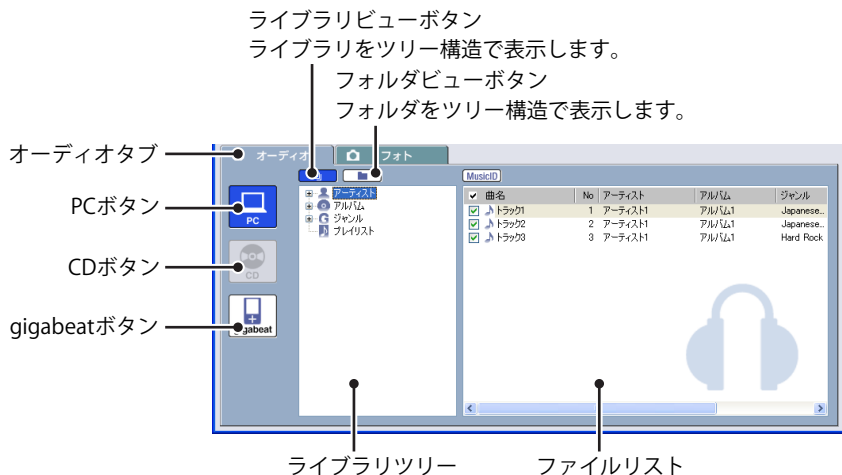
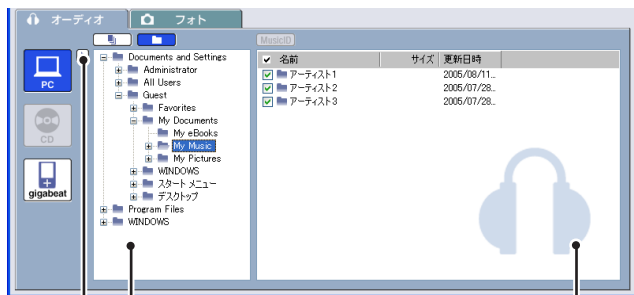
オーディオモードの表示になります。

3 【ライブラリビューボタン】をクリックする

4 デバイスパネルの【PCボタン】または【gigabeatボタン】をクリックする

パソコン内またはgigabeat内のオーディオライブラリが表示されます。

● 【CDボタン】をクリックすると、CD内の曲の情報を見ることができます。

（ライブラリビューの例）

（フォルダビューの例）

ドライブが複数ある場合はドライブを選べます。
同期フォルダのフォルダビューを選べます。

お知らせ

- ライブラリを利用するには、ライブラリの更新（➔98ページ）をして、ライブラリ用のデータベースを作る必要があります。
- パソコン内のオーディオライブラリは、音楽の同期フォルダの下にあるオーディオデータだけが対象となります。
- フォルダツリーに表示されるドライブまたはフォルダのアイコンの左側にある ⊞ / ⊟ をクリックすることで、下のフォルダの表示／非表示が切り換えられます。
- 【フォルダビューボタン】をクリックすると、パソコンまたはgigabeat内のフォルダツリーをそのまま表示します。
- 音楽CDのフォルダビューは選べません。
- gigabeat roomの画面とメニュー操作については、「gigabeat room 画面とメニュー一覧」（➔47ページ）をご覧ください。

オーディオライブラリを更新する

gigabeat roomで、パソコン内またはgigabeat内のライブラリを更新することができます。

ライブラリの更新には、自動更新と手動更新があります。

ライブラリの自動更新について

gigabeat内のオーディオライブラリは、パソコンからgigabeatにオーディオデータを転送したときに自動的に作成されます。オーディオライブラリに登録されるのは、gigabeat roomを使って転送したオーディオデータだけです。SATファイルの曲情報編集時もオーディオライブラリが更新されます。

パソコン内のオーディオライブラリは、音楽の同期フォルダの下にあるオーディオデータだけが対象となります。

お願い

- エクスプローラなどでファイルの削除や名前の変更をした場合、ライブラリは更新されません。手動でライブラリを更新してください。

ライブラリを手動で更新する

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、【PCボタン】または【gigabeatボタン】をクリックする

パソコン内またはgigabeat内のオーディオライブラリまたはフォルダが表示されます。

2 「ツール」メニューの「ライブラリ更新」をクリックする

パソコン内を表示していたときはパソコン内のオーディオライブラリが更新され、gigabeat内を表示していたときは、gigabeat内のオーディオライブラリが更新されます。

お願い

- エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いた上で、もう一度更新をしてください。
- 「ツール」メニューの「ライブラリに登録された曲数」をクリックすると、オーディオライブラリに登録されたオーディオデータの数を表示できます。

- フォルダビューで直接、同期フォルダ内のオーディオデータを選び、ショートカットメニューの「ライブラリへ追加」を選ぶと、そのオーディオデータをライブラリに追加できます。

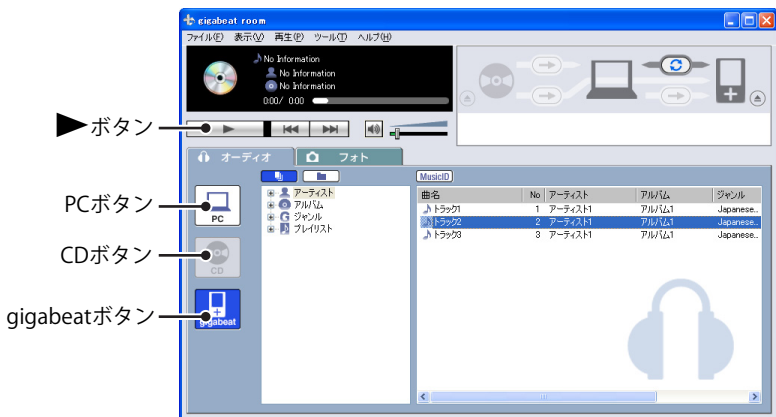
gigabeat roomで曲を再生する

gigabeat roomの再生パネルを使って、音楽CD、パソコン内、gigabeat内のオーディオデータを再生できます。

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、【CDボタン】または【PCボタン】または【gigabeatボタン】をクリックする

CD内またはパソコン内またはgigabeat内のオーディオライブラリまたはフォルダが表示されます。

2 再生したいオーディオデータを選び、再生パネルの▶ボタンをクリックする

選んだオーディオデータを再生します。
また、再生パネルを使っていろいろな操作ができます（→47ページ）。

お知らせ

- オーディオデータをダブルクリックしても再生できます。
- エクスプローラ上で、gigabeatに転送したオーディオデータ（SATファイル）をダブルクリックすると、gigabeat roomが起動します。

gigabeat roomでオーディオデータを削除する

gigabeat roomで、gigabeatに転送したオーディオデータを削除できます。

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、【gigabeatボタン】をクリックする

gigabeat内のオーディオライブラリまたはフォルダが表示されます。

2 削除したいオーディオデータを選び、「ファイル」メニューの「削除」をクリックする

「ファイルの削除の確認」画面が表示され、「はい」をクリックすると、選んだオーディオデータがパソコン上のごみ箱に移動します。
オーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから「削除」を選んでも削除できます。

お知らせ

- 「削除」をしただけでは、gigabeatの空き容量はふえません。gigabeat内のオーディオデータを完全に削除してgigabeatの空き容量をふやすには、gigabeatを接続した状態で、パソコン上のごみ箱を空にしてください。
- オーディオデータを削除しても、そのオーディオデータのアーティスト名やアルバム名は、gigabeatのアーティスト、アルバム、ジャンルから削除されません。それも削除するにはgigabeatのライブラリ更新を行ってください。（➔98ページ）

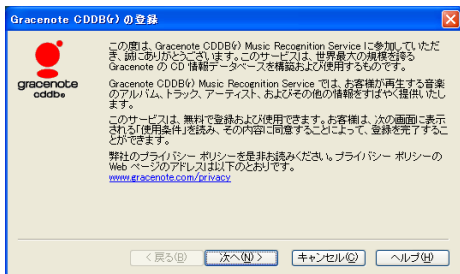
インターネットでCDの音楽情報を取得する

インターネットで、Gracenote社のCD情報データベースサービスを利用して、CDの音楽情報を取得できます。

Gracenoteに登録する

インターネットに接続してGracenoteに登録し、CDの情報を取得できるようにします。

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenoteへの登録」をクリックする

Gracenoteの登録の画面が表示されます。

2 画面に従って登録する

お知らせ

- プロキシサーバーを使ってインターネットに接続する場合は、先に「ツール」メニューの「Gracenote」から「プロキシの変更」をクリックして、プロキシサーバーの設定をしてください。
- Gracenoteへの登録を完了させると、以降「ツール」メニューの「Gracenoteへの登録」は選択できなくなります。

Gracenoteから音楽情報を取得する

インターネットに接続して、Gracenoteから情報を取得します。

1 パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れる

2 デバイスパネルの【CDボタン】をクリックする

Gracenoteのサーバーに接続し、その音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などの音楽情報を取得します。

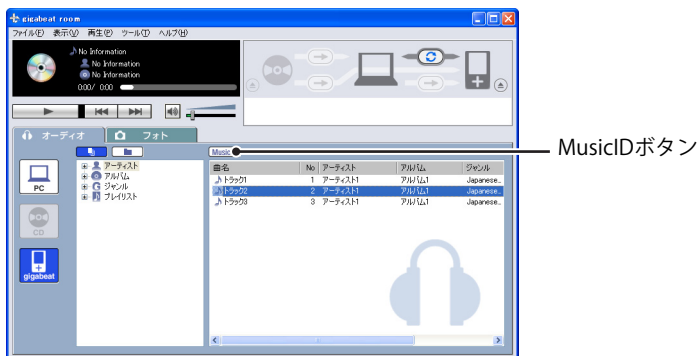
お知らせ

- 「ツール」メニューの「Gracenote」から「CD詳細情報」をクリックすると、CDの詳細情報が表示されます。
- Gracenoteから取得したCDに関する情報を変更して、Gracenoteに送ることができます。「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenoteへ送信」をクリックしてください。

インターネットで曲情報を取得する

Gracenote MusicID機能を使って、曲（オーディオデータ）のタグ情報を付け直すことができます。

トラック検索をする

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、検索したいオーディオデータを選び、【MusicIDボタン】をクリックする

Gracenoteのサーバーに接続し、トラック検索結果の画面が表示されます。
オーディオデータを複数選んだ場合は、アルバム検索を行うかどうかの画面が表示されますので、トラック検索を行う場合は、「いいえ」をクリックしてください。

2 適用したい情報を選び、「適用」ボタンをクリックする

選んだ情報が、タグ情報（曲情報）に付け直されます。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote　MusicID-トラック検索」をクリックしてもトラック検索が行えます。
- オーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューの「Gracenote Music ID」から「トラック検索」を選んでもトラック検索が行えます。
- Gracenote MusicIDは、ライセンス付きWMAファイル、パソコン内のＷＡＶファイルには対応していません。
- 音楽CDの曲はトラック検索できません。

アルバム検索をする

1 検索したい複数のオーディオデータを選び、【MusicIDボタン】をクリックする

Gracenoteのサーバーに接続し、アルバム検索結果の画面が表示されます。
アルバム検索を行うかどうかの画面が表示されますので、アルバム検索を行う場合は、「はい」をクリックしてください。

2 情報を適用したいアルバムを選ぶ

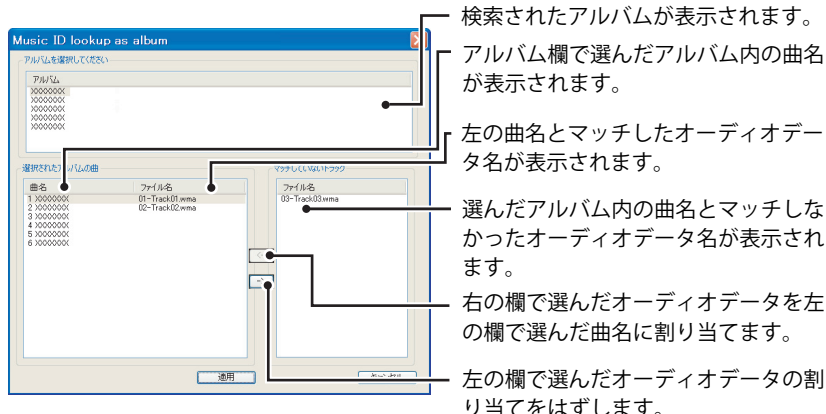
検索されたアルバムが表示されます。

アルバム欄で選んだアルバム内の曲名が表示されます。

左の曲名とマッチしたオーディオデータ名が表示されます。

選んだアルバム内の曲名とマッチしなかったオーディオデータ名が表示されます。

右の欄で選んだオーディオデータを左の欄で選んだ曲名に割り当てます。

左の欄で選んだオーディオデータの割り当てをはずします。

3 「適用」ボタンをクリックする

選んだ情報が、タグ情報（曲情報）に付け直されます。

お知らせ

- 「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote　MusicID-アルバム検索」をクリックしてもアルバム検索が行えます。
- 複数のオーディオデータを選んで右クリックし、表示されたショートカットメニューの「Gracenote Music ID」から「アルバム検索」を選んでもアルバム検索が行えます。
- 音楽CDの曲はアルバム検索できません。

曲情報を編集する

それぞれの曲情報（タイトル、アーティスト名、アルバム名など）を変更できます。

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、オーディオデータを選び、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックする

「曲情報編集」画面が表示されます。

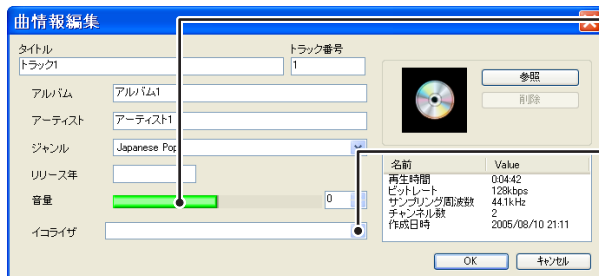
2 曲情報を変更し、「OK」ボタンをクリックする

曲情報が変更され、ライブラリが自動的に更新されます。

お知らせ

- gigabeat内のアーティスト／アルバム／ジャンルを選んで、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックしても、「曲情報編集」画面を表示できます。
- オーディオデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューの「曲情報編集」を選んでも「曲情報編集」画面を表示できます。
- パソコンのフォルダビューで、オーディオデータを選んでも曲情報編集はできません。
- WAVファイルは曲情報を編集できません。

音量とイコライザを設定する

「曲情報編集」画面でgigabeatのオーディオデータの音量とイコライザを設定します。

音量を設定します。基準値を0として±5まで変更できます。

イコライザを設定します。イコライザの種類を選んで設定できます。

gigabeatで再生するとき、ここで設定した音量と音質で再生したいときは、gigabeat本体の「設定」－「オーディオ」の「プリセット音量」や「プリセットイコライザ」を「オン」にします。

設定した音量とイコライザは、本体でその曲を選び、MENUボタンを押して表示されたMENU画面の「プロパティ」で確認できます。

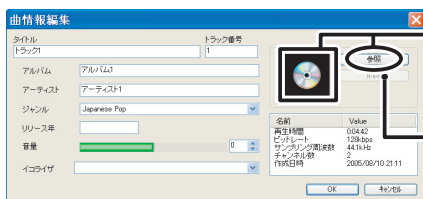
ジャケット写真を表示させる

gigabeat roomで、gigabeat内のオーディオデータにパソコン上のジャケット写真を貼り付けられます。

1 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

2 gigabeatのオーディオデータを選び、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックする

「曲情報編集」画面が表示されます。

3 「参照」ボタンをクリックする

ジャケット写真表示
ジャケット写真の情報を取り込んだ場合はジャケット写真が表示されます。

ジャケット写真の表示を消します。

参照ファイルを設定する画面が表示されます。

4 表示させたいジャケット写真を選んで、「開く」ボタンをクリックする

「曲情報編集」画面に戻ります。

5 「OK」ボタンをクリックする

お知らせ

- CDのオーディオデータにジャケット写真を貼り付けることはできません。
- パソコン内のオーディオデータのジャケット写真は、タグ情報から自動的に貼り付けられます。タグ情報にない場合は、同一フォルダ内にある最初に見つかった画像が貼り付けられます。パソコン内のオーディオデータは、「参照」ボタンでジャケット写真指定することはできません。
- gigabeat内のオーディオデータの「ジャケット写真表示」に画像ファイルをドラッグ&ドロップしても、ジャケット写真を設定できます。
- パソコン内のオーディオデータで、すでにジャケット写真が付いているものを転送した場合、転送されたオーディオデータにはジャケット写真が付いてきます。
- 転送できる画像サイズはフォトモードでの転送と同じです。（➔119ページ）

プレイリストを作成する

gigabeat roomで、プレイリストを作成できます。プレイリストとは、指定したオーディオデータだけを指定した順番に再生するように登録したものです。

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、「ファイル」メニューの「新規プレイリスト」をクリックする

「新規プレイリスト」という名前のプレイリストが作成されます。
プレイリストを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「名前の変更」をクリックして、名前を変更できます。「ファイル」メニューの「名前の変更」をクリックしても名前を変更できます。

2 プレイリストに追加したいオーディオデータを右クリックする

3 表示されたショートカットメニューの「プレイリストへ追加」をクリックする

4 表示されたプレイリスト名リストから作成したプレイリスト名をクリックする

作成したプレイリストに、選んだオーディオデータが追加されます。

お知らせ

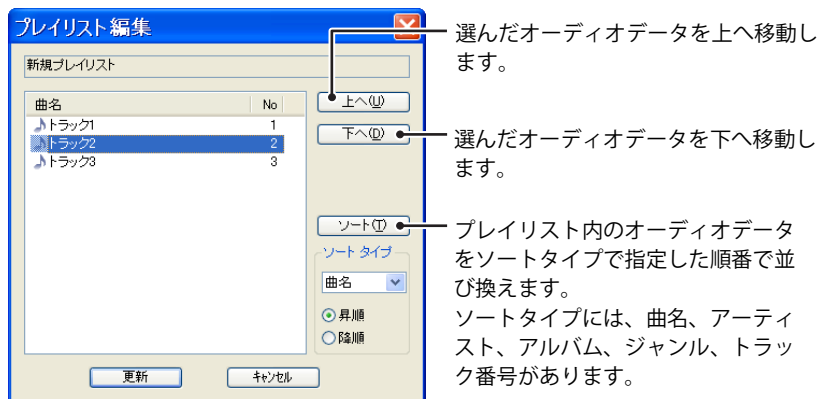
- パソコン内のライブラリを表示していたときはパソコン内に、gigabeat内のライブラリを表示していたときは、gigabeat内にプレイリストが作成されます。
- 選べるファイルは、パソコンではMP3、WMA、WAVの3種類で、gigabeatではSATファイルだけです。
- プレイリストは転送できません。
- プレイリストの再生は、上から順に行われます。
- デバイスパネルの【gigabeatボタン】を選択し、「ファイル」メニューの「ブックマークをプレイリストに変換」をクリックすると、gigabeatで作成したブックマークをプレイリストに変換します。

プレイリストを編集する

gigabeat roomで、作成したプレイリスト内のオーディオデータの順番を変更できます。

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、プレイリストを選び、「ファイル」メニューの「プレイリスト編集」をクリックする

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

2 「上へ」ボタンまたは「下へ」ボタンをクリックして、順番を変更する

3 「更新」ボタンをクリックする

プレイリストが更新されます。

お知らせ

- 選んだプレイリストを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「プレイリスト編集」をクリックしてもプレイリストを編集できます。
- プレイリストからオーディオデータを削除するには、プレイリストを選んで、中のオーディオデータを表示させ、削除したいオーディオデータを選んで削除してください。プレイリストからオーディオデータを削除しても、元のフォルダのオーディオデータ自体は残ります。

インターネットでプレイリストを作成する

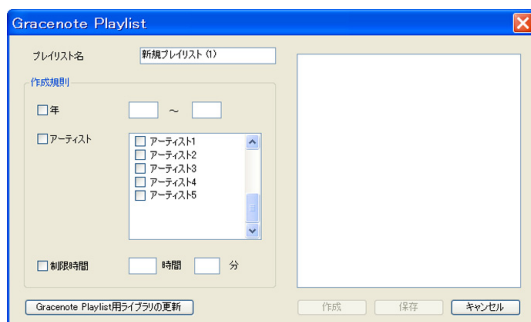
gigabeat roomで、Gracenote Playlist機能を使って、簡単にプレイリストを作成できます。

1 gigabeat roomのオーディオモード表示で、gigabeat内のライブラリビューにしてオーディオデータを選び、「ツール」メニューの「Gracenote」から「Gracenote Playlist」をクリックする

プレイリスト作成画面が表示されます。

2 プレイリスト作成画面上の「Gracenote Playlist用ライブラリの更新」ボタンをクリックする

Gracenoteのサーバーに接続し、gigabeat内のオーディオデータの情報を取り込むとともに、Gracenote Playlist用のライブラリを更新します。

3 プレイリスト名欄にプレイリストの名前を入力する

4 作成規則（年／アーティスト／制限時間）を入れる

5 「作成」ボタンをクリックする

作成規則に適合したオーディオデータが抽出され、右の欄に表示されます。

6 「保存」ボタンをクリックする

右の欄のオーディオデータを集めたプレイリストが、入力したプレイリスト名で保存されます。

プレイリストを聴く

gigabeat roomでgigabeatにプレイリストを作成しておくと、「プレイリスト」一覧からプレイリストを再生できます。

参照：「プレイリストを作成する」（➔110ページ）

1

オーディオのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「プレイリスト」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

「プレイリスト」の内容が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして再生したいプレイリストを選ぶ

さらにプラスタッチの右をタッチすると、そのプレイリストの中のオーディオデータも選べます。

3

プラスタッチの中央をタッチする

選んだプレイリストまたはオーディオデータを「再生モード」（➔80ページ）にしたがって再生します。

再生中に手順1～3の操作をした場合、再生を中断して、選んだプレイリストなどの再生が始まります。

gigabeat roomの設定を変える

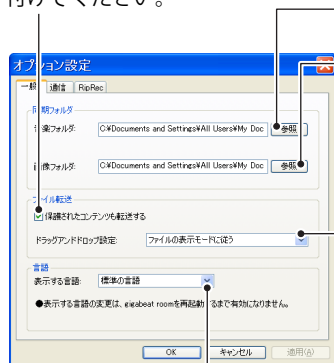
gigabeat roomのオプション画面で、いろいろな設定を変更できます。

1 gigabeat roomの「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」画面が表示されます。

2 設定を変える

保護されたコンテンツ（オーディオデータ）も転送する場合はチェックを付けてください。

gigabeat roomの画面表示の言語を変えられます。

音楽の同期フォルダの設定を変えられます。（➔61ページ）

画像の同期フォルダの設定を変えられます。（➔121ページ）

【gigabeatボタン】に音楽ファイルまたは画像ファイルをドラッグ＆ドロップして転送する場合の設定をします。

ファイルの表示モードに従う：
　gigabeat roomがオーディオモード表示のときは、音楽ファイルだけ転送し、フォトモード表示のときは、画像ファイルだけ転送する。

常に音楽ファイルを転送する：
　表示モードに関係なく、常に音楽ファイルだけ転送する。

常に画像ファイルを転送する：
　表示モードに関係なく、常に画像ファイルだけ転送する。

3 「OKボタン」をクリックする

「オプション設定」画面が閉じます。

「通信」の設定は、「ネットワークの設定をする」（➔158ページ）をご覧ください。

「RipRec」の設定は、「RipRecの設定を変える」（➔115ページ）をご覧ください。

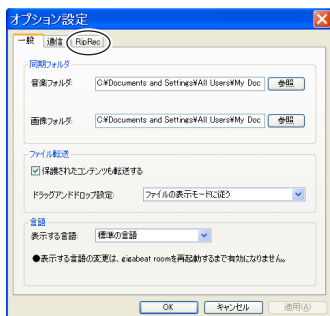
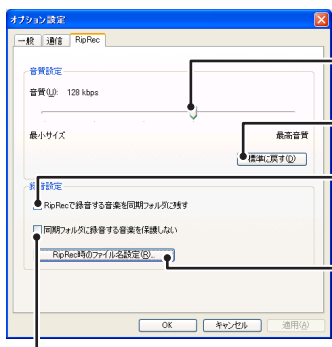
RipRecの設定を変える

gigabeat roomを使って、音楽CDからオーディオデータを取り込んで転送するときの設定を変更できます。

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」画面が表示されます。

2 「RipRec」タブをクリックする

「RipRec」の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

スライダを左右に動かし、音質（ビットレート）を変更します。

音質を標準値に戻します。

チェックをはずすと、RipRecで転送したオーディオデータをパソコン内の同期フォルダに残しません。

RipRec転送時のファイル名の付けかたを設定します（➔116ページ）。

チェックを付けると、保存するオーディオデータのコンテンツ保護を無効にできます。

4 「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面が閉じます。

お知らせ

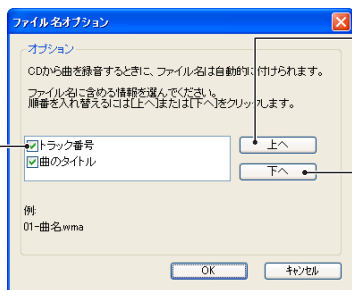
- 「同期フォルダに録音する音楽を保護しない」にチェックを付けると、コンテンツ保護を無効にしてよいかの確認画面が表示されますので、内容を同意の上で、「はい」をクリックしてください。
- コンテンツ保護したオーディオデータをgigabeatに転送するには、「オプション設定」画面の「保護されたコンテンツも転送する」(➔114ページ) にチェックを付けておく必要があります。

ファイル名の付けかたを設定する

1 **「RipRec」タブの「RipRec時のファイル名設定」をクリックする**

「ファイル名オプション」画面が表示されます。

2 **ファイル名に含める情報にチェックを入れる**

3 **ファイル名に含める情報の順番を入れ換える**

4 **「OK」ボタンをクリックする**

gigabeat roomでフォトライブラリを見る

gigabeat roomで、パソコン内またはgigabeat内のフォトライブラリ（アルバム、プレイリスト）を見ることができます。

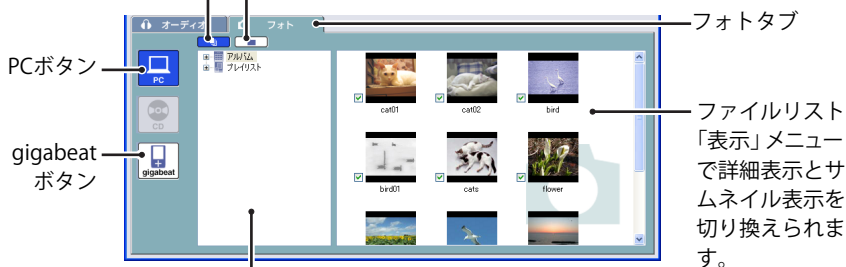
1 gigabeat roomを起動し、【フォトタブ】をクリックする

フォトモードの表示に切り換わります。

- 「表示」メニューの「フォトモード」を選んでも、切り換えられます。

2 【ライブラリビューボタン】をクリックする

3 デバイスパネルの【PCボタン】または【gigabeatボタン】をクリックする

パソコン内またはgigabeat内のフォトライブラリが表示されます。

お知らせ

- ライブラリを利用するには、ライブラリの更新（→145 ページ）をして、ライブラリ用のデータベースを作る必要があります。
- パソコン内のフォトライブラリは、画像の同期フォルダの下にあるフォトデータだけが対象となります。
- フォルダツリーに表示されるドライブまたはフォルダのアイコンの左側にある +/− をクリックすることで、下のフォルダの表示／非表示が切り換えられます。
- 【フォルダビューボタン】をクリックすると、パソコンまたはgigabeat内のフォルダツリーをそのまま表示します。

- 音楽CDはフォトモードでは表示できません。
- gigabeat roomの画面とメニュー操作については、「gigabeat room 画面とメニュー一覧」（➔47ページ）をご覧ください。
- 「表示」メニューの「詳細」または「サムネイル」をクリックすることによって、詳細表示とサムネイル表示を切り換えられます。

フォトをgigabeatに転送する

パソコン上のJPEG、BMPの画像ファイルをgigabeatに転送できます。転送した画像ファイルは、gigabeat本体のトップ画面の「フォト」を選んで表示できます。

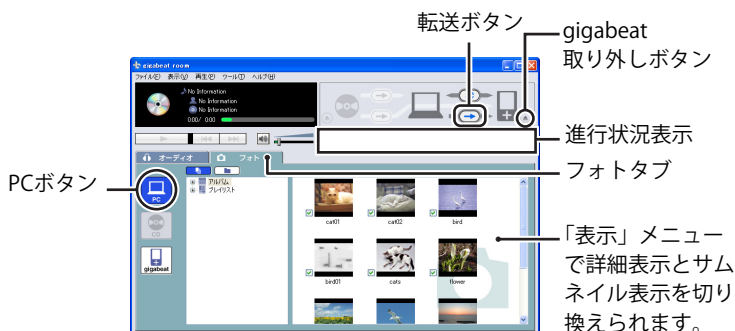
1 パソコンとgigabeatを接続し、gigabeat roomを起動する

2 gigabeat room画面の【フォトタブ】をクリックする

フォトモードの表示になります。

3 デバイスパネルの【PCボタン】をクリックする

パソコン内のライブラリが表示されます。

4 転送したい画像ファイル（画像データ）にチェックを付けて、【転送ボタン】をクリックする

選択した画像データの転送が始まります。

転送が終了すると、進行状況表示内に「完了しました」のメッセージが表示されます。

以下の三つの方法でも画像データの転送ができます。

- 「ツール」メニューの「PCからgigabeatへの転送」をクリックする。
- 選んだ画像データを右クリックし、表示されたショートカットメニューから「gigabeatへ転送」をクリックする。
- 選んだ画像データをデバイスパネルの【gigabeatボタン】にドラッグ&ドロップする。ただし、「ドラッグアンドドロップ設定」（➔114ページ）によっては転送できない場合があります。

5 転送が終わったら、【gigabeat取り外しボタン】をクリックし、gigabeatを取りはずす

お知らせ

- エクスプローラから画像ファイルを【gigabeat ボタン】にドラッグ＆ドロップしても転送できます。ただし、「ドラッグアンドドロップ設定」（➔114ページ）によっては転送できない場合があります。
- フォルダを選んでフォルダごと、フォルダ内の画像データを転送できます。
- 「同期」機能を使って転送することもできます。（➔121ページ）
- ファイル名から拡張子を除いた部分が同じ名称のファイルが転送先にある場合は強制上書きされます。
- 転送できる画像サイズは縦横どちらも4000ピクセルまでです。4000ピクセルを超えている場合は転送できません。

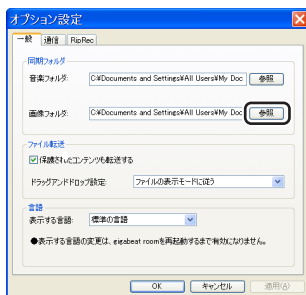
同期機能を使ってフォトデータを転送する

パソコンに同期フォルダを設定しておくと、同期フォルダ内にある画像データをフォルダごとgigabeatに転送できます。

同期フォルダを設定する

1 gigabeat roomの「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」画面が表示されます。

2 「一般」タブの「同期フォルダ」の「画像フォルダ」の横の「参照」ボタンをクリックする

「フォルダの参照」画面が表示されます。

3 画像ファイルの同期フォルダに設定したいフォルダを選び「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面に戻ります。

4 「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面が閉じ、同期フォルダが設定されます。

同期フォルダを転送する

1 パソコンとgigabeatを接続する

2 【フォトタブ】をクリックする

フォトモードの表示になります。

3 「ツール」メニューの「同期」をクリックする

画像の同期フォルダに設定したフォルダ内の画像データがフォルダごとgigabeatに転送されます。

転送パネルの【同期ボタン】をクリックしても転送できます。

ワンタッチで同期フォルダを転送する

別売のUSBクレードルを使って、同期フォルダの画像データを簡単に転送できます。

1 USBクレードルを使って、パソコンとgigabeatを接続する

参照：「パソコンとgigabeatを接続する」（➔36ページ）

2 USBクレードルの⟳ボタンを押す

gigabeat roomが自動的に起動し、画像の同期フォルダに設定したフォルダ内の画像データがフォルダごとgigabeatに転送されます。

ただし、最後にオーディオモード表示にしてgigabeat roomを終了したときは、起動したときオーディオモード表示になるので、音楽の同期フォルダのオーディオデータが転送されます。

お知らせ

- 画像の同期フォルダの下にあるすべての画像ファイル（JPEG、BMP）が、そのフォルダ階層のまま転送されます。
- すでに転送されているファイルで、転送元のファイルの方が新しい場合は上書き転送されます。
- 転送元からファイルが削除されていても、gigabeatの方のファイルは削除されません。
- 同期フォルダに、（例：C:¥）のようにドライブを直接設定することはできません。相対パスやネットワークパスも設定することはできません。

- オーディオモードの表示のとき、同期を行うと、音楽の同期フォルダのオーディオデータが転送されます。
- ボタンを使って転送するには、パソコン上でgigabeat watcherが起動している必要があります。
- USBクレードルのUSB/LINE OUT切換スイッチが「USB」になっていなくてもボタンは働きます。

フォトを見る

gigabeatに転送した画像データを全画面表示にできます。

gigabeatに転送した画像データは、gigabeat内の「フォト」の中の「フォルダ」の中の「picture」にはいりますが、画像データの作成日（撮影日）によって「アルバム」から目的の画像データを選ぶことができます。

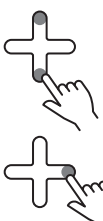
1

トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「フォト」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

フォトのトップ画面（➔44ページ）が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「アルバム」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

フォトのナビ画面（➔44ページ）が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして見たい画像の日付のアルバムを選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

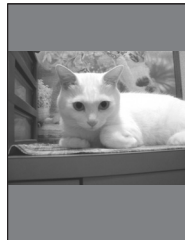
選んだアルバムのナビ画面が表示されます。

4 **プラスタッチの上または下をタッチして見たい画像を選ぶ**

5 **プラスタッチの中央をタッチする**

選んだ画像が全画面表示になります。

全画面表示のとき、プラスタッチの左/右をタッチすると、前後の画像に移ります。

- 左：前
- 右：後

全画面表示のとき、プラスタッチの上/下をタッチすると、画像を回転できます。

- 上：反時計回り
- 下：時計回り

お知らせ

- 手順**1**、**2**、**3**で、プラスタッチの中央をタッチすると、それぞれその中の画像を対象に全画面表示します。
- 画像のナビ画面またはサムネイル表示画面で、MENU ボタンを押して表示されたMENU画面で「フォトソート」を選ぶと、画像の並び順を変更できます。
- 全画面表示やサムネイル表示のときは、ガイド画面が表示されません。MENU ボタンを押して表示されたMENU画面で「ガイド表示」を選んでプラスタッチの右をタッチすると、ガイドが表示されます。

全画面表示からナビ画面に戻るには

Aボタンを押す

または

MENUボタンを押して表示されたMENU画面で「戻る」を選んで、プラスタッチの右をタッチする

お知らせ

- 「フォト」のときは、Aボタン割当ての設定は無効になります。Aボタンは全画面表示からナビ画面に戻すときや、ナビ画面でのリスト表示とサムネイル表示との切り換えに使います。
- 全画面表示中にPOWERボタンを押す、またはプラスタッチの下から上にジェスチャーすると、トップ画面を表示します。
- 全画面表示中にプラスタッチの上から下にジェスチャーすると、設定画面を表示します。

サムネイル表示から全画面表示にする

1

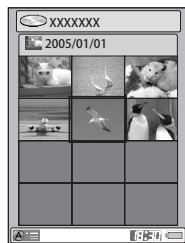
画像のナビ画面でAボタンを押す

その階層にある画像のサムネイル表示に変わります。
もう一度Aボタンを押すと元の画面に戻ります。

2

プラスタッチの上/下/左/右をタッチして画像を選ぶ

- 上：上の画像を選択
- 下：下の画像を選択
- 左：左の画像を選択
- 右：右の画像を選択

3

プラスタッチの中央をタッチする

選んだ画像が全画面表示になります。

お知らせ

- 全画面表示やサムネイル表示画面で、約60秒間何も操作しないとフォトのナビ画面に戻ります。フォトのナビ画面で、約60秒間何も操作しないと再生画面またはトップ画面に戻ります。

フォトの画面遷移

トップ画面
XXXXXXX
オーディオ
フォト
デモミュージック
設定
18:30
右
フォトのトップ画面
XXXXXXX
フォト
アルバム
1個
プレイリスト
フォルダ
ブックマーク
ごみ箱
18:30
右
フォトのナビ画面
XXXXXXX
アルバム
2005/01/01
2個
2005/01/11
2005/02/12
2005/03/23
2005/04/01
18:30
右
フォトのナビ画面
XXXXXXX
2005/01/01
フォト1
2005/01/01
12:28:34
フォト2
18:30
Aボタン
Aボタン
サムネイル表示
XXXXXXX
2005/01/01
18:30
スライドショー
中央
中央
中央
中央
Aボタン
中央
開始
中央
停止
Aボタン
全画面表示
中央
Aボタン
前の画像
次の画像
右
次へ
前へ
左
時計回り
下
下
上
上
反時計回り
上
上
下
下

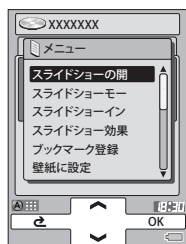
スライドショーを見る

gigabeatに転送した画像データをスライドショーで見ることができます。

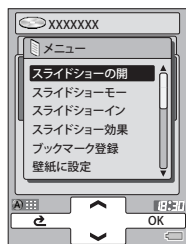
1

フォトのアルバムまたは画像を選び、MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「スライドショーの開始」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

スライドショーが始まります。

3

スライドショーを停止するには、プラスタッチの中央をタッチする

お知らせ

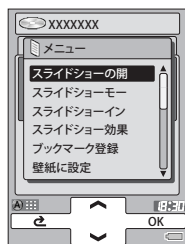
- 全画面表示のとき、プラスタッチの中央をタッチしてもスライドショーを開始できます。
- Aボタンを押してもスライドショーを停止できます。
- MENU ボタンを押して表示されたMENU 画面で「スライドショーの停止」を選んで、プラスタッチの右をタッチしてもスライドショーを停止できます。

スライドショーの設定を変更する

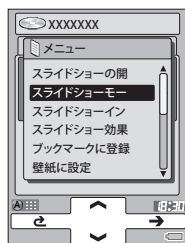
1

フォトのアルバムまたは画像を選び、MENUボタンを押す

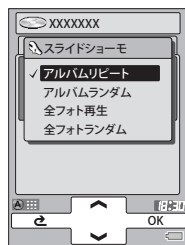
MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「スライドショーモード」/「スライドショーインターバル」/「スライドショー効果」/を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

3

プラスタッチの上または下をタッチして設定したい内容を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだ内容に設定されます。

スライドショーモード

- 「アルバムリピート」：選んだフォルダ/アルバム/プレイリスト内の画像を繰り返し表示します。
- 「アルバムランダム」：選んだフォルダ/アルバム/プレイリスト内の画像を順不同に表示します。
- 「全フォト再生」：gigabeat内のすべての画像を表示します。
- 「全フォトランダム」：gigabeat内のすべての画像を順不同に表示します。

スライドショーインターバル

スライドショーの間隔を以下から選べます。

- 「2秒」「3秒」「5秒」「10秒」「20秒」

スライドショー効果

画像の移り変わり時の効果を以下から選べます。

- 「効果なし」
- 「白フェード」
- 「黒フェード」
- 「ディゾルブ」
- 「上ワイプ」
- 「下ワイプ」
- 「左ワイプ」
- 「右ワイプ」
- 「ボックスイン」
- 「ボックスアウト」
- 「縦スプリットイン」
- 「縦スプリットアウト」
- 「横スプリットイン」
- 「横スプリットアウト」
- 「ランダム」

お知らせ

- 「スライドショーモード」、「スライドショーインターバル」、「スライドショー効果」は「設定」－「フォト」からも設定できます。

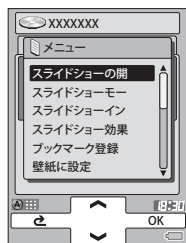
フォトを壁紙にする

好きな画像を壁紙（画面の背景）に設定できます。

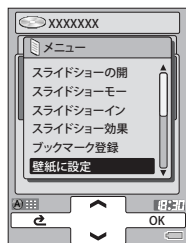
1

壁紙にしたい画像を選び、MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「壁紙に設定」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

3

プラスタッチの上または下をタッチして「USER1」、「USER2」、「USER3」のどれかを選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだ画像が壁紙のUSER1またはUSER2またはUSER3に設定され、現在の壁紙に設定されます。

お知らせ

- 「設定」ー「画面」ー「壁紙」で壁紙の変更ができ、変更時USER1、USER2、USER3の壁紙を選べます。（➔148ページ）

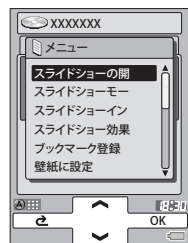
お気に入りにする（ブックマーク）

お気に入りの画像をブックマークに登録すると、登録した画像だけのスライドショーができます。

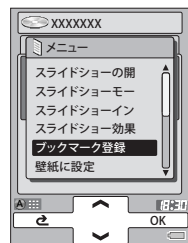
1

お気に入りの画像を選び、MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク登録」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだ画像データがブックマークに登録され、ブックマークアイコンが付きます。

お知らせ

- 「アルバム」、「プレイリスト」、「フォルダ」のどれかひとつから画像をブックマークに登録すると、ほかのフォルダから選べる同じ画像もブックマークアイコンが付きます。
- ブックマークに登録済みの画像を選び、手順2で「ブックマーク解除」を選ぶと、ブックマークから消えます。
- ブックマークには、50件まで登録できます。
- プレイリストやフォルダはブックマークに登録できません。

ブックマークに登録した画像を見るには

フォトのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

登録した画像がナビ表示されます。
プラスタッチの中央をタッチすると、選んでいる画像を全画面表示できます。

お知らせ

- ブックマークの画面で、MENU ボタンを押し MENU 画面を表示させ、「ブックマーク解除」を選ぶと、選んでいる画像はブックマークから消えます。
- リセットしたり電池の残量がなくなって電源が切れたときは、最後にパソコンとUSB接続したときのブックマークの状態に戻ります。

ブックマークに登録したすべての画像をスライドショーさせるには

1

フォトのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ブックマーク」を選ぶ

プラスタッチの中央をタッチする

ブックマーク登録した最初の画像が全画面表示されます。

プラスタッチの中央をタッチする

登録したすべての画像がスライドショーで表示されます。

お知らせ

- 全画面表示のとき、MENU ボタンを押して表示されたMENU画面で「スライドショーの開始」を選んで、プラスタッチの右をタッチしてもスライドショーを開始できます。

プレイリストを作成する

gigabeat roomで、プレイリストを作成できます。プレイリストとは、指定した画像だけを指定した順番に見ることができるように登録したものです。

1 gigabeat roomのフォトモード表示で、「ファイル」メニューの「新規プレイリスト」をクリックする

「新規プレイリスト」という名前のプレイリストが作成されます。

プレイリストを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「名前の変更」をクリックして、名前を変更できます。「ファイル」メニューの「名前の変更」をクリックしても名前を変更できます。

2 プレイリストに追加したい画像データを右クリックします

3 表示されたショートカットメニューの「プレイリストへ追加」をクリックする

4 表示されたプレイリスト名リストから作成したプレイリスト名をクリックする

作成したプレイリストに、選んだ画像データが追加されます。

お知らせ

- パソコン内のライブラリを表示していたときはパソコン内に、gigabeat内のライブラリを表示していたときはgigabeat内に、プレイリストが作成されます。
- 選べるファイルは、JPEG、BMPファイルだけです。
- プレイリストは転送できません。
- プレイリストの再生（表示）は、上から順に行われます。
- gigabeat roomでは画像データの再生（表示）はできません。
- デバイスパネルの【gigabeat ボタン】をクリックし、「ファイル」メニューの「ブックマークをプレイリストに変換」をクリックすると、gigabeatで作成したブックマークをプレイリストに変換します。

プレイリストを編集する

gigabeat roomで、作成したプレイリスト内の画像データの順番を変更できます。

1 gigabeat roomのフォトモード表示で、プレイリストを選び、「ファイル」メニューの「プレイリスト編集」をクリックする

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

2 「上へ」ボタンまたは「下へ」ボタンをクリックして、順番を変更する

3 「更新」ボタンをクリックする

プレイリストが更新されます。

お知らせ

- 選んだプレイリストを右クリックし、表示されたショートカットメニューから、「プレイリスト編集」をクリックしてもプレイリストを編集できます。
- プレイリストから画像データを削除するには、プレイリストを選んで、中の画像データを表示させ、削除したい画像データを選んで削除してください。プレイリストから画像データを削除しても、元のフォルダの画像データ自体は残ります。

プレイリストを見る

gigabeat roomでgigabeatに画像のプレイリストを作成しておくと、「フォト」の「プレイリスト」一覧からプレイリストの画像を表示できます。

参照：「プレイリストを作成する」（→135ページ）

1

フォトのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「プレイリスト」を選ぶ

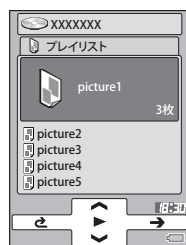
プラスタッチの右をタッチする

「プレイリスト」の内容が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして表示したいプレイリストを選ぶ

さらにプラスタッチの右をタッチすると、そのプレイリストの中の画像データも選べます。

3

プラスタッチの中央をタッチする

選んだプレイリスト内の最初の画像が全画面表示されます。

お知らせ

- 全画面表示のとき、プラスタッチの中央をタッチすると、スライドショーを開始できます。

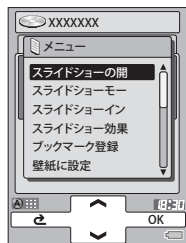
フォトデータをごみ箱に入れる／削除する

削除したい画像またはプレイリストは、ごみ箱に入れることができます。ごみ箱に入れると、そのファイルは、表示候補からはずれます。ごみ箱に入れたデータは、あとでまとめて完全に削除することができます。

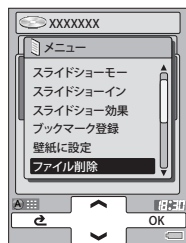
1

削除したい画像を選び、MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして「ファイル削除」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだ画像データなどがごみ箱にはいり、ごみ箱アイコンに変わります。

お知らせ

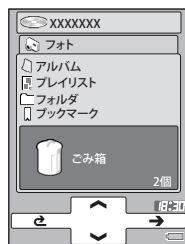
- 「アルバム」、「プレイリスト」、「フォルダ」のどれかひとつから画像データをごみ箱に入れると、ほかのフォルダから選べる同じ画像データもごみ箱アイコンが付きます。
- 全画面表示でMENUボタンを押しても、「ファイル削除」を選べます。
- ごみ箱に入れた画像データなどを選び、手順2で「ファイル削除取消」を選ぶと、ごみ箱から元に戻せます。
- ごみ箱には、50件まで入れられます。

ごみ箱に入れた画像を確認するには

1

フォトのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ごみ箱」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

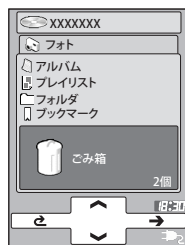
ごみ箱に入れた画像データなどがナビ表示されます。
ごみ箱に入れた画像データは全画面表示にできません。

お知らせ

- ごみ箱の画面で画像データなどを選び、MENUボタンを押しMENU画面を表示させ、「ファイル削除取消」を選ぶと、ごみ箱から元に戻せます。
- リセット（➔166ページ）したり電池の残量がなくなって電源が切れたときは、最後にパソコンとUSB接続したときのごみ箱の状態に戻ります。

ごみ箱に入れた画像を削除する

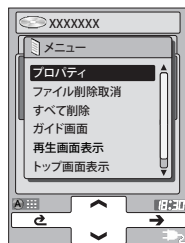
ごみ箱に入れた画像またはプレイリストは、gigabeatから完全に削除できます。削除する場合は、gigabeatにACアダプターを接続しておいてください。

1

フォトのトップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「ごみ箱」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

ごみ箱に入れた画像データなどがナビ表示されます。

2

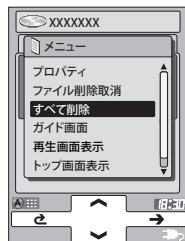
MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

3

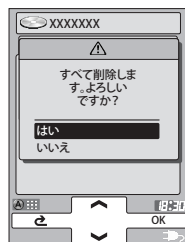
プラスタッチの上または下をタッチして「すべて削除」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

削除の確認画面が表示されます。

4

プラスタッチの上または下をタッチして「はい」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

ごみ箱に入れたデータがごみ箱フォルダから削除され、元のフォルダからも削除されます。

お知らせ

- gigabeatで画像データを削除しても、その画像データのアルバム名は、アルバムから削除されません。それも削除するにはgigabeat roomで、gigabeatのライブラリ更新を行ってください。（➔145ページ）
- gigabeat roomでgigabeat内の画像データを削除することもできます。
  参照：「gigabeat roomでフォトデータを削除する」（➔141ページ）

gigabeat roomでフォトデータを削除する

gigabeat roomで、gigabeatに転送した画像データを削除できます。

1 gigabeat roomのフォトモード表示で、【gigabeatボタン】をクリックする

gigabeat内のライブラリまたはフォルダが表示されます。

2 削除したい画像データを選び、「ファイル」メニューの「削除」をクリックする

「ファイルの削除の確認」画面が表示され、「はい」をクリックすると、選んだ画像データがパソコン上のごみ箱に移動します。

画像データを右クリックし、表示されたショートカットメニューから「削除」を選んでも削除できます。

お知らせ

- 「削除」をしただけではgigabeatの空き容量はふえません。gigabeat内の画像データを完全に削除してgigabeatの空き容量をふやすには、gigabeatを接続した状態で、パソコン上のごみ箱を空にしてください。
- 画像データを削除しても、その画像データのアルバム名は、gigabeatのアルバムから削除されません。それも削除するにはgigabeatのライブラリ更新を行ってください。（➔145ページ）

フォトデータの情報を見る

画像の情報を見ることができます。

1

フォトのナビ画面でプラスタッチの上または下をタッチして、情報を見たい画像などを選ぶ

2

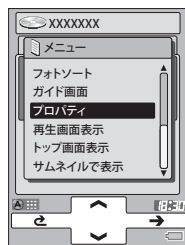
MENUボタンを押す

MENU画面が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして「プロパティ」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだ画像データなどの情報が表示されます。

◆画像を選んだ場合

- ファイル名
- 撮影日
- タイムスタンプ

◆アルバムを選んだ場合

- 撮影日
- 枚数

◆プレイリストを選んだ場合

- プレイリストに登録されているファイル数

◆フォルダを選んだ場合

- 直下のフォルダと画像ファイル数

お知らせ

- 画像の全画面表示でMENUボタンを押しても、「プロパティ」を選べます。

デジタルカメラからフォトデータを吸い上げる

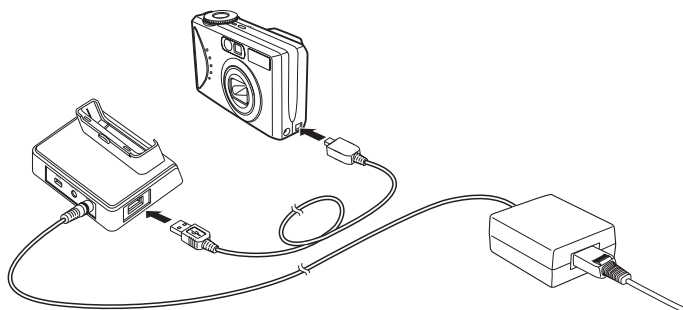
デジタルカメラなどのUSBマスストレージクラス（➔162ページ）やPTP（➔162ページ）対応機器に記録されている画像データをgigabeatにバックアップすることができます。バックアップした画像データ（Exif（➔162ページ）データ）はgigabeatで見ることができます。

ご注意

上記の条件のすべての機器での動作を保証するものではありません。

準備

- デジタルカメラ、USBクレードル（別売）にACアダプターを接続し、デジタルカメラの電源を入れてください。
- デジタルカメラの種類によっては、パソコンなどと接続するモードに切り換えておいてください。
- USBクレードルのUSB/LINE OUT切換スイッチを「USB」にしてください。

1 USBクレードルのUSB1.1コネクター(Aポート)に、デジタルカメラを接続する

2 gigabeatの電源を入れる

3 gigabeatをUSBクレードルに接続する

バックアップを開始するかどうかの画面が表示されます。

4 プラスタッチの上または下をタッチして「はい」を選び、プラスタッチの右をタッチする

バックアップが開始されます。

バックアップしたデータは、バックアップした日付のフォルダ名でgigabeat内「backup」フォルダの下に保存されます。（gigabeat内に「Backup」フォルダがある場合は、「Backup」フォルダの下に保存されます。）バックアップ終了のメッセージが表示されたら、プラスタッチのどこかをタッチするか、何かのボタンを押して、バックアップを終了させ、USBクレードルからgigabeatをはずします。

お願い

- 転送中にUSBケーブルを抜いたり、USBクレードルからgigabeatを抜いたりしないでください。gigabeatに記録されているデータが壊れるおそれがあります。

お知らせ

- 手順1から3は、順番が変わってもバックアップできます。
- バックアップの途中でキャンセルはできません。
- PTP対応機器を接続した場合、1回の接続でバックアップできるデータの数量は32000までです。
- USB2.0コネクター（Bポート）にもケーブルを接続している場合は、設定画面の「USB設定」を「LAN/デジタルカメラ優先」にしてください。
- デジタルカメラのUSB接続の方法については、ご使用のカメラの取扱説明書でご確認ください。

バックアップした画像データを見る

バックアップした画像データは、gigabeat roomを使って転送した画像と同じように、「フォト」の「アルバム」を開いて見ることができます。

お知らせ

- ファイル名が80文字以上、フォルダ名が86文字以上の場合や、ファイル名またはフォルダ名を含むフルパス長が256文字以上の場合の画像は、gigabeat上で見ることはできません。

フォトライブラリを更新する

gigabeat roomで、パソコン内またはgigabeat内のライブラリを更新することができます。
ライブラリの更新には、自動更新と手動更新があります。

ライブラリの自動更新について

gigabeat内のフォトライブラリは、パソコンからgigabeatにフォトデータを転送したときに自動的に作成されます。フォトライブラリに登録されるのは、gigabeat roomを使って転送したフォトデータだけです。

お願い

- エクスプローラなどでファイルの削除や名前の変更をした場合、ライブラリは更新されません。手動でライブラリを更新してください。

ライブラリを手動で更新する

1 gigabeat roomのメイン画面で、【フォトタブ】をクリックし、【PCボタン】または【gigabeatボタン】をクリックする

パソコン内またはgigabeat内のフォトライブラリまたはフォルダが表示されます。

2 「ツール」メニューの「ライブラリ更新」をクリックする

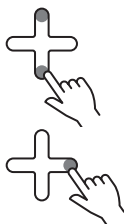
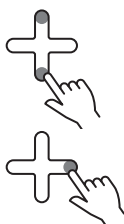
パソコン内を表示していたときはパソコン内のフォトライブラリが更新され、gigabeat内を表示していたときは、gigabeat内のフォトライブラリが更新されます。

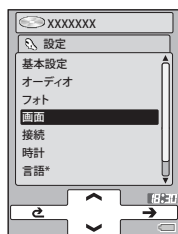
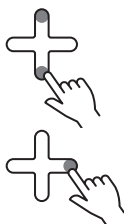
お願い

- エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いた上で、もう一度更新をしてください。
- 「ツール」メニューの「ライブラリに登録された枚数」をクリックすると、フォトライブラリに登録されたフォトデータの数を表示できます。
- フォルダビューで直接、同期フォルダ内のフォトデータを選び、ショートカットメニューの「ライブラリへ追加」を選ぶとそのフォトデータをライブラリに追加できます。

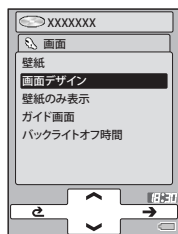
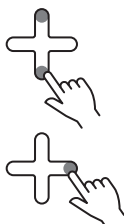
画面デザインを変える

画面のデザイン、画面表示の向き、表示文字の大きさ、ジャケット写真表示エリアの大きさを変更できます。

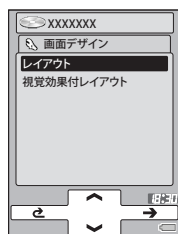
1 **トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「設定」を選ぶ**

プラスタッチの右をタッチする

2 **プラスタッチの上または下をタッチして「画面」を選ぶ**

プラスタッチの右をタッチする

3 **プラスタッチの上または下をタッチして「画面デザイン」を選ぶ**

プラスタッチの右をタッチする

4 **プラスタッチの上または下をタッチして「レイアウト」または「視覚効果付レイアウト」を選ぶ**

プラスタッチの右をタッチする

5

プラスタッチの上または下をタッチして設定したい画面デザインを選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

画面デザインが設定されます。

レイアウト

画面の向き	文字の大きさ	再生画面のジャケット写真の大きさ
	ABC	
	ABC	
	AB	
	ABC	
	AB	
	ABC	
	AB	

視覚効果付レイアウト

画面の向き	文字の大きさ	再生画面のジャケット写真の大きさ	
	ABC		gigabeat
	ABC		スピーカ
	ABC	ー	スペアナ

お知らせ

- ガイド画面は、横向きの場合、表示されません。（➔154ページ）

壁紙を変える

壁紙（画面の背景）を変更できます。

1

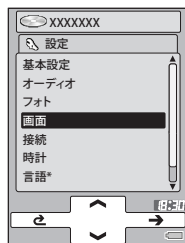
トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「設定」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

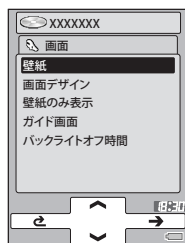
2

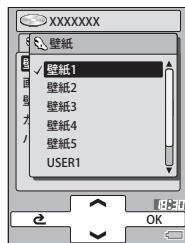
プラスタッチの上または下をタッチして「画面」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

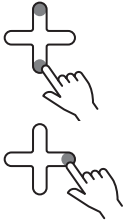
3

プラスタッチの上または下をタッチして「壁紙」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

4

プラスタッチの上または下をタッチして壁紙の種類を選ぶ

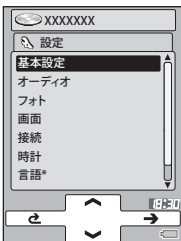
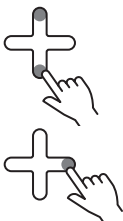
「USER1」、「USER2」、「USER3」については、「フォトを壁紙にする」（➔132ページ）をご覧ください。

5

プラスタッチの右をタッチする

壁紙が変更されます。

設定を変更/確認する

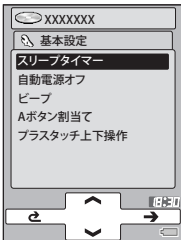
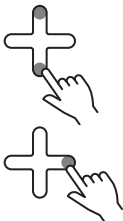
gigabeatでは、再生モードやビープ音などいろいろな設定ができます。設定画面で、設定を確認したり、お好みに合わせて変更できます。

1

トップ画面でプラスタッチの上または下をタッチして「設定」を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

設定メニュー画面が表示されます。

2

プラスタッチの上または下をタッチして変更/確認したい設定メニューを選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

設定項目が表示されます。

3

プラスタッチの上または下をタッチして変更/確認したい設定項目を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

選んだ設定項目の選択肢が表示されます。

プラスタッチの上または下をタッチして選択肢を選ぶ

プラスタッチの右をタッチする

設定が変更され、設定項目の画面に戻ります。

5

プラスタッチの左を２回タッチする

トップ画面に戻ります。

お知らせ

- 現在設定されている選択肢にはチェック「✓」が左側に表示されます。
- 「PC接続方法」で「Windows Media Player 10」を設定してUSBクレードル（別売）経由で接続した場合、取り扱えるオーディオデータ数は約25000になります。

設定項目

基本設定	
スリープタイマー	何分後に電源が切れるかを以下から選びます。 「オフ (*)」「30分」「60分」「90分」「120分」 * 「オフ」を選ぶとこの機能は働きません。
自動電源オフ	再生中またはUSB接続中以外で、何も操作しない状態が何分続くと自動的に電源が切れるかを以下から選びます。 「3分」「5分」「10分」「なし (*)」 * 「なし」を選ぶとこの機能は働きません。
ビープ	ビープ音（操作時になる音）を、鳴らすか鳴らさないかを選びます。
Aボタン割当て	本体側面の「Aボタン」を以下の機能に割り当てることができます。 ● **「再生モード」** 再生モードを変更します。 「通常再生」→「アルバム再生」→「1曲リピート」→「アルバムリピート」→「アルバムランダム」→「全曲ランダム」→… ● **「イコライザ/SRS WOW」** イコライザのメニューを表示します。 ● **「アルバムスキップ」** オーディオの次のアルバムにスキップします。 ● **「ブックマーク」** オーディオのブックマークの登録／解除します。 ● **「ミュート」** ミュート／ミュート解除します。 ● **「ジャケット参照」** ジャケット表示／元の表示に戻ります。 ● **「壁紙のみ表示」** 壁紙のみ表示／通常の再生画面にします。 ● **「トップ画面表示」** トップ画面に戻ります。
プラスタッチ上下操作	プラスタッチの上下操作を「ボリューム」操作と「アルバムスキップ」操作のどちらかに設定します。

オーディオ	
再生モード	再生モードを以下から選びます。 「通常再生」「アルバム再生」「1曲リピート」「アルバムリピート」「アルバムランダム」「全曲ランダム」(➔80ページ)
イントロ	イントロ再生の時間を以下から選びます。 「なし」「10秒イントロ」「60秒イントロ」 (➔86ページ)
イコライザ/ SRS WOW	イコライザの種類を選びます。 (➔82ページ)
ユーザ設定イコライザ	イコライザの種類の一つ「USER」を自由に設定できます。 (➔84ページ)
プリセットイコライザ	「オン」にすると、再生するとき、gigabeat roomの曲情報編集で変更したイコライザ設定が有効になります。
プリセット音量	「オン」にすると、再生するとき、gigabeat roomの曲情報編集で変更したボリューム設定が有効になります。
オーディオソート	オーディオデータの並べ方を以下から選びます。 「トラック番号」「ファイル名」「日付」 ただしブックマークやプレイリストではソートされません。

フォト	
スライドショーモード	スライドショーモードを以下から選びます。 「アルバムリピート」「アルバムランダム」「全フォト再生」「全フォトランダム」(➔130ページ)
スライドショーインターバル	スライドショーの間隔（秒数）を以下から選びます。 「2秒」「3秒」「5秒」「10秒」「20秒」(➔131ページ)
スライドショー効果	スライドショーの効果を以下から選びます。 ●「効果なし」 ●「白フェード」 ●「黒フェード」 ●「ディゾルブ」 ●「上ワイプ」 ●「下ワイプ」 ●「左ワイプ」 ●「右ワイプ」 ●「ボックスイン」 ●「ボックスアウト」 ●「縦スプリットイン」 ●「縦スプリットアウト」 ●「横スプリットイン」 ●「横スプリットアウト」 ●「ランダム」 (➔131ページ)
フォトソート	フォトデータの並べ方を以下から選びます。 「ファイル名」「日付（*）」 * 「日付」でソートする場合は、撮影日順でソートします。撮影日がない場合はファイルの保存日時でソートします。 ただしブックマークやプレイリストではソートされません。

画面	
壁紙	壁紙を以下から選びます。 「壁紙1」「壁紙2」「壁紙3」「壁紙4」「壁紙5」「USER1」「USER2」「USER3」（➔148ページ）
画面デザイン	● レイアウト 画面のレイアウトを選びます。 （➔146ページ） ● 視覚効果付レイアウト 再生画面のアニメーションを選びます。 （➔146ページ）
壁紙のみ表示	オンにすると、再生画面は壁紙のみの表示になります。 ただし曲が切り換わる場合のみ、上の部分に曲名が5秒間表示されます。再生画面以外は影響ありません。
ガイド画面	ガイド画面（操作ガイド）を表示するかしないかを選びます。 ガイド画面の表示は画面レイアウトが縦型のみ有効です。 ● **「オン」**：ガイド画面を表示します。 ● **「オフ」**：ガイド画面を表示しません。
バックライトオフ時間	何も操作しない状態が何秒続くと自動的に画面のバックライトが消えるまたは減光するかを以下から選びます。 ● **「5秒（オフ）」** 約5秒後に減光し、さらにそのあとバックライトが消えます。 ● **「10秒（オフ）」** 約10秒後に減光し、さらにそのあとバックライトが消えます。 ● **「20秒（減光）」** 約20秒後に減光します。 ● **「常に点灯」** バックライトは常に点灯します。

接続	
PC接続方法	USBクレードル経由（USB接続）で、gigabeatとパソコンを接続するときの設定です。本体のUSBコネクターに直接接続した場合は、この設定にかかわらず「gigabeat room」に設定した場合と同じになります。 ●**「Windows Media Player 10」** Windows Media DRM 10以降のWindows Mediaデジタル著作権管理（DRM）が使われたWMAファイルを、Windows Media Player 10を使って転送する場合のみを想定した設定です。 ●**「gigabeat room」** gigabeat roomからでもWindows Media Player 9/10からでも転送が可能です。 ●**「接続時に選択」** gigabeatをUSBクレードル経由で接続するたびに、選択画面が表示されます。
USB設定	USB2.0コネクター（Bポート）とUSB1.1コネクター（Aポート）の両方にケーブルまたはアダプターを接続したときの動作を選びます。 ●**「USBケーブル優先」** USB2.0コネクター（Bポート）にUSBケーブルを使ってパソコンとの接続を優先します。 ●**「LAN/デジタルカメラ優先」** USB1.1コネクター（Aポート）にLANアダプターを使ってパソコンとの接続、USBケーブルを使ってのデジタルカメラなどとの接続を優先します。

時計	
日付と時刻	日付と時刻を設定します。（➔30ページ）
時刻形式	時刻の表示を12時間表示にするか24時間表示にするかを設定します。

言語*
画面の表示言語を選びます。

システム	
システム情報	gigabeatのバージョン、今まで聴いた曲数を表示します。
設定の初期化	gigabeatの設定を出荷時の状態に戻します。 再生中に行うと、一瞬音が途切れます。

ネットワークの接続について

gigabeatのUSBクレードル（別売）にはUSB1.1コネクター（Aポート）があり、市販のUSB LANアダプターなどを使ってgigabeatをネットワークに接続することができます。

USB接続の場合は、USBケーブルの届く範囲にgigabeatを置く必要がありますが、ネットワーク接続の場合は、パソコンから離れた場所でも、ネットワーク経由でパソコンからのオーディオデータ転送や画像データ転送や、gigabeat内の編集ができます。

また、gigabeatをネットワークドライブに割り当てて、ファイルサーバーのように使うこともできます。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてあらゆる場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

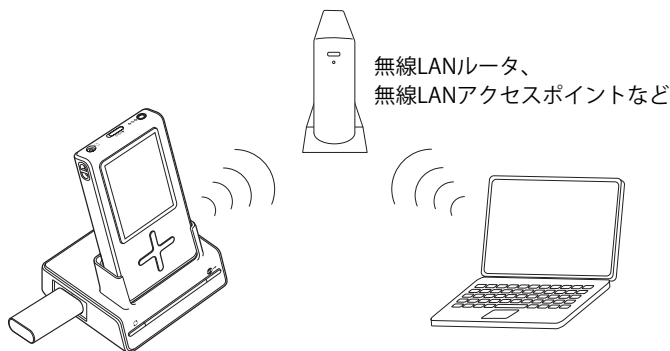
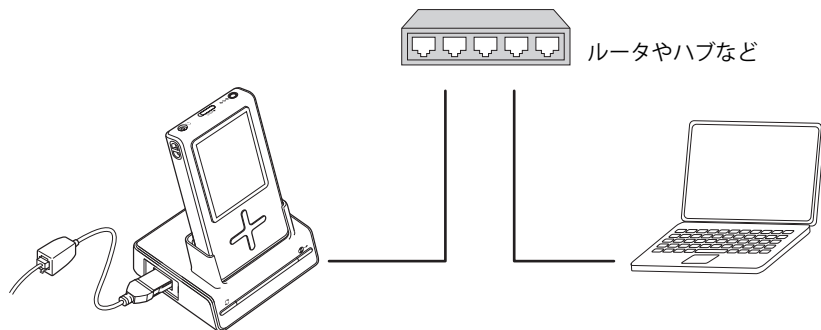
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

ネットワーク機能をお使いになる場合は、別売の USB クレードル（形名MEGBCS15）をお買い求めください。

接続例

無線LAN

有線LAN

使用条件

アクセスポイント、ルータの設定などができていて、ネットワークが接続できる状態にしておいてください。また、USBクレードルにはACアダプターを接続しておいてください。

動作確認済の機器について

- USB LANアダプターの動作確認済機器：
  BUFFALO　　USBポート用無線LAN KEY型アダプタ　WLI-USB-KB11
  I・O DATA　100BASE-TX/10BASE-T対応LANアダプタ　USB-ET/TX-S

ネットワークの設定をする

gigabeat roomを使ってネットワークの設定をします。

1 パソコンにgigabeatをUSBケーブルで接続する

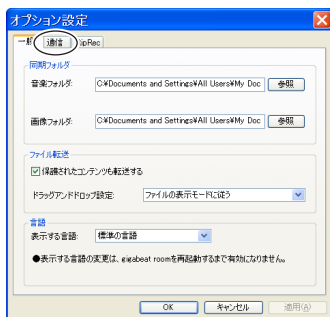
参照：「パソコンとgigabeatを接続する」（➔36ページ）

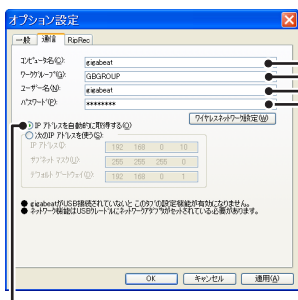
2 gigabeat roomを起動する

gigabeat roomのメイン画面が表示されます。

3 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする

「オプション設定」画面が表示されます。

4 「通信」タブをクリックする

「通信」の設定画面が表示されます。

5 設定する

ネットワーク上でgigabeatを識別するための名前を入力します。

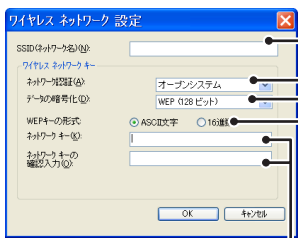
ネットワーク上の所属するワークグループ名を入力します。

パソコンのWindowsで使用しているユーザー名を入力します。

パソコンのWindowsで使用しているパスワードを入力します。

IPアドレスが自動的にコンピュータに割り当てられる環境の場合には「IPアドレスを自動的に取得する」をチェックします。自動的に割り当てられない場合は、「次のIPアドレスを使う」をチェックし、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。

無線LANを使って接続する場合は、「ワイヤレスネットワーク設定」ボタンをクリックします。

設定したあと「OK」ボタンをクリックします。

無線LANルータと同じSSID（ネットワーク名）を入れます。(*)

暗号化キー（WEP）を使用しない場合は「オープンシステム」を、暗号化キー（WEP）を使用する場合は「共有キー」を選択してください。

暗号化しないか、WEP（64ビット)またはWEP（128ビット）かを選びます。

WEPを選んだ場合、WEPキーの形式を選びます。

WEPを選んだ場合、無線LANルータと同じネットワークキーを2か所に入れます。

* SSID（ネットワーク名）に、日本語、#、;、'、[、]、=、"、￥は使えません。

6 「OK」ボタンをクリックする

「オプション設定」画面が閉じます。

7 パソコンからgigabeatを取りはずす

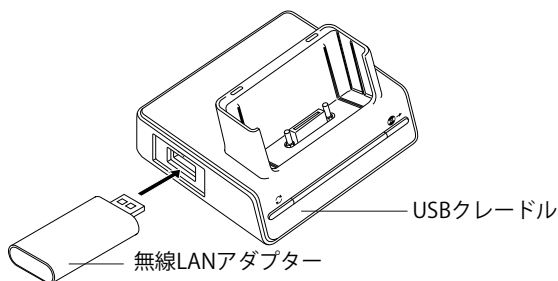
参照：「パソコンからgigabeatを取りはずす」（➔38ページ）

ネットワークに接続/切断する

無線LANアダプターを使って接続する例で説明します。

ネットワークに接続する

1 無線LANアダプターをUSBクレードルに接続し、USB/LINE OUT切換スイッチを「USB」にする

USBクレードルのACアダプタージャックにACアダプターを接続してください。ACアダプターを接続しないと、クレードルが機能しません。

2 gigabeatの電源を入れる

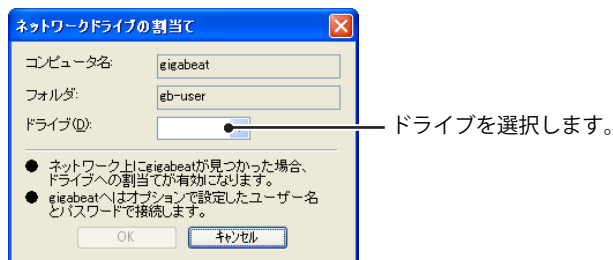
3 gigabeatをUSBクレードルに接続する

ネットワークに接続されます。

4 パソコンのgigabeat roomを起動する

gigabeat roomのメイン画面が表示されます。

5 「ツール」メニューの「ネットワークドライブの割り当て/切断」をクリックする

「ネットワークドライブの割当て」画面が表示されます。

6 割り当てるドライブを選び、「OK」ボタンをクリックする

「ネットワークドライブの割当て」画面が閉じ、割り当てたドライブがgigabeatのアイコンに変わります。

お知らせ

- 手順1から3は、順番が変わっても接続できます。
- USBケーブルでパソコンと接続中は、ネットワークに接続できません。
- ネットワークに接続中は、USBケーブルでパソコンと接続できません。
- ネットワーク接続中、gigabeatにオーディオデータを転送する方法は、USB接続時と同じです。ただし、ネットワーク接続では、USBクレードルの→ボタンやボタンは使えません。
- ネットワークドライブを切断する場合は、「ツール」メニューの「ネットワークドライブの割り当て／切断」をもう一度クリックします。
- ネットワーク接続でのオーディオデータの転送は、保護されたコンテンツの転送に対応していません。保護されたコンテンツの転送はUSB接続で行ってください。

ネットワークを切断する

1 USBクレードルのUSB/LINE OUT切換スイッチを「LINE OUT」にする

ネットワーク接続が終了し、トップ画面が表示されます。

引き続いてパソコンとUSB接続する場合は、USBクレードルから無線LANアダプターを取りはずします。その後、USBクレードルのUSB2.0コネクターとパソコンをUSBケーブルで接続し、USB/LINE OUT切換スイッチを「USB」にします。

用語

DRM10

マイクロソフト社の著作権保護技術で、Windows Media Player 10から対応しています。通常のコピー防止のほかにサブスクリプションにも対応しています。

Exif（Exchangeable Image File Format）

デジタルカメラ用の画像ファイルの形式で、サムネイル画像や撮影情報などを含んだJPEGデータです。

MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格。この圧縮方式では、約1/10から1/12の圧縮率が得られます。

PTP （Picture Transfer Protocol）

I3A（International Imaging Industry Association－米国の標準化団体）で規格化された画像転送における標準プロトコル。USB経由で、デジタルカメラなどの画像データをパソコンなどへダイレクトに転送できます。

USBマスストレージクラス（USB Mass Storage Class）

接続をするとHDDのようなドライブとして認識される周辺機器の規格です。

USBストレージクラスともいいます。

WAV

Windowsの標準的な非圧縮音声ファイルです。

WMA (Windows Media Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式、およびそれを使用したオーディオファイルです。

イコライザ

いくつかの同波数帯域ごとに、つまみなどで目盛りを増減して、音質をコントロールする装置や機能です。

サブスクリプション

デジタルコンテンツを貸し出すための機能です。会員制のサービスなどで、指定された期間のみ聴くことができるサービスなどに利用されます。

タグ情報

オーディオファイルに書き込まれている、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどの情報です。

エラーメッセージ（本体）

下表のようなエラーメッセージがgigabeat本体の画面に表示されることがあります。以下の対処方法に従ってください。

メッセージ	内容&対処方法
サポート外のデータです	再生しようとしたデータは、gigabeatで再生できない形式です。gigabeat roomを使用して、転送してください。
ディスクが読めません	内蔵ハードディスクをFAT32にフォーマットし直してください。gigabeat formatを行ってください。（➔169ページ）
データがありません	gigabeatにデータを転送してください。
データが壊れています	再生しようとしているデータが壊れています。gigabeat roomを使用して、転送し直してください。
読込みに失敗しました	データを開けず、再生できませんでした。gigabeat roomを使用して、転送し直してください。
充電してください	内蔵電池の残量がありません。ACアダプターを接続し、充電してください。
NO SYSTEM FOUND ON HDD	ハードディスク上のファームウェアが壊れているため、gigabeatが起動できません。 ファームウェアデータを修復してください。（➔169ページ）

エラーメッセージ（gigabeat room）

gigabeat roomの使用時、下表のようなエラーメッセージがパソコン上に表示されることがあります。

メッセージ	内容&対処方法
指定されたオーディオデータ”ファイル名”は転送できません。（このオーディオデータはコピー禁止のファイルです。）	コピー禁止情報が付いたオーディオデータを転送しようとしました。
指定されたオーディオデータ”ファイル名”は転送できません。（サンプリング周波数・ビットレートが対象外です。）	gigabeatで対応していない、サンプリング周波数・ビットレートのオーディオデータを転送しようとしました。
指定されたオーディオデータ”ファイル名”は転送できません。（コンテンツ保護されているため転送できません。Windows Media Player 10をご利用ください。）	コンテンツ保護されているWMA形式のオーディオデータを転送しようとしました。gigabeat roomの「オプション設定画面」の「保護されたコンテンツも転送する」にチェックを付けて転送するか、Windows Media Player 10 を使って転送してください。
指定されたオーディオデータ”ファイル名”は転送できません。（対応していない形式です。）	対応していない形式のMP3、WMA、WAVファイルを転送しようとしました。
Gracenote のサーバーが見つかりません。	ネットワークに繋がっていないためGracenoteのサーバーにアクセスできません。ネットワークに接続後、再度ディスクをCDドライブにセットするか、内容の更新をしてください。もしプロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合は、プロキシサーバーのアドレスとポートを設定する必要があります。（➔102ページ）
CDの読み込みに失敗しました。	取り込み中にCD読み込みエラーが発生しました。CDドライブやCDメディアの状態を確認してください。
デバイスのオープンに失敗しました。CDドライブが正しく接続されているか確認してください。	

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

現象	原因	対処	参照
電源がはいらない、ボタンを押しても動作しない	BATTERYスイッチが「OFF」になっている。	BATTERYスイッチを「ON」にしてください。	→26ページ
	内蔵電池の残量がなくなっている。	ACアダプターを接続して、内蔵電池を充電してください。	→26ページ
	HOLD状態になっている。	HOLD スイッチを戻し、HOLD 状態を解除してください。	→22ページ
	ボタンを押す時間が短い。	電源を入れるときは、POWERボタンを2秒以上押してください。	→29ページ
	パソコンと接続している。	パソコンと接続しているときは本体の操作はできません。	→36ページ
充電してもすぐに残量がなくなる	内蔵電池が劣化している。	新しい内蔵電池に交換してください。内蔵電池の交換は、お買上げの販売店へご依頼ください。	→18ページ
再生できない	オーディオデータがない。	gigabeat room を使ってオーディオデータを転送してください。	→52ページ
音が聞こえない	ヘッドホンが正しく接続されていない。	ヘッドホンと本体の接続を確認してください。	→71ページ
	音量の調節が最小になっている。	音量を調節してください。	→75ページ

現象	原因	対処	参照
充電操作をしても充電中の画面にならない	BATTERYスイッチが「OFF」になっている。	BATTERYスイッチを「ON」にしてください。	→26ページ
	正しく接続されていない。	ACアダプターと電源コードと本体の接続を確認してください。	→26ページ
	使用温度の範囲をはずれている。	使用温度の範囲内で充電してください。	→172ページ
ACアダプターを接続中に充電中の表示が消灯した	gigabeatの温度上昇を制限するために自動的に充電を停止している。	故障ではありません。そのままお使いください。しばらくすると充電が再開されます。	→28ページ
パソコンがgigabeatを認識しない	パソコンと正しく接続されていない。	パソコンとの接続を確認してください。	→36ページ

リセットする

もしも上記の対処法でも現象が解決しない場合などには、本体を以下の方法でリセットしてください。

1 **本体からACアダプターを抜く**

2 **BATTERYスイッチをいったん「OFF」にし、5秒程度たってから再度「ON」にする**

日付と時刻がリセットされますので、設定してください。
他の設定は初期状態には戻りません。
設定を初期状態に戻すには、「設定」－「システム」の「設定の初期化」を実行してください。

よくある質問

Q: gigabeat roomでgigabeatが認識されない。

A: USB ハブを使用してパソコンと接続している場合は認識できないことがあります。USBハブを使用しないでパソコンと接続してください。

Q: オーディオデータをgigabeatに転送できない。

A: gigabeatで再生できないオーディオデータはgigabeatに転送できません。gigabeatで再生できるオーディオデータについては「仕様」の「サンプリング周波数とビットレートの組合せについて」（➔173ページ）をご覧ください。

Q: Windows Media Playerで取り込んだオーディオデータをgigabeatに転送できない。

A: Windows Media Playerで取り込んだオーディオデータのうち、著作権保護の対象となっているものを転送する場合、gigabeat roomの「オプション設定」画面の「保護されたコンテンツを転送する」にチェックが付いている必要があります。（➔114ページ）「Windows Media Player 9／10で曲を取り込む場合のお願い」（➔57ページ）もご覧ください。

Q: gigabeatの取りはずしに失敗した。

A: gigabeat roomや、エクスプローラなどでgigabeatのドライブやgigabeat内のファイルを開いていると、取りはずせない場合があります。アプリケーションを終了させてから、再度、取りはずしをしてください。

困ったときは

状況：
- デバイスパネルの「gigabeat ボタン」で gigabeat に変更すると gigabeat roomが終了する。
- gigabeatを選択した状態で、「Gracenote Playlist」を選択するとgigabeat roomが終了する。

対策：　gigabeatをUSBでパソコンに接続し、パソコンのエクスプローラを使用して以下の手順でgigabeat内の以下のファイルを削除したあと、gigabeat roomでgigabeat内の「ライブラリ更新」を行ってください。

1　フォルダオプションを変更する

1 エクスプローラのメニューの「ツール」から「フォルダオプション」をクリックする
「フォルダオプション」のダイアログが開きます

2「表示」タブをクリックする

3「ファイルとフォルダの表示」の「すべてのファイルとフォルダを表示する」にチェックを入れる

4「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない（推奨）」のチェックをはずす

2　gigabeat内の以下のフォルダ内のファイルをすべて削除する

￥GBSYSTEM￥MUSIC

￥GBSYSTEM￥GN

3　フォルダオプションを元に戻す

1「ファイルとフォルダの表示」の「隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない」にチェックを入れる

2「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない（推奨）」にチェックを入れる

状況：　gigabeatを起動したが、「NO SYSTEM FOUND ON HDD」と表示され、起動できない。

対策：　ハードディスク上のファームウェアデータが壊れているため、gigabeatが起動できません。
ファームウェアデータを修復する必要があります。
以下の「ファームウェアデータの修復方法」に従って、ファームウェアデータを修復してください。

状況：　gigabeatのHDDをフォーマットしてしまった。なにか設定は必要か？

対策：　ハードディスク上のファームウェアデータを修復する必要があります。
以下の「ファームウェアデータの修復方法」に従って、ファームウェアデータを修復してください。

（ファームウェアデータの修復方法）

1 **gigabeatとパソコンをUSB接続する**

2 **パソコンのエクスプローラを起動する**

3 **gigabeat roomがインストールされているフォルダを開く**
「スタート」→「すべてのプログラム（*）」→「TOSHIBA gigabeat room 3.0」→「gigabeat room 3.0 Program Folder」をクリックすると、gigabeat roomがインストールされているフォルダが開きます。
* Windows 2000のOSの場合は「プログラム」と表示されます。
通常はC:￥Program Files￥TOSHIBA￥gigabeat room 3.0となります。

4 **手順3で開いたフォルダ内の￥1￥GBSYSTEM_MEGXにある「FONTS」、「FWIMG」というフォルダをgigabeat内の一番上の階層にある「GBSYSTEM」内にコピーする**

5 **「ハードウェアの安全な取り外し」を使って、gigabeatを取りはずす**

6 **gigabeatの画面が消えたら、gigabeatを起動する**

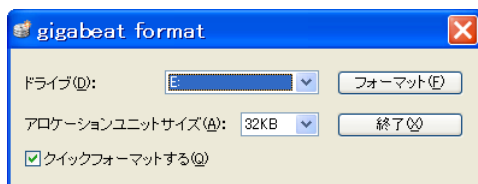
状況：　OSのフォーマットツールを使ってフォーマットしたため、ハードディスクの全領域を使うことができなくなった。

対策：　gigabeat formatを使ってフォーマットしなおしてください。

（gigabeat formatを使ってフォーマットする）

1 **「スタート」→「すべてのプログラム（*）」→「TOSHIBA gigabeat room 3.0」→「formatting utility for gigabeat」をクリックする**
gigabeat formatが起動し、gigabeat formatの画面が表示されます。
* Windows 2000のOSの場合は「プログラム」と表示されます。

2 ドライブを確認する

ドライブ欄に、接続されているgigabeatのドライブレター（*）が表示されていますので、確認してください。

* 画面はドライブが「E」の例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、表示は変わります。

3 クイックフォーマットにするかしないかを設定する

フルフォーマットにしたい場合は、「クイックフォーマットする」のチェックをはずしてください。

4 「フォーマット」ボタンをクリックする

フォーマット警告画面が表示されます。

5 フォーマット警告画面の「OK」ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
フォーマットが終了するとフォーマット完了画面が表示されます。

6 フォーマット完了画面の「OK」ボタンをクリックする

手順1のgigabeat formatの画面に戻ります。

7 「終了」ボタンをクリックする

gigabeat formatの画面が消えます。

お知らせ

- ファームウェアデータの修復をしていない場合は、ファームウェアデータの修復もしてください。（➔169ページ）
- 最初からgigabeat formatを使ってフォーマットした場合は、ファームウェアデータは消されないため、ファームウェアデータの修復の必要はありません。
- 他のアプリケーション（エクスプローラなど）で、gigabeatを参照している場合は、フォーマットできません。

状況：　gigabeatの言語を変更したら、元に戻しかたがわからなくなった。
対策：　以下に従って言語を設定してください。

1 **POWERボタンを押してトップ画面を表示させる**
2 **プラスタッチの下を3回タッチする**
3 **プラスタッチの右をタッチする**
4 **プラスタッチの上を2回タッチして「*」が付いている項目を選ぶ**
5 **プラスタッチの右をタッチする**
言語の選択メニューが表示されます。
6 **プラスタッチの上または下をタッチして設定したい言語を選び、プラスタッチの右をタッチする**

仕様

内蔵電池	リチウムイオン充電池
質量	MEGX60： 約147g（本体のみ） MEGX30, MEGX20： 約134g（本体のみ）
外形寸法	MEGX60： 59.3mm×17.5mm×99.3mm（幅/高さ/奥行き）突起部除く MEGX30, MEGX20： 59.3mm×14.5mm×99.3mm（幅/高さ/奥行き）突起部除く
オーディオ形式	● MPEG-1 Audio Layer 3 (MP3) ● Windows Media Audio (WMA) ● PCM (WAV)
サンプリング周波数	22.05kHz～48kHz
ビットレート	16kbps～320kbps
記録媒体	MEGX60： 内蔵ハードディスク60GB（*1） MEGX30： 内蔵ハードディスク30GB（*1） MEGX20： 内蔵ハードディスク20GB（*1）
最大収録時間	MEGX60： 約996時間（*2）（ビットレート128kbps時） MEGX30： 約498時間（*2）（ビットレート128kbps時） MEGX20： 約332時間（*2）（ビットレート128kbps時）
連続再生時間	約16時間（*2）（ACアダプターを使用していない場合） 常温（25℃）、バックライト非点灯、調節範囲の中央の音量で、128kbps、44.1kHz の WMA オーディオデータの場合（Windows Media DRM10で保護されたコンテンツを除く） この連続再生時間は、使用条件、使用周囲温度、内蔵電池の充電繰返し回数などによって変わるため、あくまで目安であり、保証する時間ではありません。使用条件の範囲内でも低温の環境で使うと連続再生時間は短くなります。 WAVオーディオデータの再生は、電池の消耗が大きいため、MP3やWMAに比べて連続再生時間が大幅に短くなります。
使用条件	温度：5℃～35℃　湿度：30%～80%（RH） （ただし結露しないこと）
USB端子	USB2.0/USB1.1
ヘッドホン端子	3.5mmジャック／ステレオタイプ 負荷インピーダンス16Ω
S/N比	95dB以上

ACアダプター	形名：ADP-15HH A	
	入力電源条件：	AC100V，50/60Hz
	定格出力：	DC5V，3A
カラー液晶（*3）	2.4型QVGA低温ポリシリコンTFTカラー液晶	

*1：1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。実際のフォーマットされた容量は、それぞれ表記の容量よりも少なくなります。また、あらかじめシステムファイルやデモ用ファイルで約0.05GBを使用しています。
*2：これらの値は参考値であり、保証する値ではありません。
*3：カラー液晶は、非常に高精度の技術で作られております。非点灯、常時点灯などの表示（画素）が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

サンプリング周波数とビットレートの組合せについて

gigabeatで再生できるオーディオデータは、サンプリング周波数とビットレートの組合せが以下のとおりとなります。これ以外の組合せのオーディオデータは、正常に再生できない場合があります。

MP3（ステレオ）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：32kbps～320kbps

MP3（モノラル）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：16kbps～64kbps

WMA（ステレオ）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz/44.1kHz
ビットレート：32kbps/48kbps～192kbps

WMA（モノラル）の場合

サンプリング周波数：44.1kHz
ビットレート：32kbps

WAV（ステレオ／モノラル）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビット数：16ビット

お知らせ

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくしているために実際とは多少異なる場合があります。
- アイコンの表示位置などは変更になる場合があります。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。（This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.）

索引

こ

さ

し

す

せ

て

と

な

ね

は

ひ

ふ

め

ゆ

ら

り

わ

内蔵電池の取り出しかた

gigabeatを廃棄するとき、内蔵電池を取り出してください。
廃棄するとき以外は、gigabeatを絶対に分解しないでください。

⚠危険

内蔵電池にクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないこと
電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。

内蔵電池の電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。

内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中にいれないこと
破裂・発火・発熱によって、火災・大けがの原因となります。

火のそばや炎天下などに置かないこと
火災・破裂・発熱の原因となります。

熱器具に近づけないこと
火災・破裂・発熱の原因となります。

内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼ること
電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

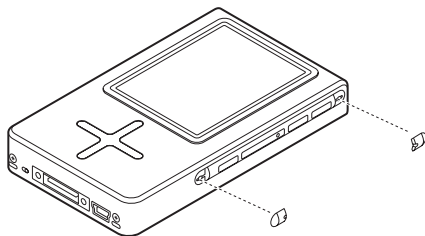
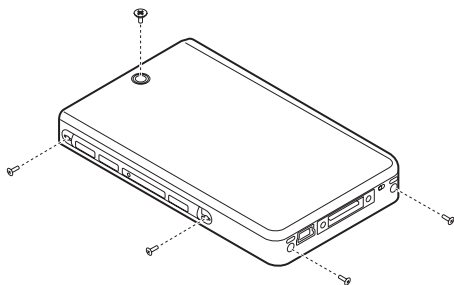
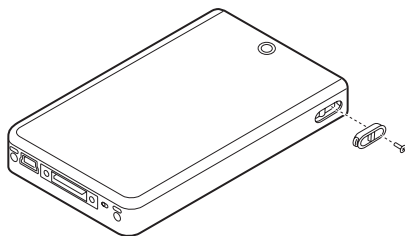
警告

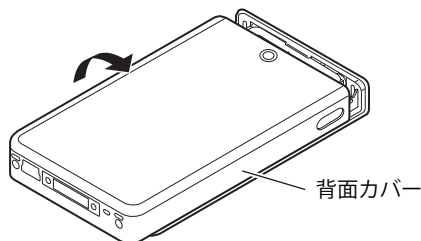
内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと
けが・事故の原因となります。

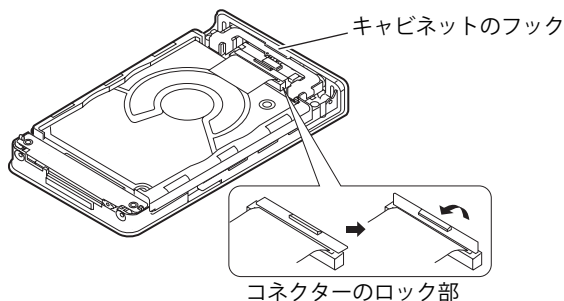
内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の診療を受けること
そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

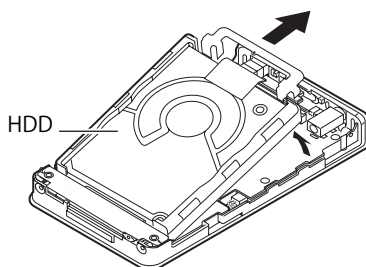
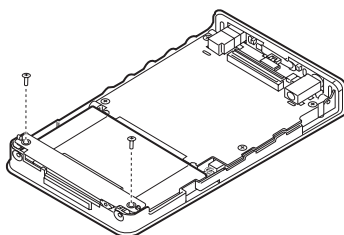
1 底面のBATTERYスイッチを「OFF」にする

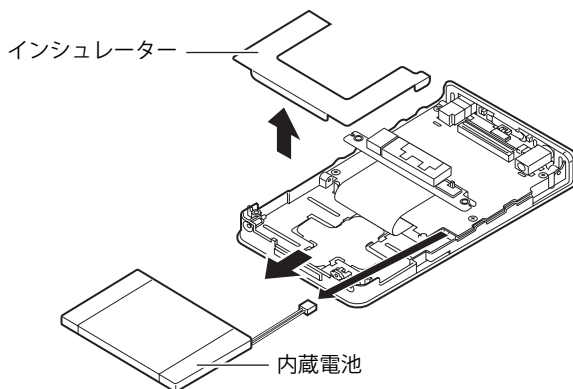
2 右側面（ボタン側）のキャップ2箇所をはずす

細いペンなどを穴に入れて、キャップを浮かすよう取ってください。

3 ネジ5箇所を精密ドライバー（+）ではずす

4 ストラップホルダーのネジをはずし、ストラップホルダーをはずす

5 背面カバーをはずす

背面カバーを下にスライドさせて、ボタン側から上に持ち上げてはずしてください。

6 キャビネットのフックとコネクターのロックをはずす

本体キャビネットを上側に開いてフックをはずし、コネクターのロック部を上側に持ち上げてコネクターのロックをはずしてください。

7 HDDをはずす

HDDを持ち上げ、コネクターからケーブルをはずし、HDDを矢印方向に抜いてください。

8 基板のネジ2箇所をはずす

9 内蔵電池を取りはずす

基板を持ち上げてインシュレーターをはずし、その下の内蔵電池を取り出し、ケーブルをまっすぐ矢印方向に引っ張ってはずしてください。

10 ケーブルを電池本体に貼り付け、ポリ袋などに入れる

取りはずした内蔵電池は、ケーブルのコネクター部をテープでおおうようにして電池本体に貼り付け、ポリ袋などにいれてください。

お願い

- 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取りはずしてください。
- BATTERY スイッチが「OFF」になっていることを確認してから、取りはずしてください。
- 一度取り出した内蔵電池は、再度コネクターに接続しないでください。
- 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

東芝HDDオーディオプレーヤーで使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝HDDオーディオプレーヤーに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝HDDオーディオプレーヤーは、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス：http://www.gigabeat.net/mobileav/audio/eula

また、東芝HDDオーディオプレーヤーのソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。東芝自身のソフトウェアコンポーネンツの取扱いについては、添付の「ソフトウェア使用許諾契約書」を参照ください。なお、「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発または作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた東芝HDDオーディオプレーヤーは、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

東芝HDDオーディオプレーヤーに組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を付属のCD-ROM内に添付します。

対応ソフトウェアモジュール	参照箇所
Linux kernel, Busybox, Samba, linux-wlan, dhcpcd	東芝HDDオーディオプレーヤーで使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文（英文）：(CD-ROM)￥GPL￥gpl.txt
glibc	東芝HDDオーディオプレーヤーで使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文（英文）：(CD-ROM)￥GPL￥lgpl.txt

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

部品について

修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（持ち込み修理）

「故障かな？…と思ったときは」をご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ずBATTERYスイッチを「OFF」にしてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。ご贈答品やご転居などでお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には「東芝モバイルAVサポートセンター」（➔184ページ）にご相談ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品　　名	HDDオーディオプレーヤー
形　　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	

東芝モバイルAVサポートセンター

使いかた、修理、故障、アプリケーションソフトに関するお問い合わせ窓口

受付時間　月～土（祝祭日、年末年始等を除く）
10:00～20:00

TEL 0570-05-7000（ナビダイヤル）
FAX 03-3258-0470

ホームページもご覧ください。
http://www.gigabeat.net/

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。